

**湖南省障がい者計画等見直しのための
障がい者福祉に関するアンケート調査
結果報告書**

令和5年9月

湖 南 市

目 次

1. 調査概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 実施概要	1
①当事者（障がい児）アンケート調査	1
②当事者（障がい者）アンケート調査	1
③事業者アンケート調査	1
(3) 回収結果	2
(4) 報告書の見方	2
2. 当事者（障がい児）アンケート調査の結果	3
(1) 障がいのある子どもと家族の状況について	3
(2) 障がいの状況について	7
(3) 日中活動について	10
(4) 情報入手の状況について	11
(5) 人権擁護について	13
(6) 災害時の避難について	15
(7) 放課後等の居場所について	17
(8) 相談について	19
(9) 暮らしについて	21
(10) 障がい福祉サービスなどの利用について	22
3. 当事者（障がい者）アンケート調査の結果	25
(1) 障がいのある方と家族の状況について	25
(2) 障がいの状況について	28
(3) 日中活動について	30
(4) 情報入手やコミュニケーションの状況について	36
(5) 人権擁護について	42
(6) 災害時の避難について	47
(7) 日中の居場所について	49
(8) 相談について	51
(9) 暮らしについて	55
(10) 障がい福祉サービスなどの利用について	57
4. 事業者アンケート調査の結果	63
(1) 事業所の概要について	63
(2) サービス提供について	65
(3) 事業所の運営状況等について	68

(4) 医療的ケアについて	71
(5) 災害時の対策について	73
(6) 市への要望等について	75
5. 調査票	77
(1) 当事者（障がい児）アンケート調査	77
(2) 当事者（障がい者）アンケート調査	77
(3) 事業所アンケート調査	77

1. 調査概要

(1) 調査の目的

本調査は、令和5年度に「第3次湖南省障がい者の支援に関する基本計画」を見直すとともに、「湖南省障がい福祉計画（第7期）」及び「湖南省障がい児福祉計画（第3期）」を策定するにあたって、障がい児・障がい者やそのご家族及び事業者に対してアンケート調査を行い、それぞれの状況やニーズなどを把握し、計画策定の基礎資料として活用することを目的とします。

(2) 実施概要

①当事者（障がい児）アンケート調査

- ・調査対象：0から18歳未満の障がい福祉サービス受給者の保護者
- ・調査方法：郵送配布・郵送回収
- ・調査期間：令和5年6月1日～令和5年6月23日

②当事者（障がい者）アンケート調査

- ・調査対象：18歳以上の障がい者手帳所持者及び障がい福祉サービス受給者
- ・抽出方法：無作為抽出
- ・調査方法：郵送配布・郵送回収
- ・調査期間：令和5年6月1日～令和5年6月23日

③事業者アンケート調査

- ・調査対象：甲賀地域（甲賀市・湖南省）のサービス提供事業所法人
- ・抽出方法：全数
- ・調査方法：郵送配布・郵送回収
- ・調査期間：令和5年6月1日～令和5年6月23日

(3) 回収結果

	発送数	回収数	回収率
当事者（障がい児）アンケート調査	250 件	119 件	47.6%
当事者（障がい者）アンケート調査	1,750 件	949 件	54.2%
事業者アンケート調査	45 件	33 件	73.3%

(4) 報告書の見方

- 図中の n (Number of case) は、設問に対する回答者数のことです。
- 回答比率 (%) は回答者数 (n) を 100% として算出し、小数点以下第 2 位を四捨五入して表示しました。四捨五入の結果、内訳の合計が計に一致しないことがあります。また、一人の対象者に複数の回答を求める設問では、回答比率 (%) の計は 100.0% を超えることがあります。
- 図表中の「MA%」(Multiple Answer の略) という表示は、複数回答形式の設問 (回答選択肢の中から「〇はいくつでも」選択する形式の設問) です。
- 設問の回答者数 (n) が 50 以下の場合、回答比率 (%) の後に回答者数 (n) を記載しています。

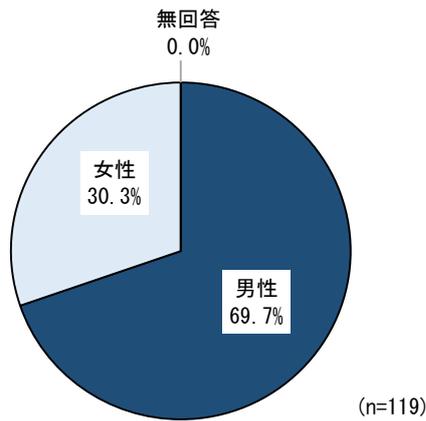
2. 当事者（障がい児）アンケート調査の結果

(1) 障がいのある子どもと家族の状況について

問1 対象のお子さんの性別についてお答えください。

○は1つだけ

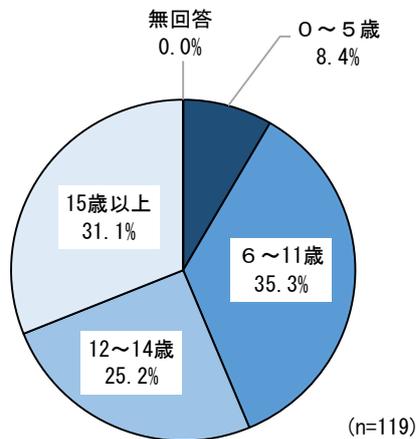
子どもの性別について、「男性」が69.7%、「女性」が30.3%となっています。



問2 対象のお子さんの年齢についてお答えください。

○は1つだけ

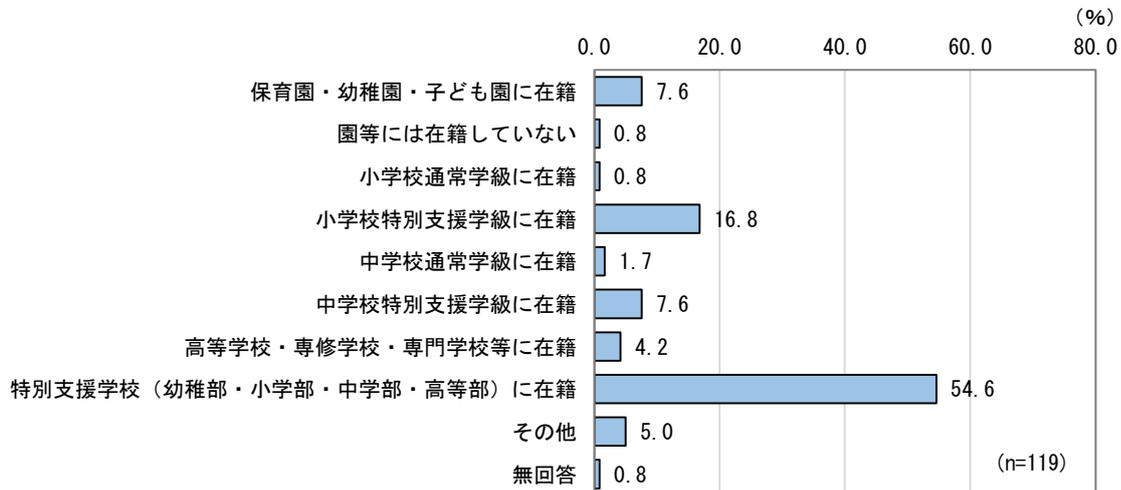
子どもの年齢について、「6～11歳」が35.3%で最も多く、次いで「15歳以上」が31.1%、「12～14歳」が25.2%となっています。



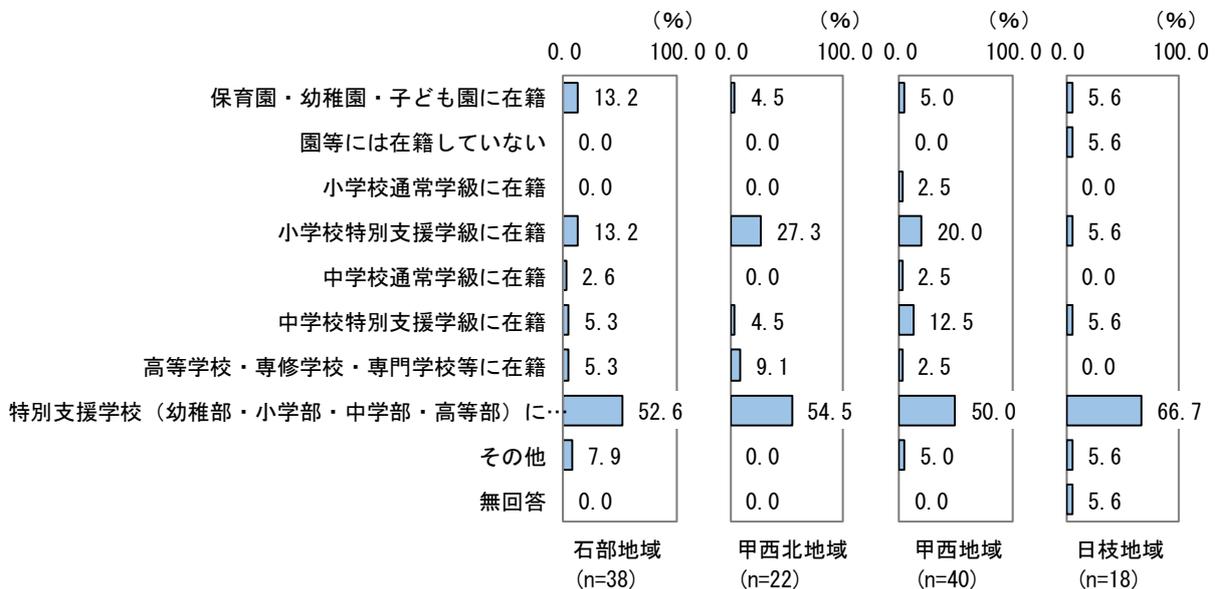
問3 対象のお子さんの所属先についてお答えください。

○は1つだけ

子どもの所属先について、「特別支援学校（幼稚部・小学部・中学部・高等部）に在籍」が54.6%で最も多く、次いで「小学校特別支援学級に在籍」が16.8%、「保育園・幼稚園・子ども園に在籍」「中学校特別支援学級に在籍」が7.6%となっています。



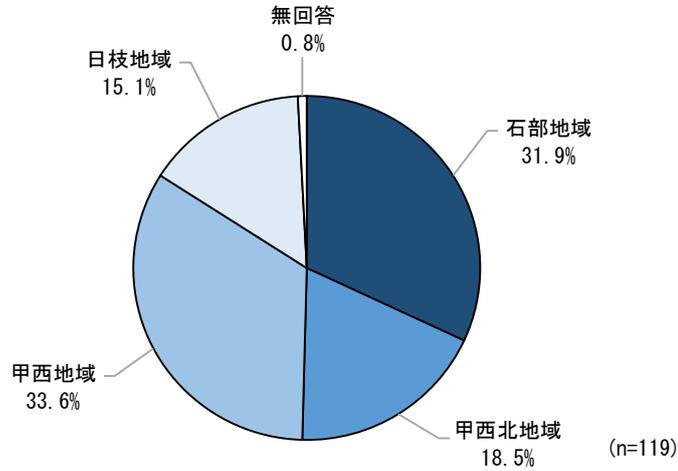
また、住んでいる地域（中学校区）別でみると、すべてにおいて「特別支援学校（幼稚部・小学部・中学部・高等部）に在籍」が最も多く、「石部地域」が52.6%、「甲西北地域」が54.5%、「甲西地域」が50.0%、「日枝地域」が66.7%となっています。



問4 お住まいの地域（中学校区）についてお答えください。

○は1つだけ

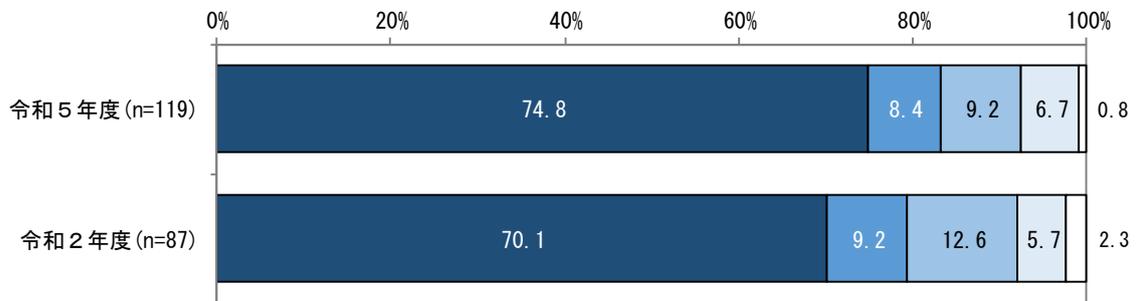
住んでいる地域（中学校区）について、「甲西地域」が33.6%で最も多く、次いで「石部地域」が31.9%、「甲西北地域」が18.5%となっています。



問5 対象のお子さんとはどなたと一緒に暮らしていますか。

○は1つだけ

子どもと一緒に暮らしている人について、「両親と一緒に暮らしている（親子2世代）」が74.8%で最も多く、次いで「両親及び祖父母と一緒に暮らしている（親子・祖父母3世代）」が9.2%、「父親と母親のいずれかの親と一緒に暮らしている（ひとり親家庭）」が8.4%となっています。



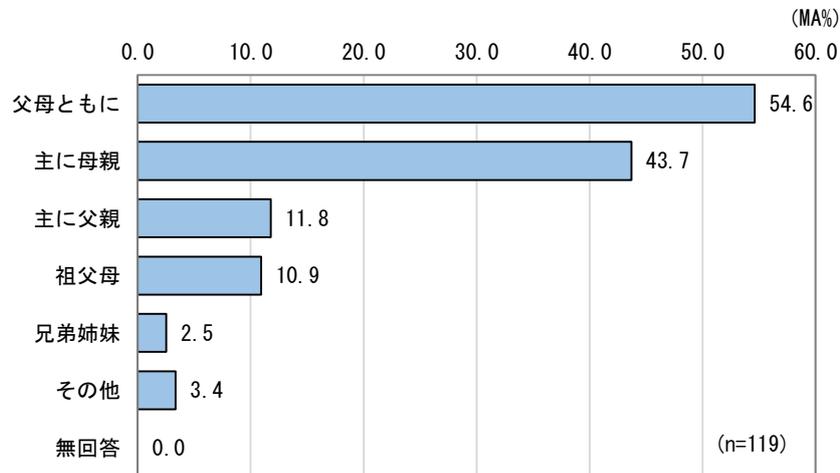
- 両親と一緒に暮らしている（親子2世代）
- 父親と母親のいずれかの親と一緒に暮らしている（ひとり親家庭）
- 両親及び祖父母と一緒に暮らしている（親子・祖父母3世代）
- その他
- 無回答

問6

対象のお子さんの子育てや養育を主に行っている方はどなたですか。

○はいくつでも

子育てや養育を主に行っている人について、「父母ともに」が 54.6%で最も多く、次いで「主に母親」が 43.7%、「主に父親」が 11.8%となっています。

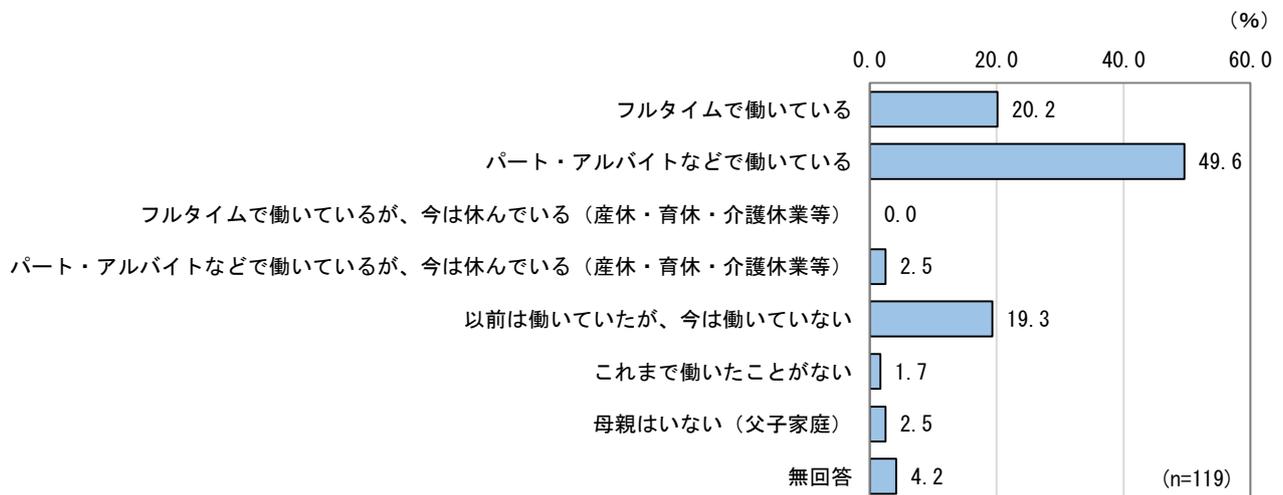


問7

対象のお子さんの「母親」の働いている状況についておたずねします。自営業や自営業を手伝っている場合も含まれます。

○は1つだけ

母親の就労状況について、「パート・アルバイトなどで働いている」が 49.6%で最も多く、次いで「フルタイムで働いている」が 20.2%、「以前は働いていたが、今は働いていない」が 19.3%となっています。

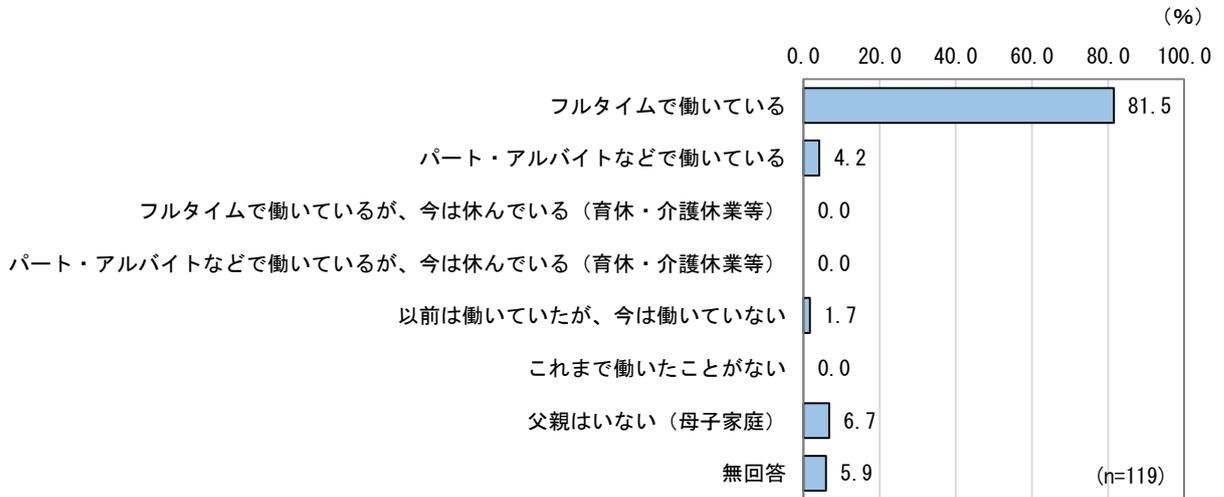


問8

対象のお子さんの「父親」の働いている状況についておたずねします。
 自営業や自営業を手伝っている場合も含まれます。

○は1つだけ

父親の就労状況について、「フルタイムで働いている」が81.5%で最も多く、次いで「父親はいない(母子家庭)」が6.7%、「パート・アルバイトなどで働いている」が4.2%となっています。



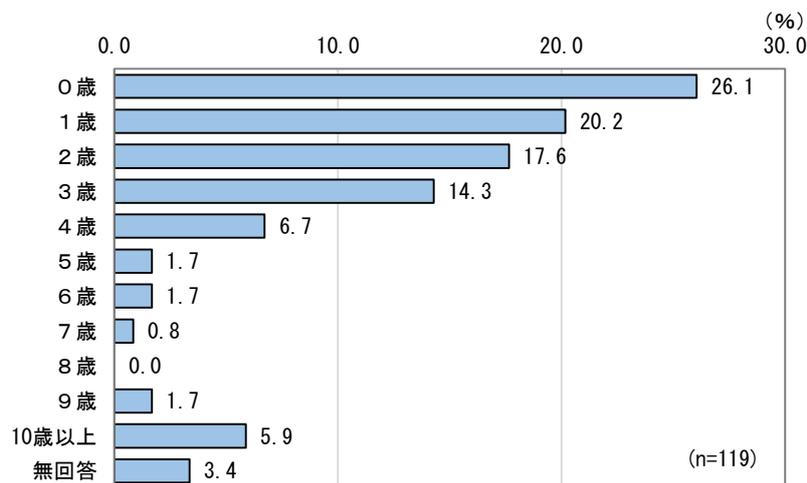
(2) 障がいの状況について

問9

対象のお子さんの発達の特徴や障がいのことを最初に心配されたのはお子さんがいくつの時ですか。

○は1つだけ

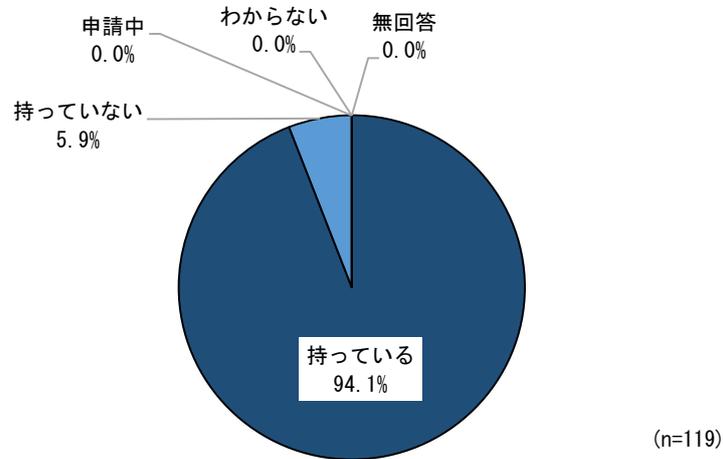
発達の特徴や障がいのことを最初に心配したときの子どもの年齢について、「0歳」が26.1%で最も多く、次いで「1歳」が20.2%、「2歳」が17.6%となっています。



問 10 対象のお子さんは障がい者手帳を持っていますか。

○は1つだけ

障がい者手帳を持っているかについて、「持っている」が 94.1%で最も多く、次いで「持っていない」が 5.9%となっています。

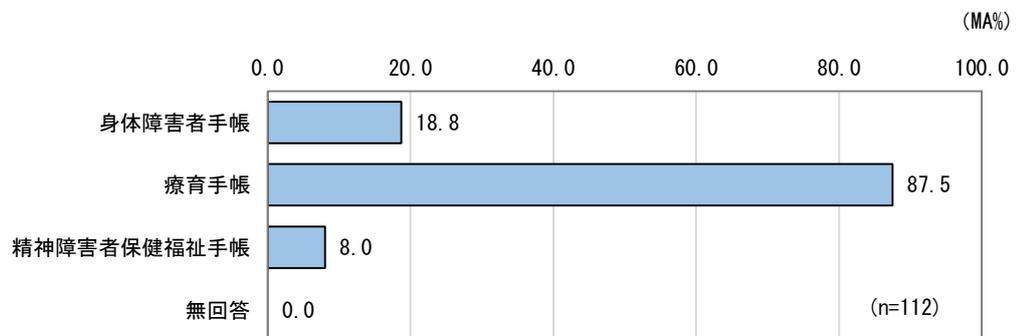


《問 10 で「持っている」と回答した方》

問 10-1 持っている障がい者手帳の種類をお答えください。

○はいくつでも

障がい者手帳を持っている人に、手帳の種類について聞いたところ、「療育手帳」が 87.5%で最も多く、次いで「身体障がい者手帳」が 18.8%、「精神障害者保健福祉手帳」が 8.0%となっています。

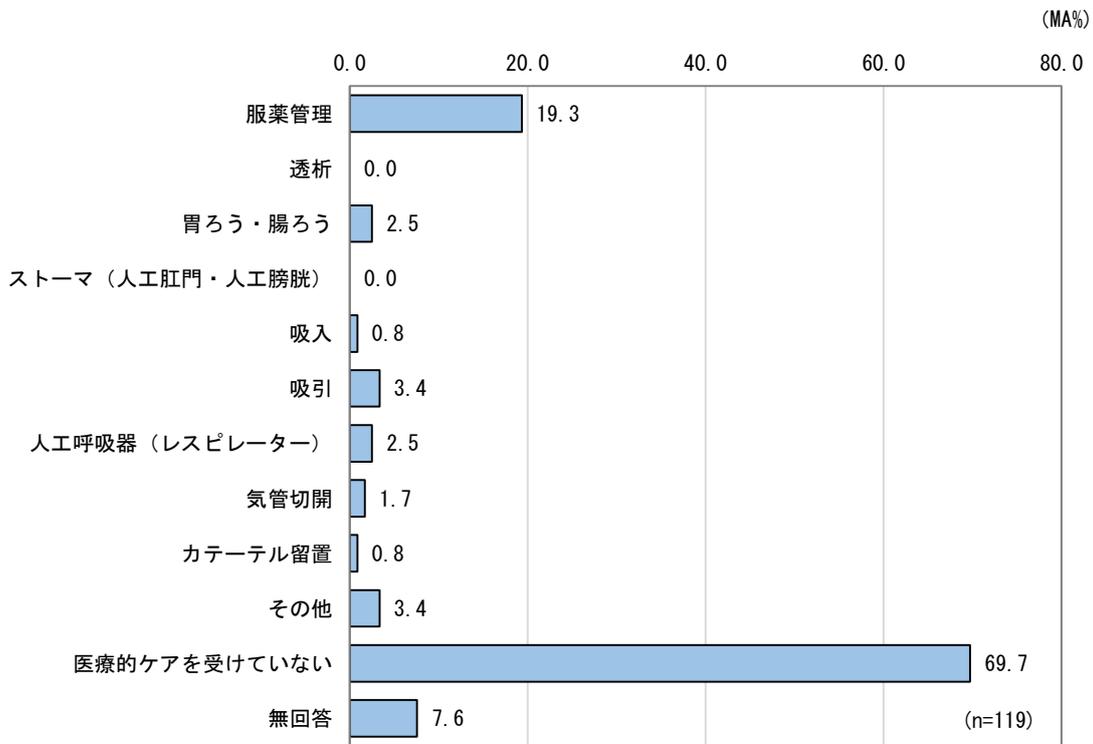


問 11

対象のお子さんは現在、以下のような医療的ケアを受けていますか。

○はいくつでも

医療的ケアを受けているかについて、「医療的ケアを受けていない」が69.7%で最も多く、次いで「服薬管理」が19.3%、「吸引」「その他」が3.4%となっています。



※医療的ケアとは、医療機器やケアを必要とする人の日常生活をサポートするために、家族や看護師などが行う医療的な行為のことです。

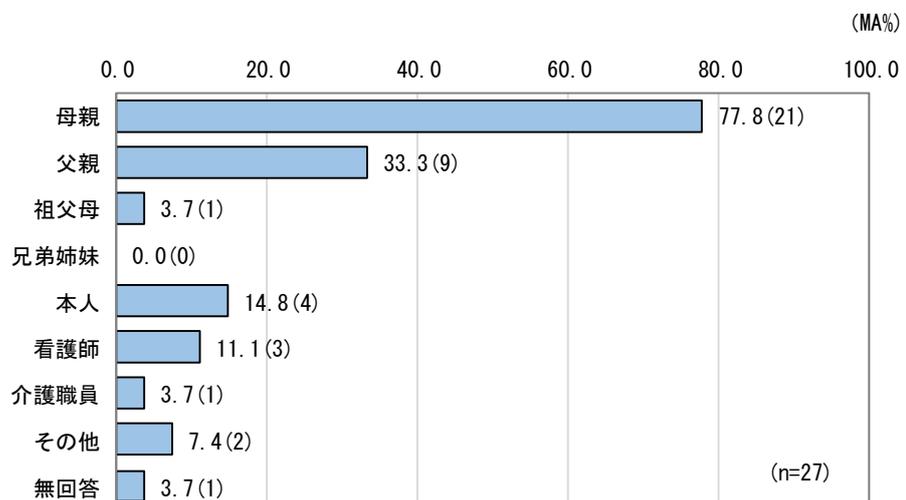
《問 11 で「医療的ケアを受けている」と回答した方》

問 11-1

医療的ケアを実施されている人はどなたですか。

○はいくつでも

医療的ケアを受けている人に、医療的ケアを実施している人について聞いたところ、「母親」が77.8%で最も多く、次いで「父親」が33.3%、「本人」が14.8%となっています。

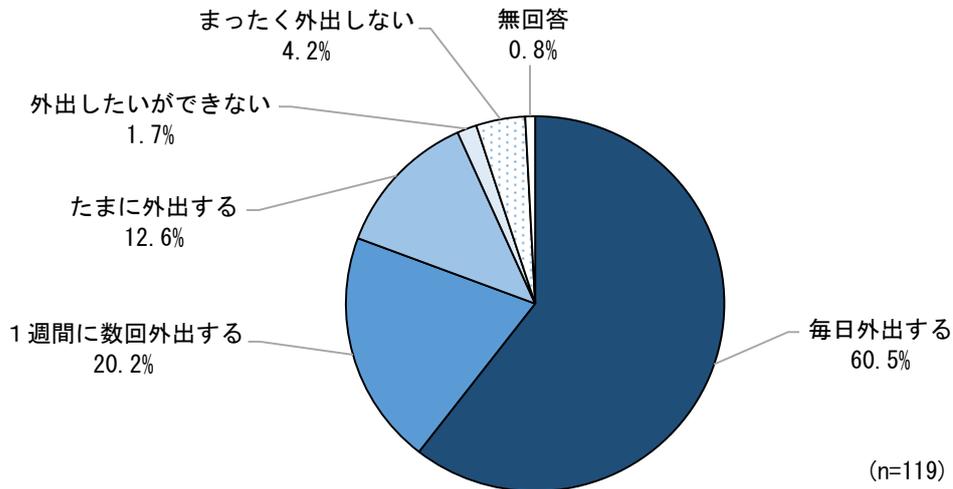


(3) 日中活動について

問 12 対象のお子さんは、1週間にどの程度外出しますか。

○は1つだけ

子どもの1週間の外出頻度について、「毎日外出する」が60.5%で最も多く、次いで「1週間に数回外出する」が20.2%、「たまに外出する」が12.6%となっています。

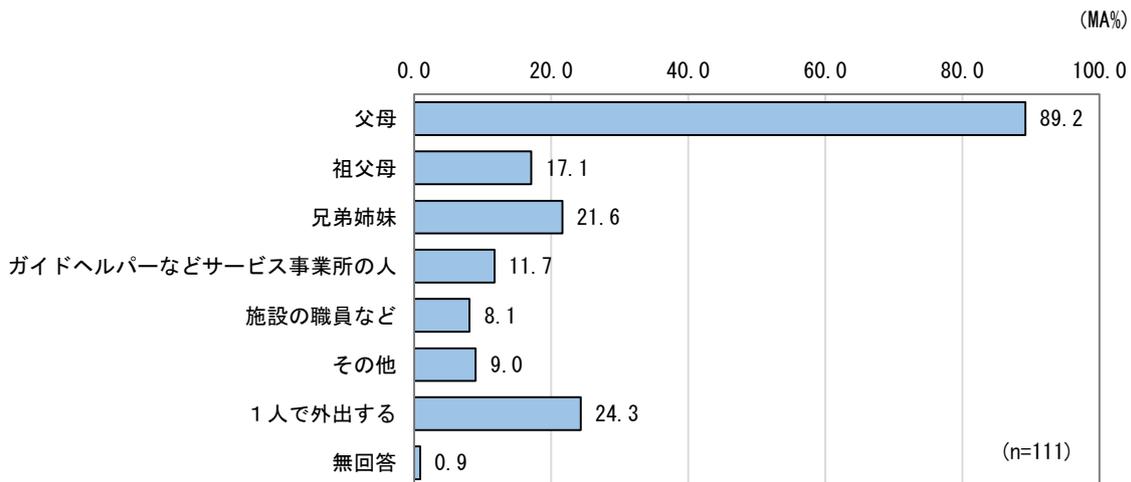


《問 12 で「外出する」と回答した方》

問 12-1 対象のお子さんは、外出する際にどなたと外出しますか。

○はいくつでも

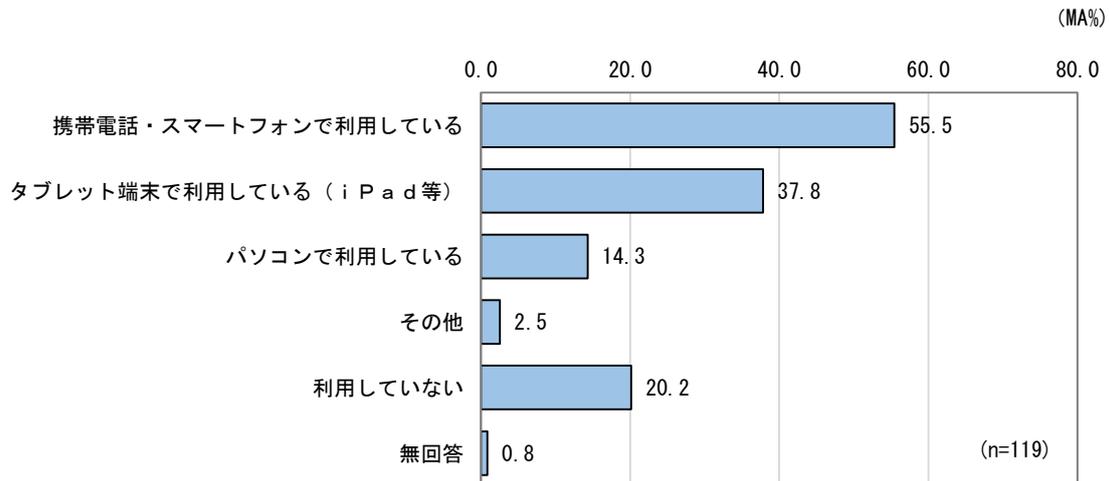
外出する人に、外出する際に誰と外出するかについて聞いたところ、「父母」が89.2%で最も多く、次いで「1人で外出する」が24.3%、「兄弟姉妹」が21.6%となっています。



(4) 情報入手の状況について

問 13 対象のお子さんは、インターネットや情報通信機器を利用していますか。 ○はいくつでも

子どものインターネットや情報通信機器の利用状況について、「携帯電話・スマートフォンで利用している」が55.5%で最も多く、次いで「タブレット端末で利用している（iPad等）」が37.8%、「利用していない」が20.2%となっています。

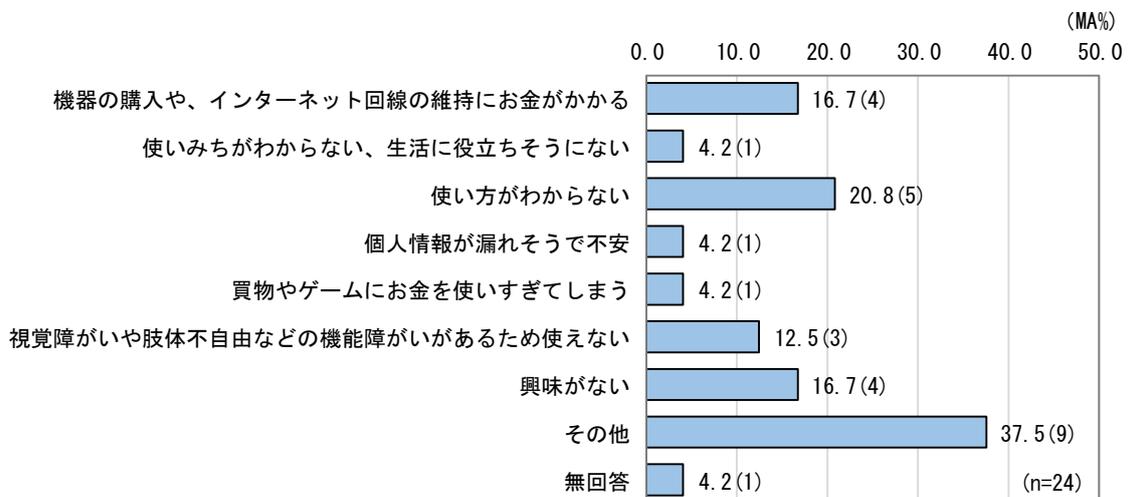


《問 13 で「利用していない」と回答した方》

問 13-1 インターネットや情報通信機器を利用していない理由は何ですか。 ○はいくつでも

インターネットや情報通信機器を利用していない人に、その理由について聞いたところ、「その他」が37.5%で最も多く、次いで「使い方がわからない」が20.8%、「機器の購入や、インターネット回線の維持にお金がかかる」「興味がない」が16.7%となっています。

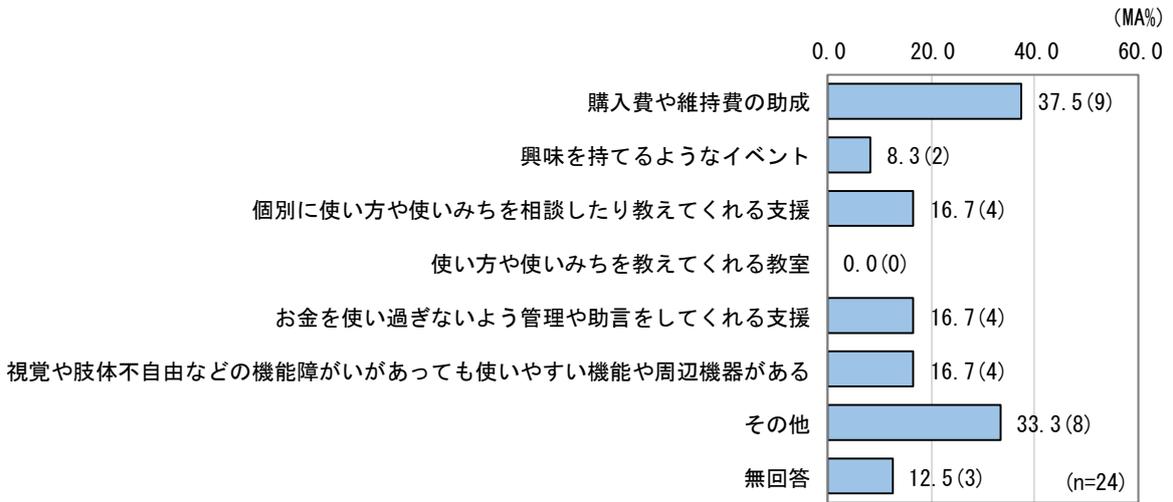
また、「その他」として、「親のものを共有しているから。またYouTube 以外には使用していないため」「まだ小さいため使用することがないため」などの意見がありました。



《問 13 で「利用していない」と回答した方》

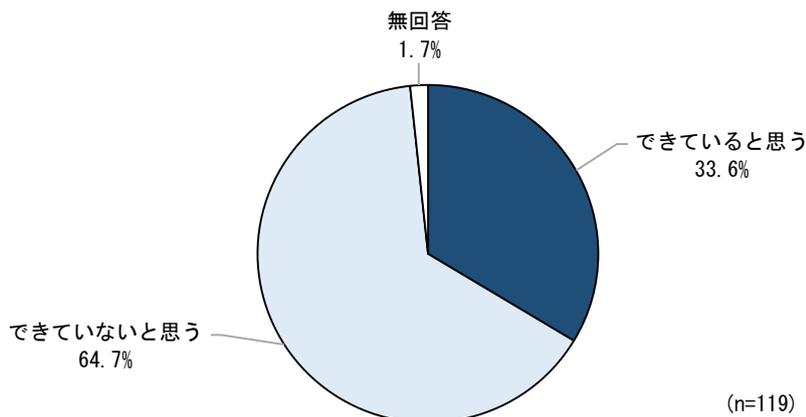
問 13-2	どんな支援があればインターネットや情報通信機器を利用したいですか。	〇はいくつでも
--------	-----------------------------------	---------

インターネットや情報通信機器を利用していない人に、どんな支援があればインターネットや情報通信機器を利用したいと思うかについて聞いたところ、「購入費や維持費の助成」が 37.5%で最も多く、次いで「その他」が 33.3%、「個別に使い方や使いみちを相談したり教えてくれる支援」「お金を使い過ぎないように管理や助言をしてくれる支援」「視覚や肢体不自由などの機能障がいがあっても使いやすい機能や周辺機器がある」が 16.7%となっています。



問 14	あなた（保護者）は、市が提供する情報について、十分な情報提供ができていますか。	〇は1つだけ
------	---	--------

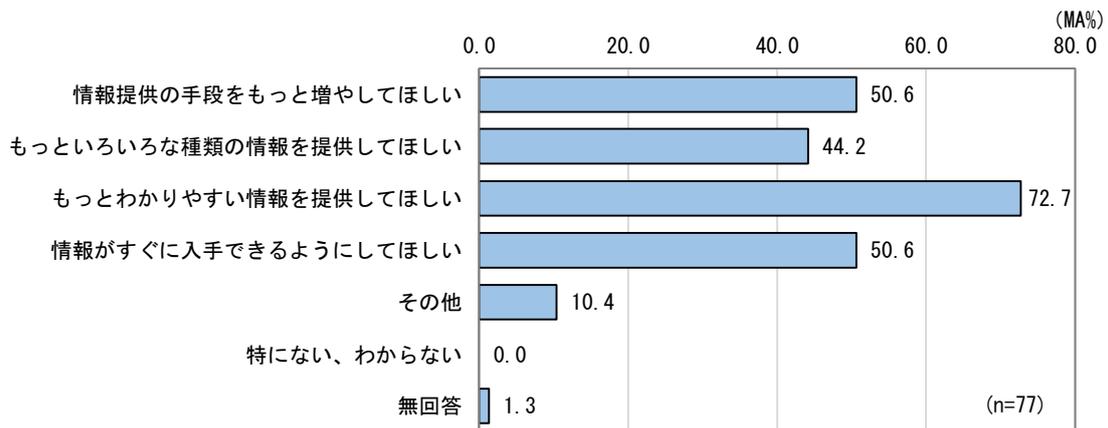
保護者にとって、市が情報を十分に提供できていると思うかについて、「できていると思う」が 33.6%、「できていないと思う」が 64.7%となっています。



《問 14 で「できていないと思う」と回答した方》

問 14-1	どのように提供してもらいたいですか。	○はいくつでも
--------	--------------------	---------

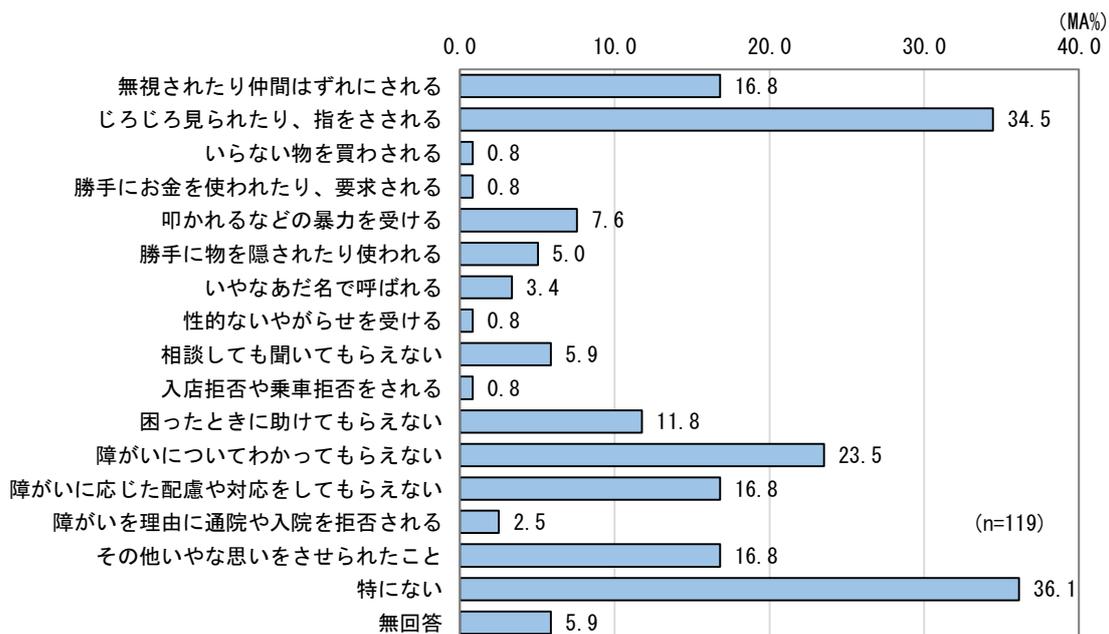
市が情報を十分に提供できていないと思う人に、どのように提供してもらいたいかについて聞いたところ、「もっとわかりやすい情報を提供してほしい」が72.7%で最も多く、次いで「情報提供の手段をもっと増やしてほしい」「情報がすぐに入手できるようにしてほしい」が50.6%、「もっといろいろな種類の情報を提供してほしい」が44.2%となっています。



(5) 人権擁護について

問 15	対象のお子さんは、これまで次のような行為を受けた経験はありますか。	○はいくつでも
------	-----------------------------------	---------

子どもがいやな思いをさせられた経験はあるかについて、「特にない」が36.1%で最も多く、次いで「じろじろ見られたり、指をさされる」が34.5%、「障がいについてわかってもらえない」が23.5%となっています。

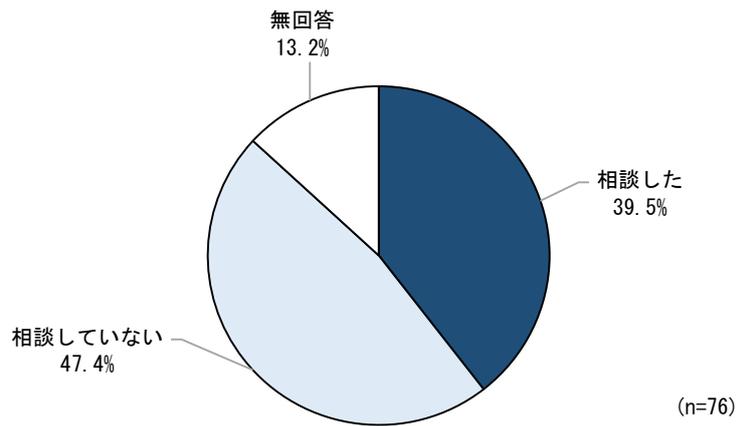


《問 15 で「経験がある」と回答した方》

問 15-1	問 15 のような行為を受けたとき、誰かに相談しましたか。 また、相談した場合は、具体的な相談先についてお答えください。	○は1つだけ
--------	---	--------

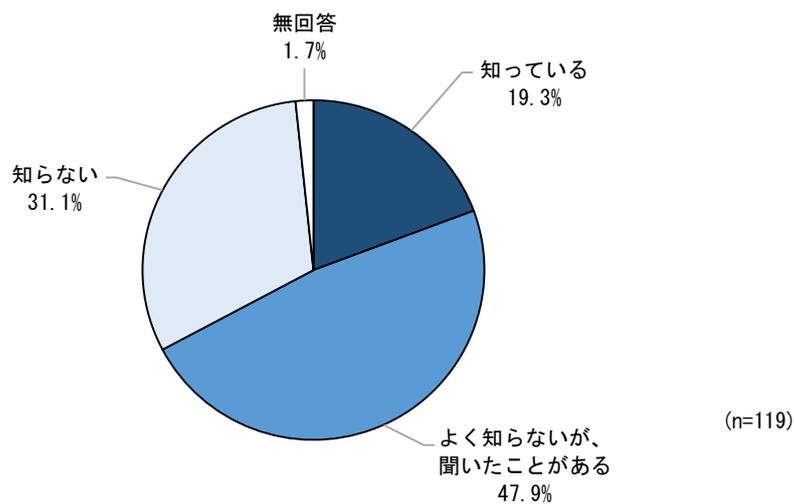
いやな思いをさせられた経験がある人に、誰かに相談したかについて聞いたところ、「相談した」が 39.5%、「相談していない」が 47.4%となっています。

また、具体的な相談先については、「学校の先生」「ぞうさん教室や養護学校のクラス担任」「ことばの教室の先生」などとなっています。



問 16	あなた（保護者）は、成年後見制度を知っていますか。	○は1つだけ
------	---------------------------	--------

保護者が成年後見制度を知っているかについて、「よく知らないが、聞いたことがある」が 47.9%で最も多く、次いで「知らない」が 31.1%、「知っている」が 19.3%となっています。



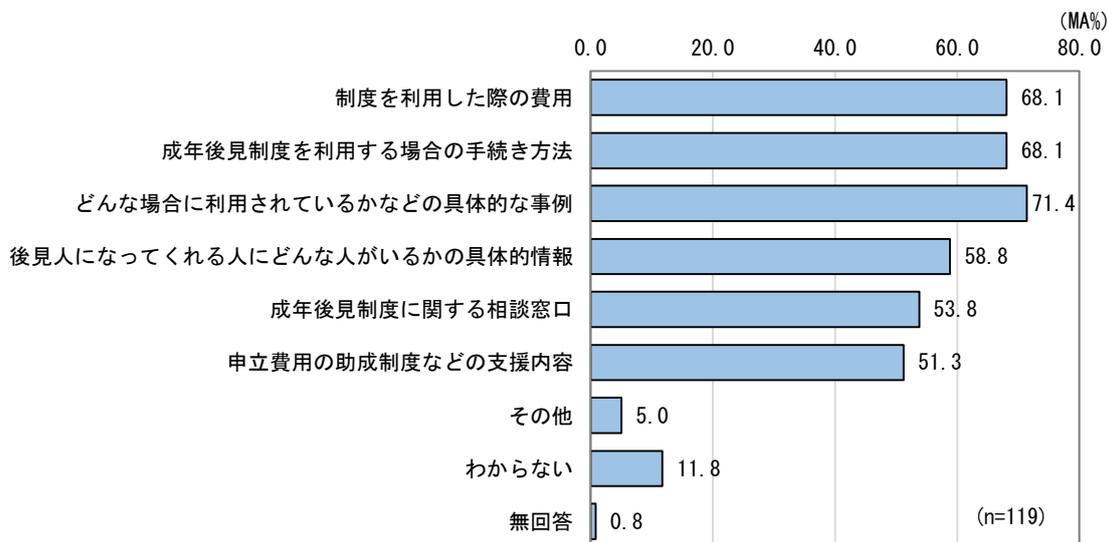
※成年後見制度とは、認知症、知的障がい、精神障がいなどによって判断能力が十分ではない方が不利益を被らないように家庭裁判所に申立てをして、その方を援助してくれる人を付けてもらう制度のことです。

問 17

成年後見制度に関して、どのような情報が提供されればよいと思いますか。

○はいくつでも

保護者として、成年後見制度に関して、どのような情報が提供されればよいと思うかについて、「どんな場合に利用されているかなどの具体的な事例」が 71.4%で最も多く、次いで「制度を利用した際の費用」「成年後見制度を利用する場合の手続き方法」が 68.1%、「後見人になってくれる人にどんな人がいるかの具体的情報」が 58.8%となっています。



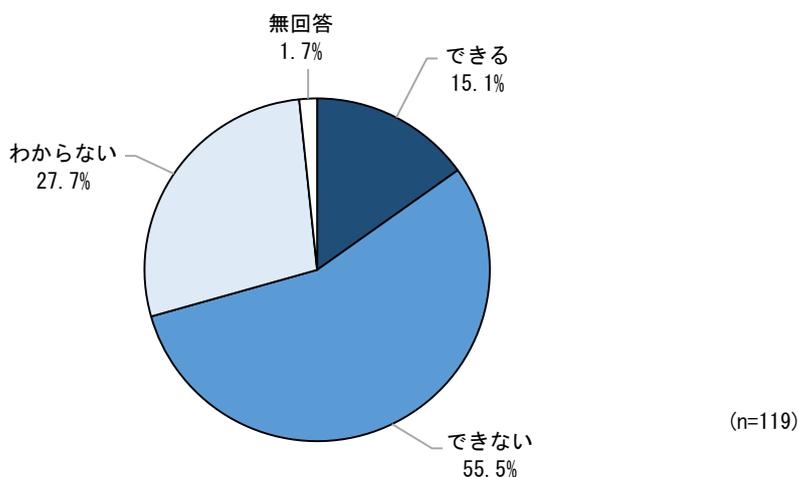
(6) 災害時の避難について

問 18

対象のお子さんは、大雨や地震などの災害時に一人で避難できますか。

○は1つだけ

子どもが大雨や地震などの災害時に一人で避難できるかについて、「できない」が 55.5%で最も多く、次いで「わからない」が 27.7%、「できる」が 15.1%となっています。

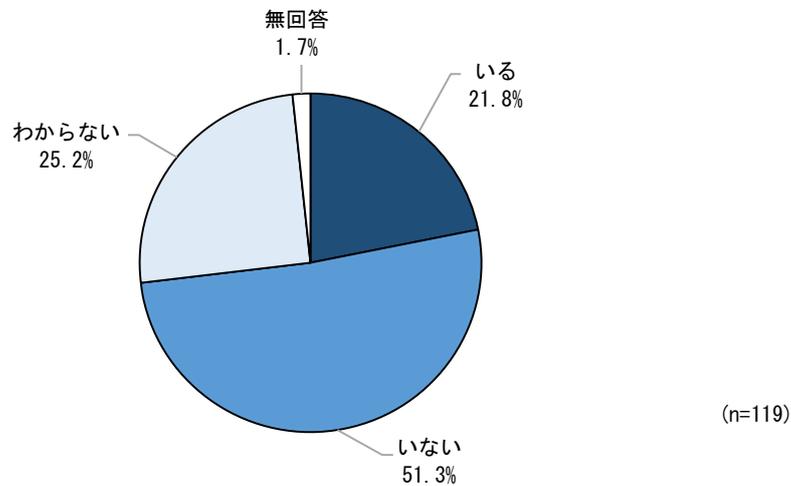


問 19

家族が不在の場合、近所に対象のお子さんを助けてくれる人はいますか。

○は1つだけ

家族が不在の場合、近所に子どもを助けてくれる人がいるかについて、「いない」が51.3%で最も多く、次いで「わからない」が25.2%、「いる」が21.8%となっています。

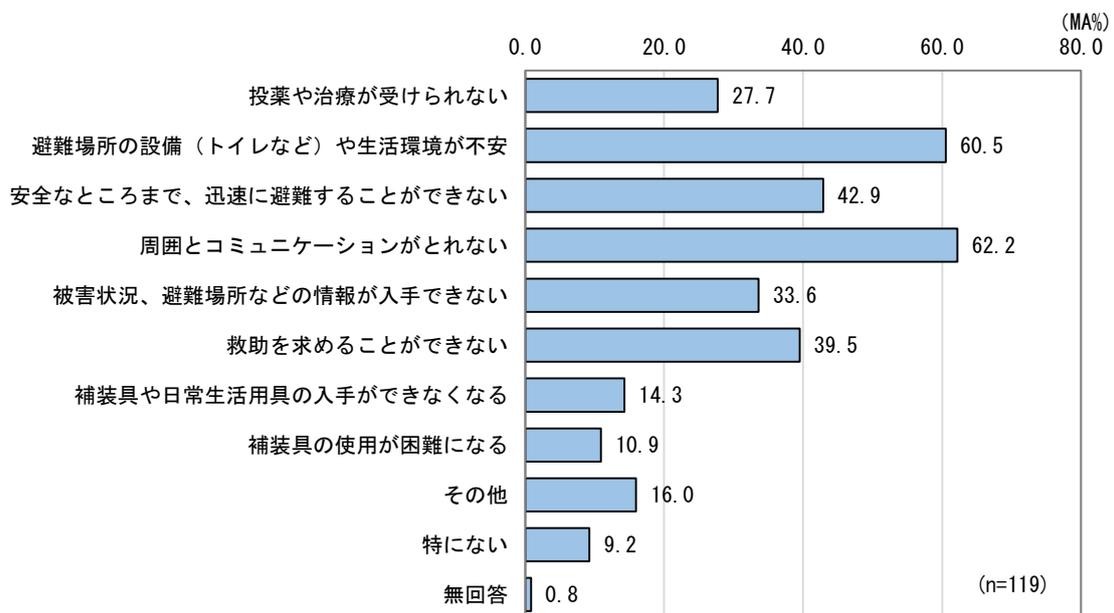


問 20

大雨や地震などの災害時に困ることは何ですか。

○はいくつでも

大雨や地震などの災害時に困ることについて、「周囲とコミュニケーションがとれない」が62.2%で最も多く、次いで「避難場所の設備（トイレなど）や生活環境が不安」が60.5%、「安全なところまで、迅速に避難することができない」が42.9%となっています。



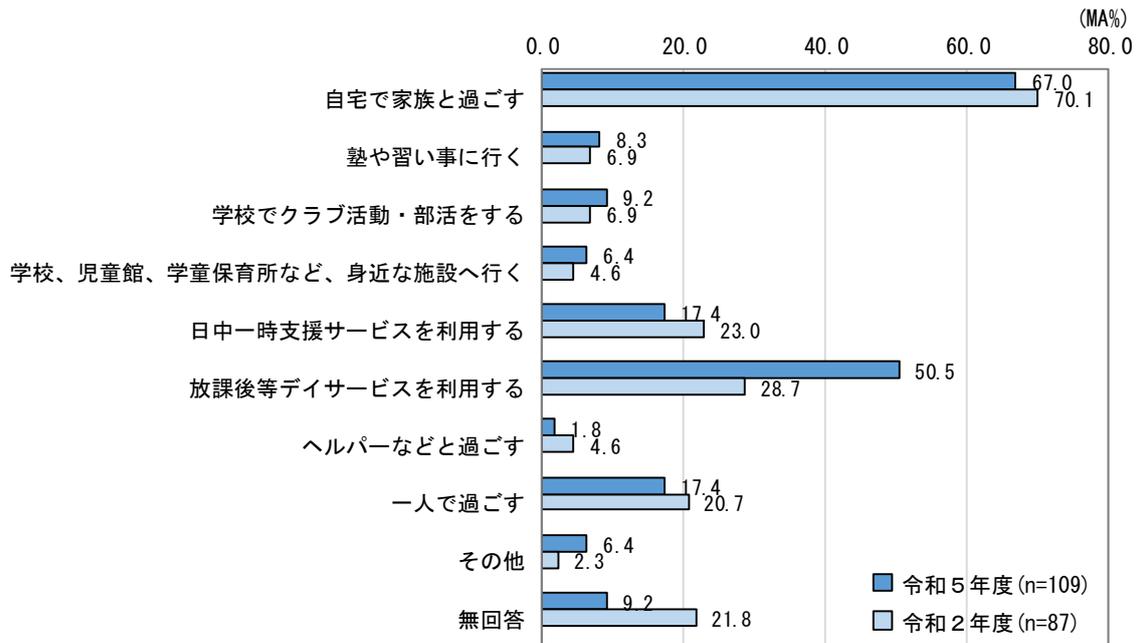
(7) 放課後等の居場所について

《小学生以上の方》

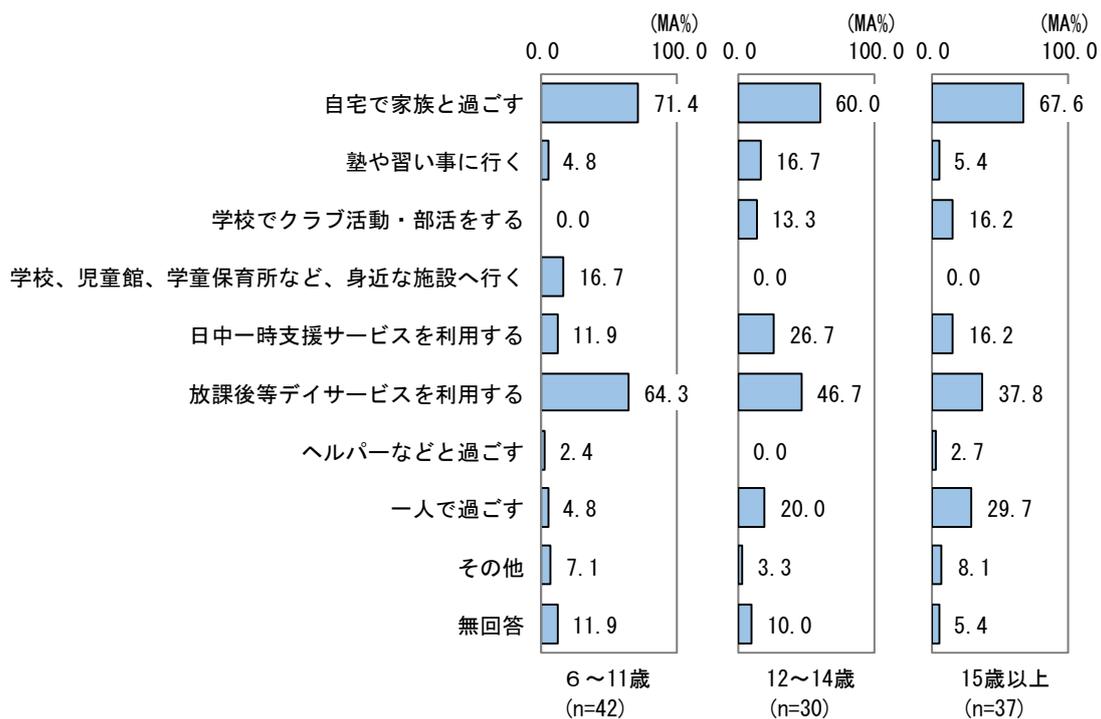
問 21 対象のお子さんは、放課後、どのように過ごしていますか。

〇はいくつでも

小学生以上における放課後の過ごし方について、「自宅で家族と過ごす」が67.0%で最も多く、次いで「放課後等デイサービスを利用する」が50.5%、「日中一時支援サービスを利用する」「一人で過ごす」が17.4%となっています。



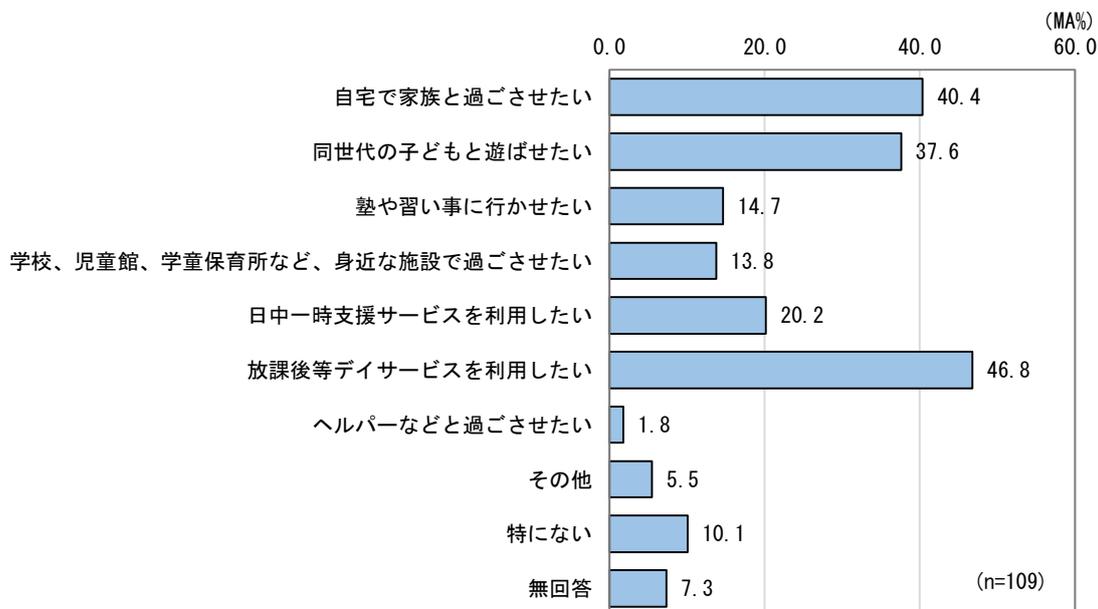
また、年齢別でみると、すべてにおいて「自宅で家族と過ごす」が最も多く、「6～11歳」が71.4%、「12～14歳」が60.0%、「15歳以上」が67.6%となっています。「一人で過ごす」では、年齢が上がるにつれて割合が多くなっており、「15歳以上」では29.7%となっています。



《小学生以上の方》

問 22	あなた（保護者）は、対象のお子さんを、放課後、どのように過ごさせたいと思いますか。	○はいくつでも
------	---	---------

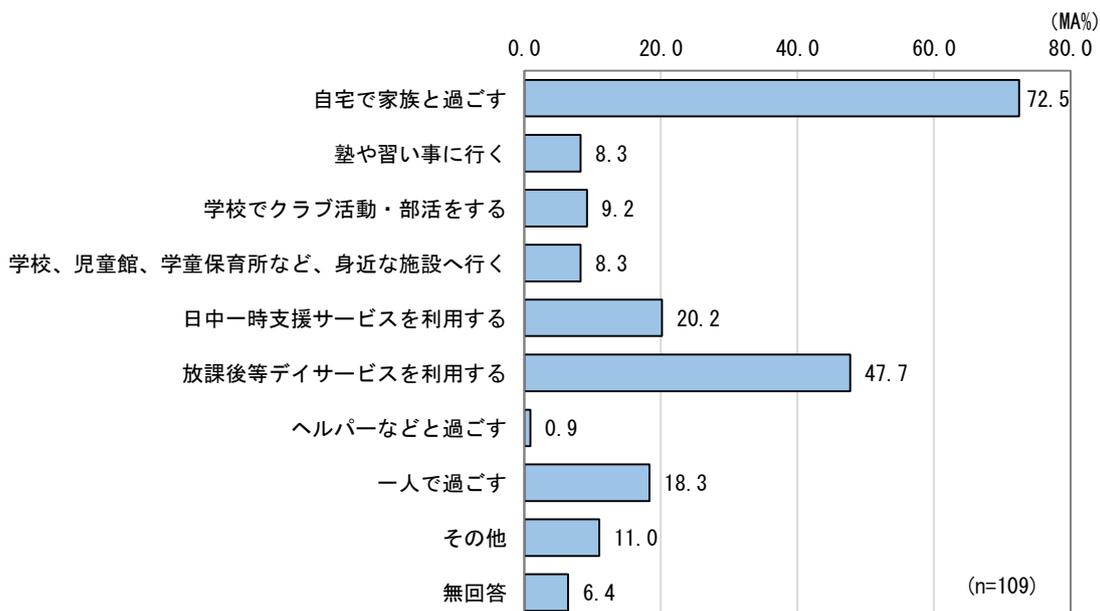
小学生以上において、放課後、どのように過ごさせたいと思うかについて、「放課後等デイサービスを利用したい」が46.8%で最も多く、次いで「自宅で家族と過ごさせたい」が40.4%、「同世代の子どもと遊ばせたい」が37.6%となっています。



《小学生以上の方》

問 23	対象のお子さんは、夏休みなどの長期休暇のとき、どのように過ごしていますか。	○はいくつでも
------	---------------------------------------	---------

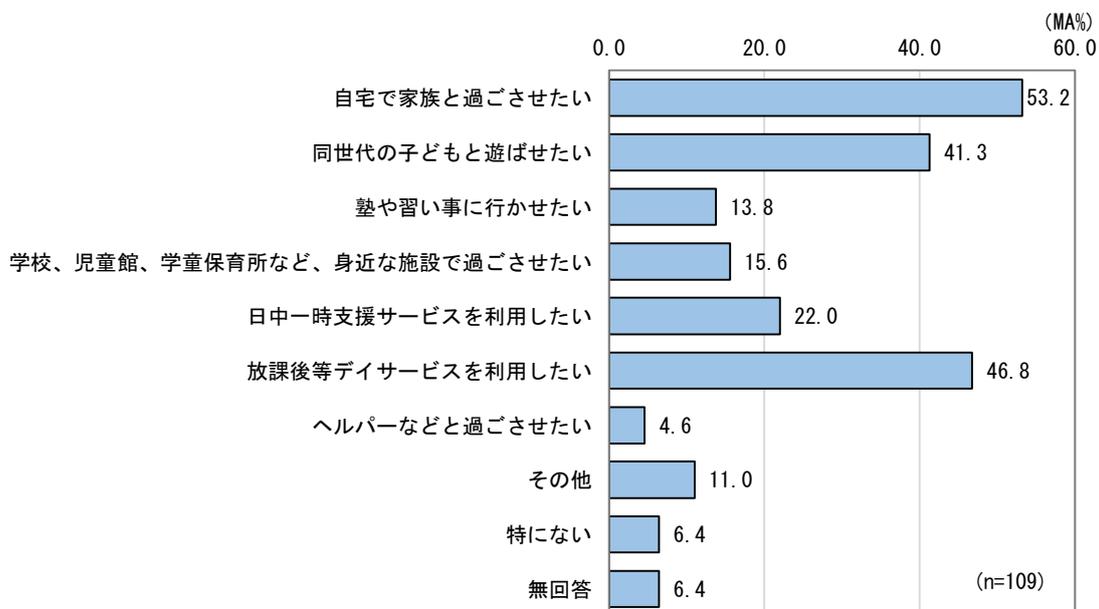
小学生以上における夏休みなどの長期休暇のときの過ごし方について、「自宅で家族と過ごす」が72.5%で最も多く、次いで「放課後等デイサービスを利用する」が47.7%、「日中一時支援サービスを利用する」が20.2%となっています。



《小学生以上の方》

問 24 あなた（保護者）は、対象のお子さんを、夏休みなどの長期休暇のとき、どのように過ごさせたいと思いますか。 ○はいくつでも

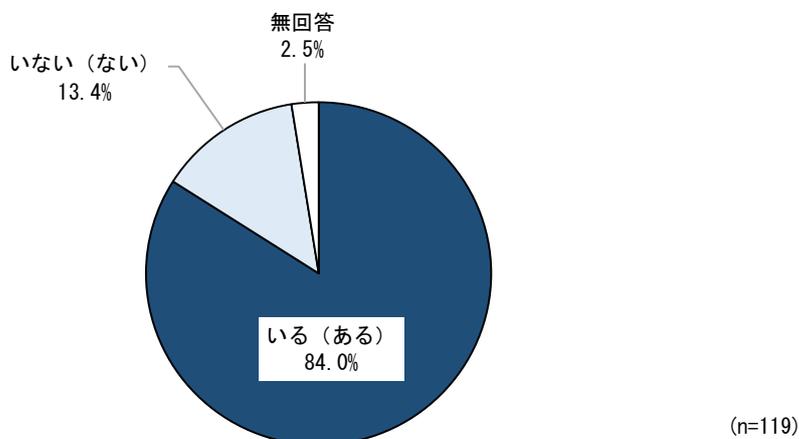
小学生以上において、夏休みなどの長期休暇のとき、どのように過ごさせたいと思うかについて、「自宅で過ごさせたい」が53.2%で最も多く、次いで「放課後等デイサービスを利用したい」が46.8%、「同世代の子どもと遊ばせたい」が41.3%となっています。



(8) 相談について

問 25 あなた（保護者）は、困ったときや不安になったとき、気軽に相談できる人はいますか。または、相談できる場所がありますか。 ○は1つだけ

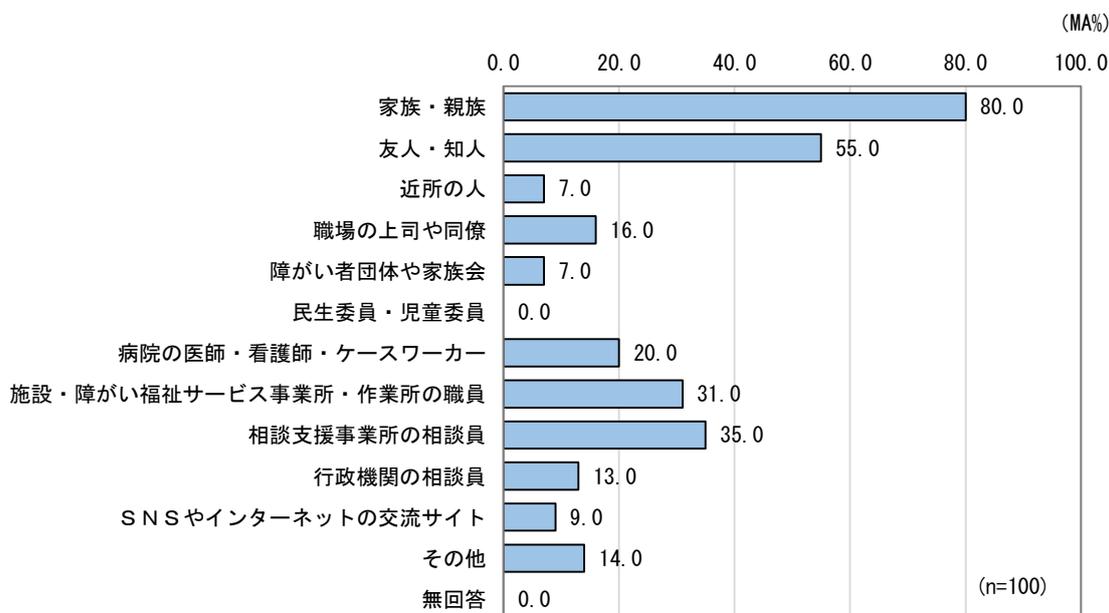
保護者として、困ったときや不安になったとき、気軽に相談できる人はいる（相談できる場所はある）かについて、「いる（ある）」が84.0%、「いない（ない）」が13.4%となっています。



《問 25 で「いる（ある）」と回答した方》

問 25-1	どのような人（場所）ですか。	○はいくつでも
--------	----------------	---------

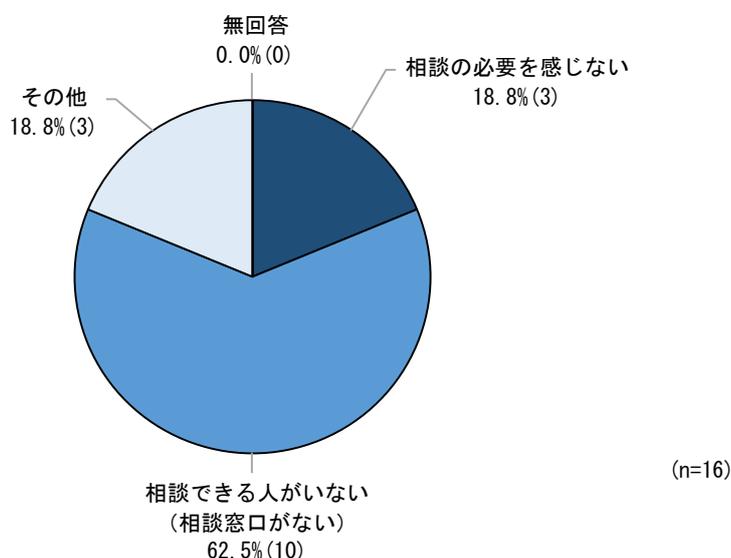
困ったときや不安になったとき、気軽に相談できる人はいる（相談できる場所はある）人に、どのような人（場所）かについて聞いたところ、「家族・親族」が 80.0%で最も多く、次いで「友人・知人」が 55.0%、「相談支援事業所の相談員」が 35.0%となっています。



《問 25 で「いない（ない）」と回答した方》

問 25-1	その理由は何ですか。	○は1つだけ
--------	------------	--------

困ったときや不安になったとき、気軽に相談できる人はいない（相談できる場所はない）人に、その理由について聞いたところ、「相談できる人がいない（相談窓口がない）」が 62.5%で最も多く、次いで「相談の必要を感じない」「その他」が 18.8%となっています。

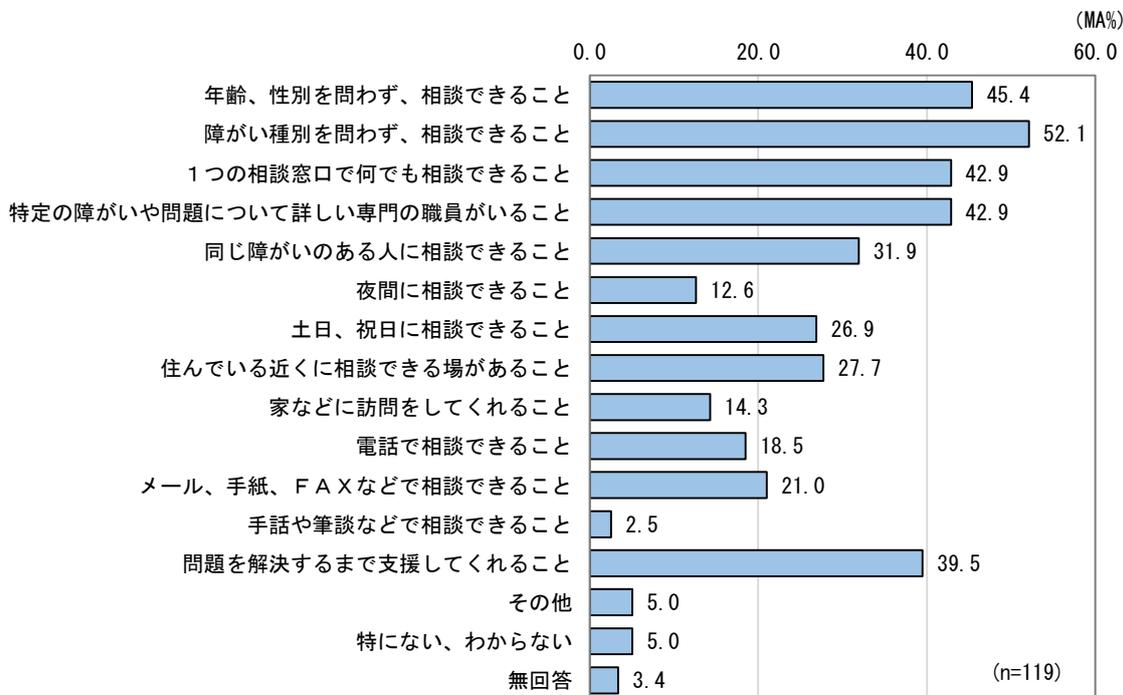


問 26

あなた（保護者）にとって、利用しやすい相談機関はどのようなもので
すか。

○はいくつでも

保護者にとって、利用しやすい相談機関について、「障がい種別を問わず、相談できること」が52.1%で最も多く、次いで「年齢、性別を問わず、相談できること」が45.4%、「1つの相談窓口で何でも相談できること」「特定の障がいや問題について詳しい専門の職員がいること」が42.9%となっています。



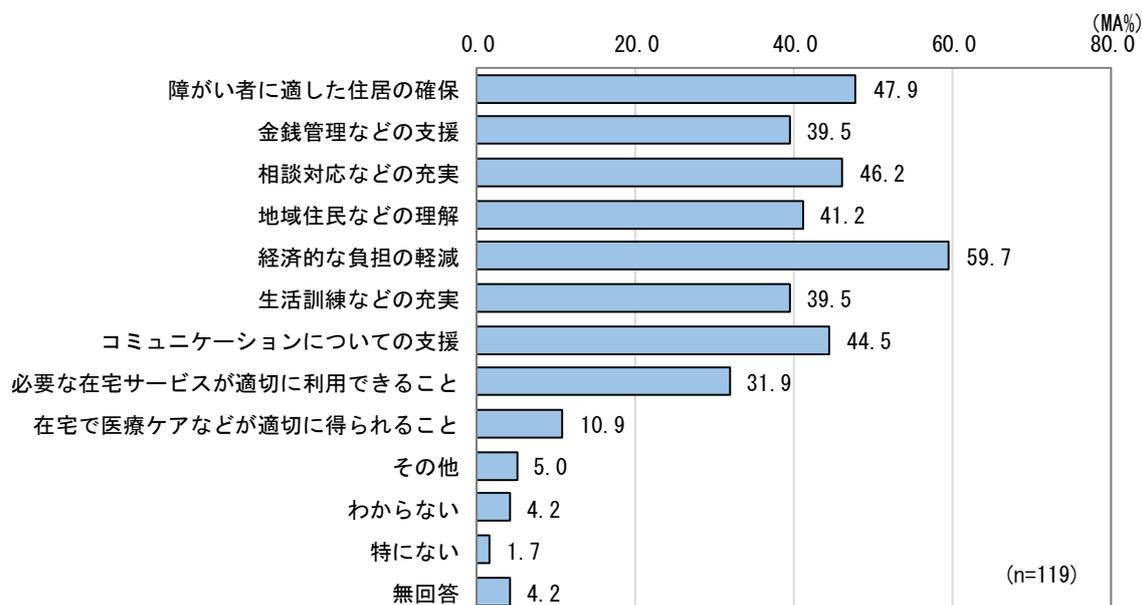
(9) 暮らしについて

問 27

地域で生活するためには、どのような支援があればよいと思いますか。

○はいくつでも

地域で生活するために必要な支援について、「経済的な負担の軽減」が59.7%で最も多く、次いで「障がい者に適した住居の確保」が47.9%、「相談対応などの充実」が46.2%となっています。

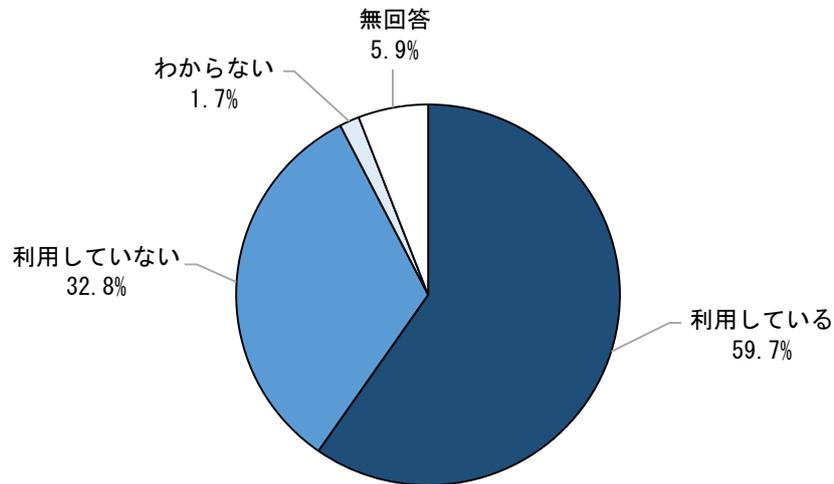


(10) 障がい福祉サービスなどの利用について

問 28 対象のお子さんは、障がい福祉サービスを利用していますか。

○は1つだけ

障がい福祉サービスの利用状況について、「利用している」が59.7%で最も多く、次いで「利用していない」が32.8%、「わからない」が1.7%となっています。



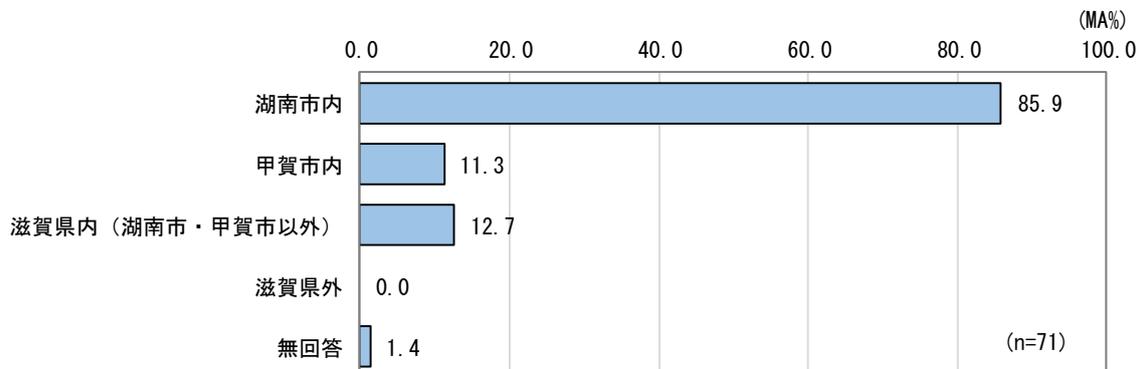
※障がい福祉サービスとは、居宅介護（ホームヘルプ）、同行援護、行動援護、重度障がい者等包括支援、短期入所（ショートステイ）、児童発達支援、医療型児童発達支援、放課後等デイサービス、居宅訪問型児童発達支援、保育所等訪問支援、福祉型児童入所施設、医療型児童入所施設、障がい児相談支援のことです。

《問 28 で「利用している」と回答した方》

問 28-1 利用している事業所の場所についてお答えください。

○はいくつでも

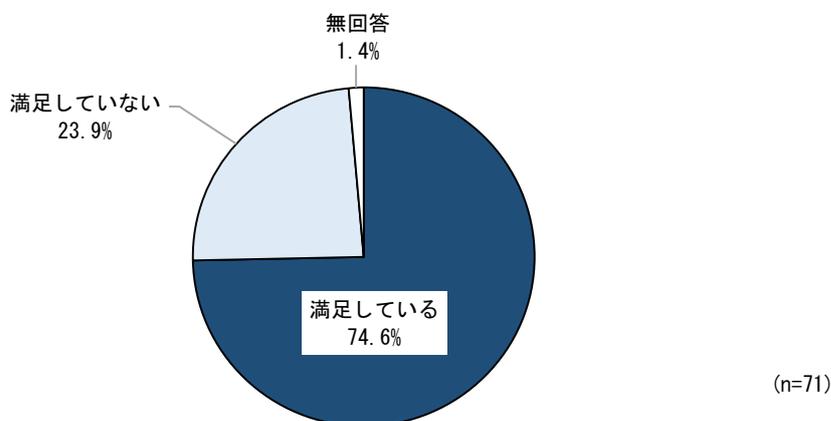
障がい福祉サービスを利用している人に、利用している事業所の場所について聞いたところ、「湖南市内」が85.9%で最も多く、次いで「滋賀県内（湖南市・甲賀市以外）」が12.7%、「甲賀市内」が11.3%となっています。



《問 28 で「利用している」と回答した方》

問 28-2	サービスについて満足していますか。	○は1つだけ
--------	-------------------	--------

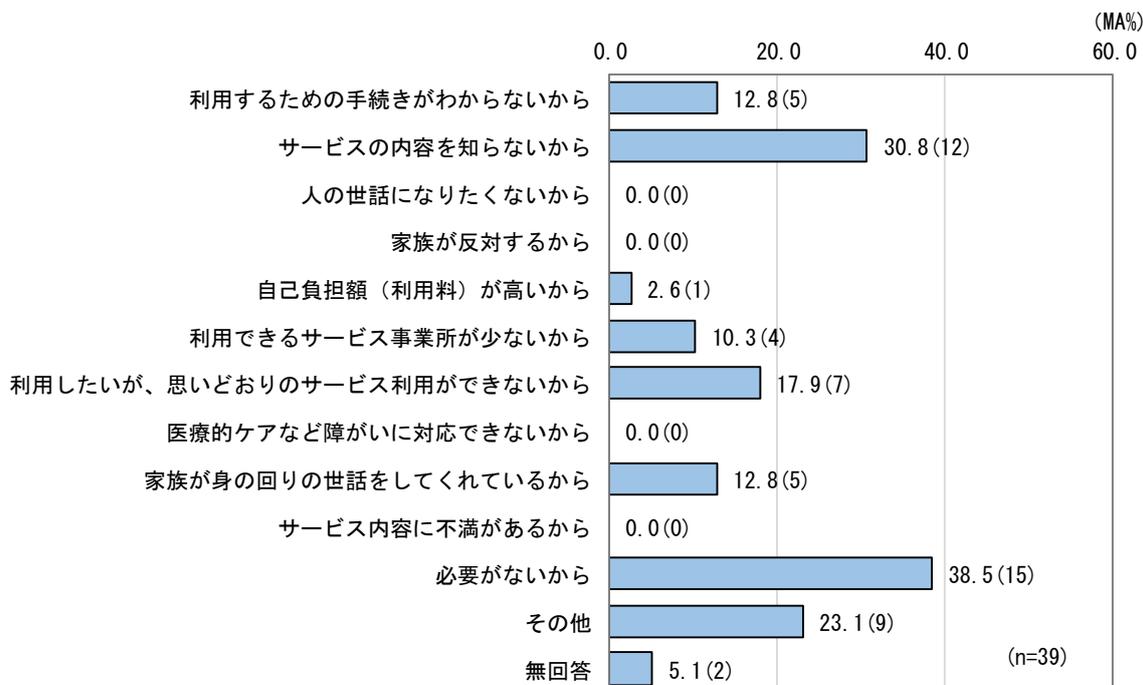
障がい福祉サービスを利用している人に、サービスに満足しているかについて聞いたところ、「満足している」が 74.6%、「満足していない」が 23.9%となっています。



《問 28 で「利用していない」と回答した方》

問 28-4	その理由は何ですか。	○はいくつでも
--------	------------	---------

障がい福祉サービスを利用していない人に、その理由について聞いたところ、「必要がないから」が 38.5%で最も多く、次いで「サービスの内容を知らないから」が 30.8%、「その他」が 23.1%となっています。

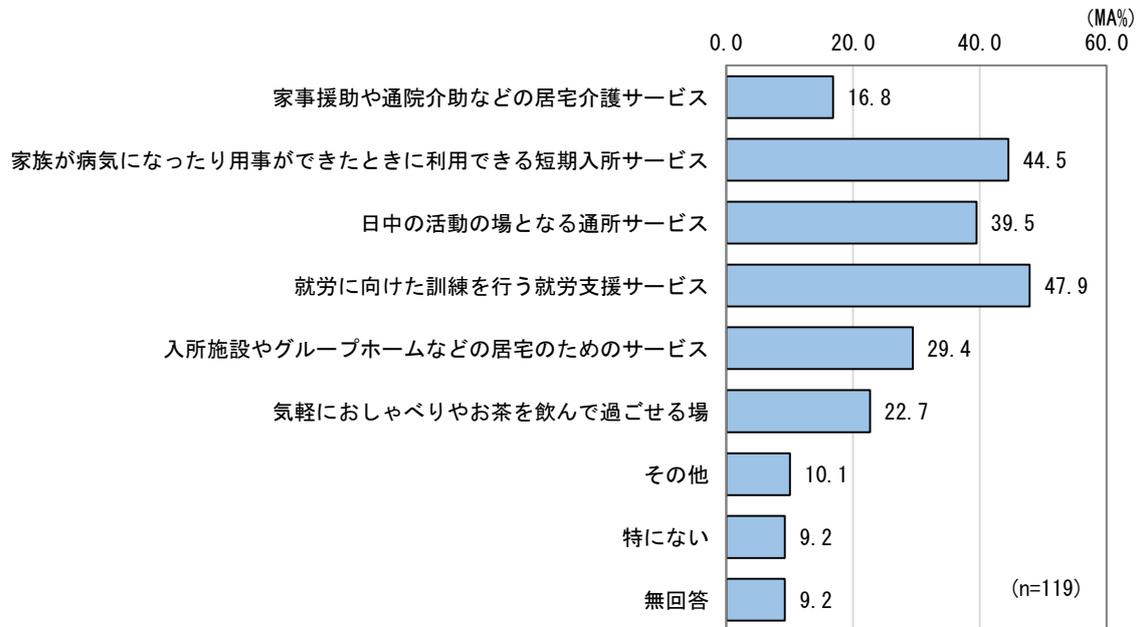


問 29

今後、どのようなサービスなどが増えるといいと思いますか。

〇はいくつでも

今後増えてほしいサービスについて、「就労に向けた訓練を行う就労支援サービス」が47.9%で最も多く、次いで「家族が病気になったり用事ができたときに利用できる短期入所サービス」が44.5%、「日中の活動の場となる通所サービス」が39.5%となっています。

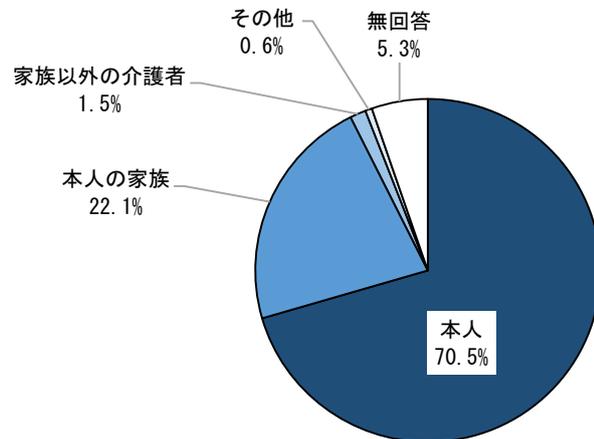


3. 当事者（障がい者）アンケート調査の結果

このアンケートをご記入いただく方についてお答えください。

○は1つだけ

アンケートの記入者について、「本人」が70.5%で最も多く、次いで「本人の家族」が22.1%、「家族以外の介護者」が1.5%となっています。



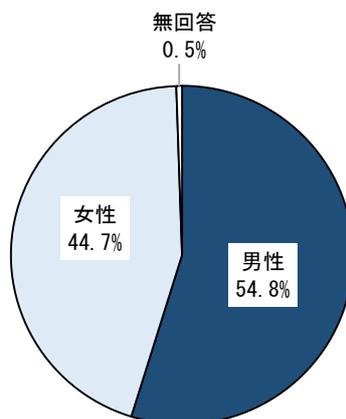
(n=949)

(1) 障がいのある方と家族の状況について

問1 あなたの性別をお答えください。

○は1つだけ

性別について、「男性」が54.8%、「女性」が44.7%となっています。

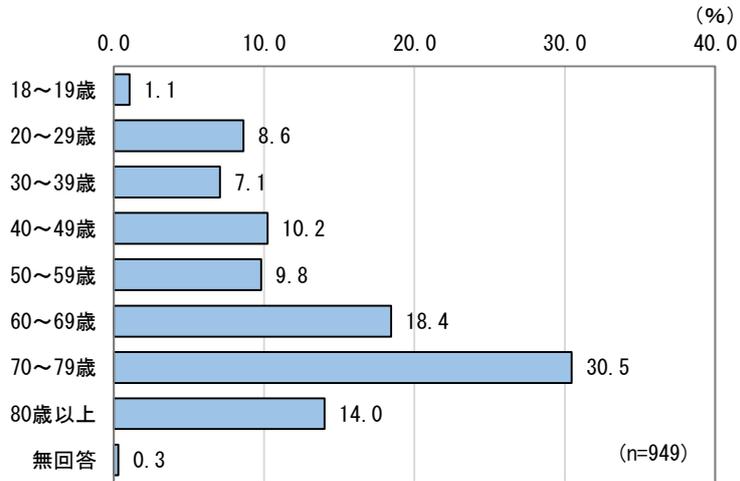


(n=949)

問2 あなたの年齢をお答えください。

○は1つだけ

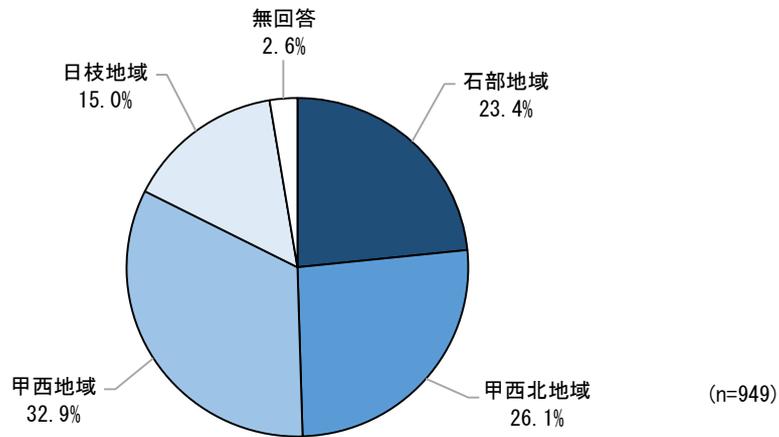
年齢について、「70～79歳」が30.5%で最も多く、次いで「60～69歳」が18.4%、「80歳以上」が14.0%となっています。



問3 あなたのお住まいの地域（中学校区）をお答えください。

○は1つだけ

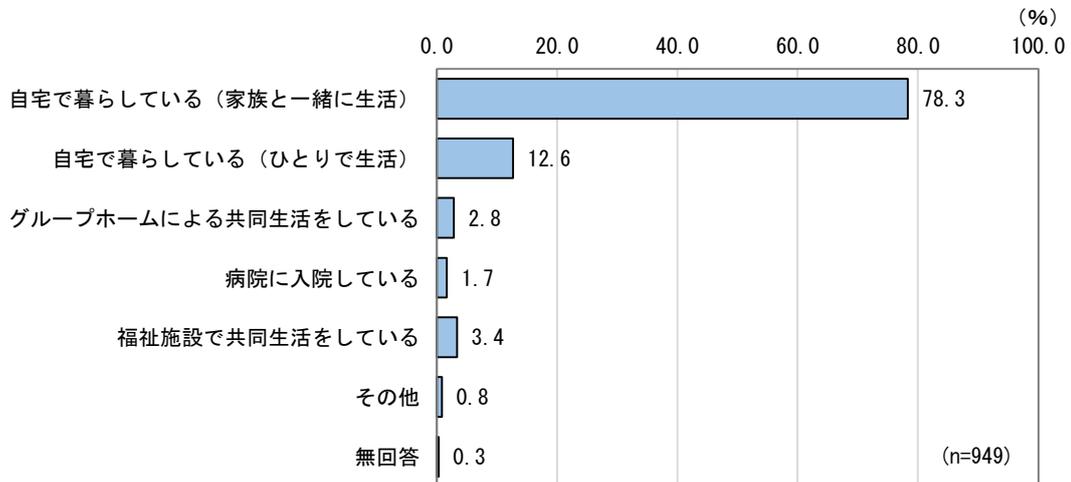
住んでいる地域（中学校区）について、「甲西地域」が32.9%で最も多く、次いで「甲西北地域」が26.1%、「石部地域」が23.4%となっています。



問4 あなたは、現在どのように暮らしていますか。

○は1つだけ

現在の暮らし方について、「自宅で暮らしている（家族と一緒に生活）」が78.3%で最も多く、次いで「自宅で暮らしている（ひとりで生活）」が12.6%、「福祉施設で共同生活をしている」が3.4%となっています。

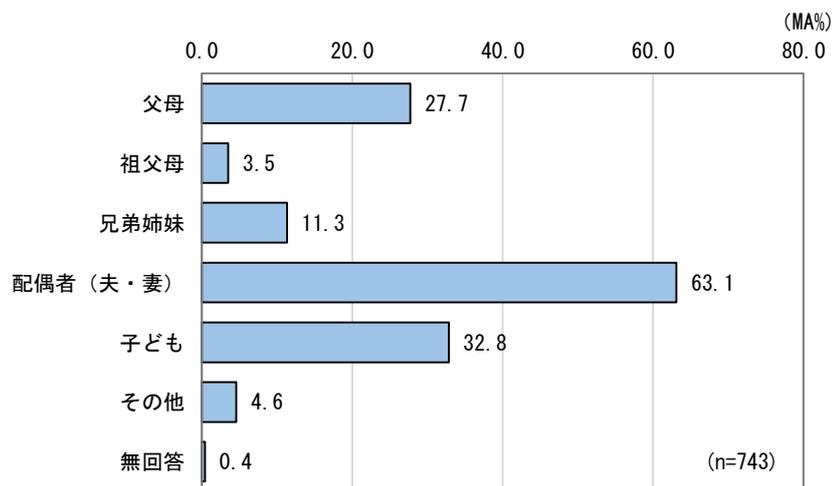


《問4で「自宅で暮らしている（家族と一緒に生活）」と回答した方》

問4-1 あなたは、誰と暮らしていますか。

○はいくつでも

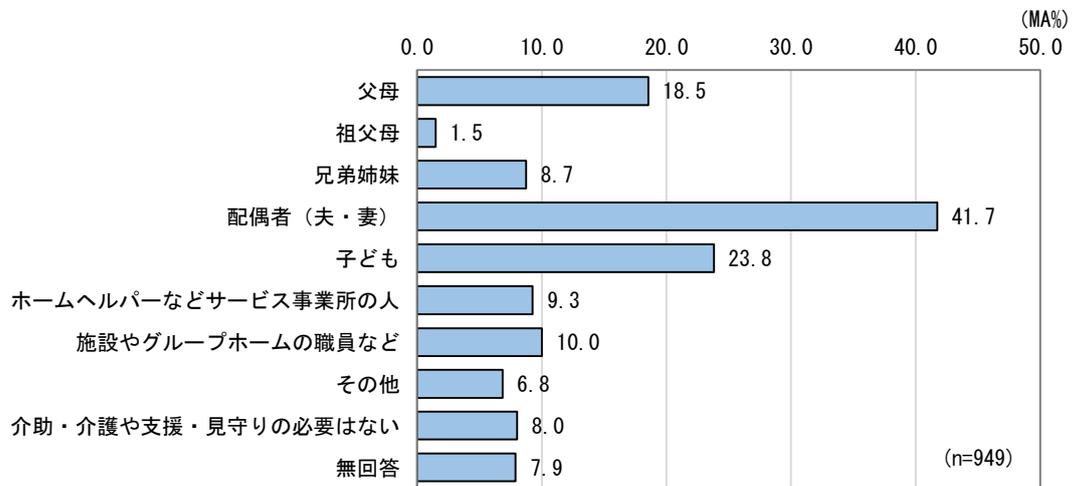
自宅で暮らしている（家族と一緒に生活）人に、誰と暮らしているかについて聞いたところ、「配偶者（夫・妻）」が63.1%で最も多く、次いで「子ども」が32.8%、「父母」が27.7%となっています。



問5 あなたを介助・介護や支援・見守りをしてくれる方は誰ですか。

○はいくつでも

介助・介護や支援・見守りをしてくれる人について、「配偶者（夫・妻）」が41.7%で最も多く、次いで「子ども」が23.8%、「父母」が18.5%となっています。

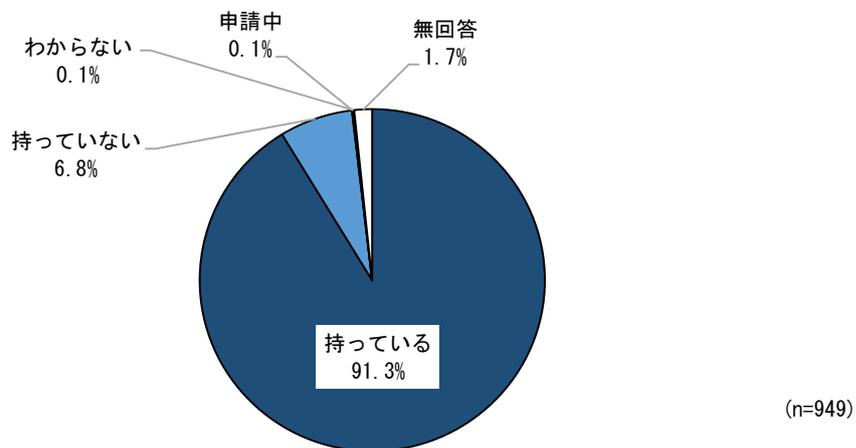


(2) 障がいの状況について

問6 あなたは、障がい者手帳をお持ちですか。

○は1つだけ

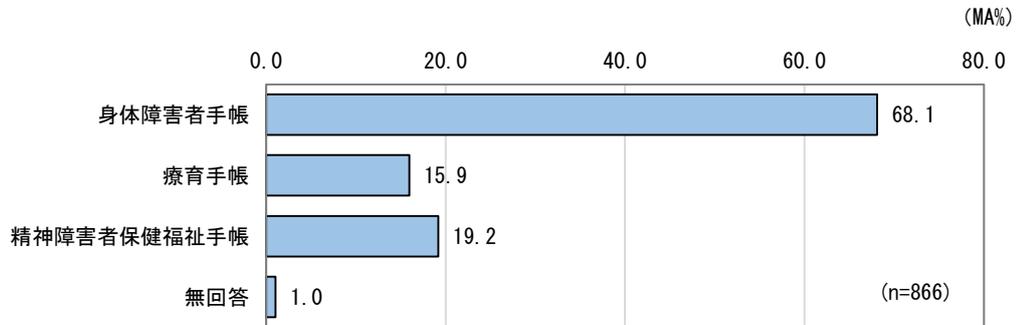
障がい者手帳を持っているかについて、「持っている」が91.3%で最も多く、次いで「持っていない」が6.8%、「わからない」「申請中」が0.1%となっています。



《問6で「持っている」と回答した方》

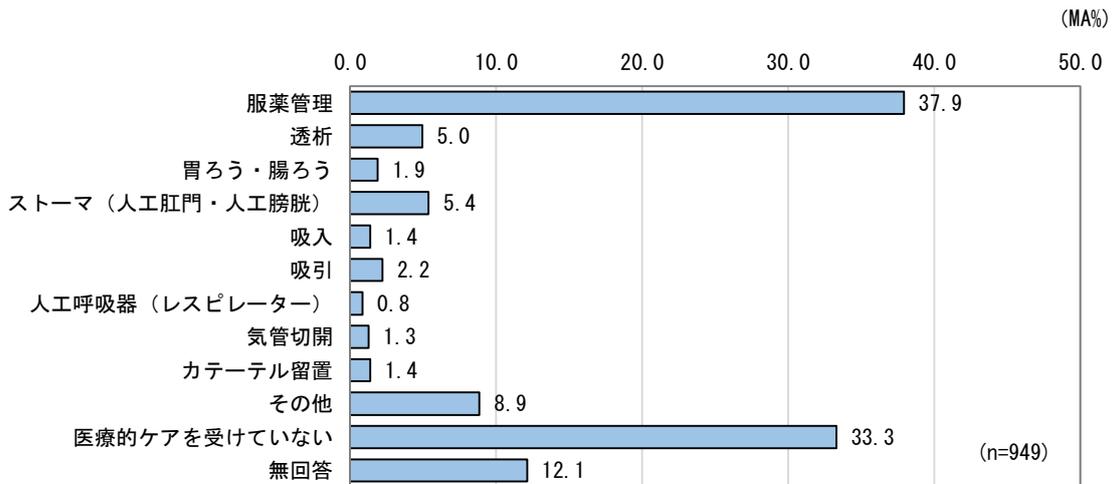
問6-1 持っている障がい者手帳の種類をお答えください。 ○はいくつでも

障がい者手帳を持っている人に、障がい者手帳の種類について聞いたところ、「身体障害者手帳」が68.1%で最も多く、次いで「精神障害者保健福祉手帳」が19.2%、「療育手帳」が15.9%となっています。



問7 あなたは、現在、以下のような医療的ケアを受けていますか。 ○はいくつでも

医療的ケアを受けているかについて、「服薬管理」が37.9%で最も多く、次いで「医療的ケアを受けていない」が33.3%、「その他」が8.9%となっています。



	n	服薬管理	透析	胃ろう・腸ろう	ストーマ (人工肛門・人工膀胱)	吸入	吸引	人工呼吸器 (レスピレーター)	気管切開	カテーテル留置	その他	医療的ケアを受けていない	無回答
全体	949	37.9	5.0	1.9	5.4	1.4	2.2	0.8	1.3	1.4	8.9	33.3	12.1
身体障害者手帳所持者	590	35.9	7.8	2.9	8.5	1.9	3.2	1.4	2.0	1.7	10.5	29.5	11.7
療育手帳所持者	138	34.1	0.0	2.2	0.7	1.4	2.2	0.7	0.7	0.0	3.6	52.2	9.4
精神障害者保健福祉手帳所持者	166	57.2	0.0	1.2	0.0	1.8	1.2	0.0	0.6	1.2	9.0	28.9	6.6
障害者手帳を持っていない	67	26.9	0.0	0.0	1.5	0.0	1.5	0.0	0.0	1.5	6.0	49.3	14.9

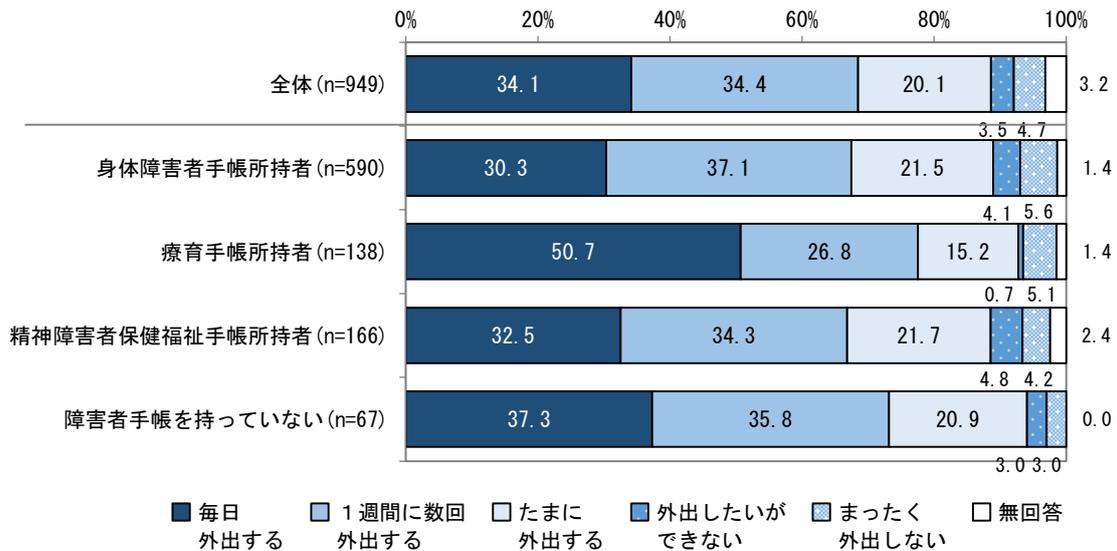
(3) 日中活動について

問8 あなたは、1週間にどの程度外出しますか。

○は1つだけ

1週間の外出頻度について、「1週間に数回外出する」が34.4%で最も多く、次いで「毎日外出する」が34.1%、「たまに外出する」が20.1%となっています。

また、手帳所持者別でみると、「毎日外出する」では、「療育手帳所持者」が50.7%で最も多く、次いで「障害者手帳を持っていない」が37.3%、「精神障害者保健福祉手帳所持者」が32.5%となっています。

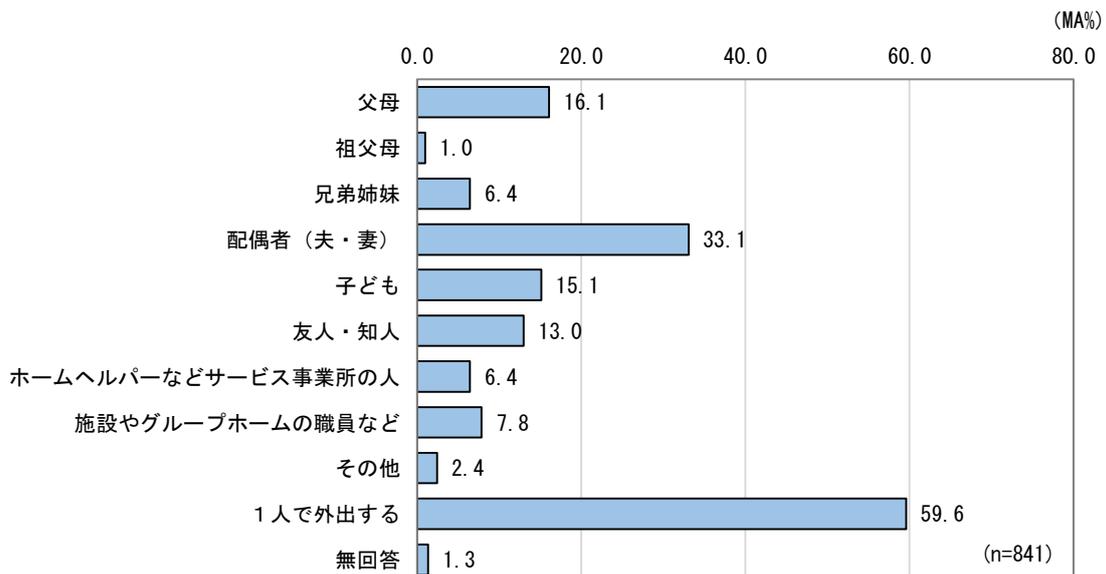


《問8で「外出する」と回答した方》

問8-1 あなたは、外出する際に誰と外出しますか。

○はいくつでも

外出する人に、外出する際に誰と外出するかについて聞いたところ、「1人で外出する」が59.6%で最も多く、次いで、「配偶者（夫・妻）」が33.1%、「父母」が16.1%となっています。



		父母	祖父母	兄弟姉妹	配偶者（夫・妻）	子ども	友人・知人	ホームヘルパーなどサービス事業所の人	施設やグループホームの職員など	その他	1人で外出する	無回答
	n											
全体	841	16.1	1.0	6.4	33.1	15.1	13.0	6.4	7.8	2.4	59.6	1.3
身体障害者手帳所持者	525	6.5	0.0	3.2	41.7	17.5	12.4	7.0	6.1	2.5	58.7	1.5
療育手帳所持者	128	50.0	3.1	19.5	0.8	1.6	14.8	13.3	26.6	3.1	53.1	0.8
精神障害者保健福祉手帳所持者	147	31.3	2.7	6.8	23.8	11.6	12.2	3.4	6.1	3.4	60.5	0.0
障害者手帳を持っていない	63	1.6	0.0	4.8	38.1	25.4	12.7	3.2	4.8	0.0	71.4	3.2

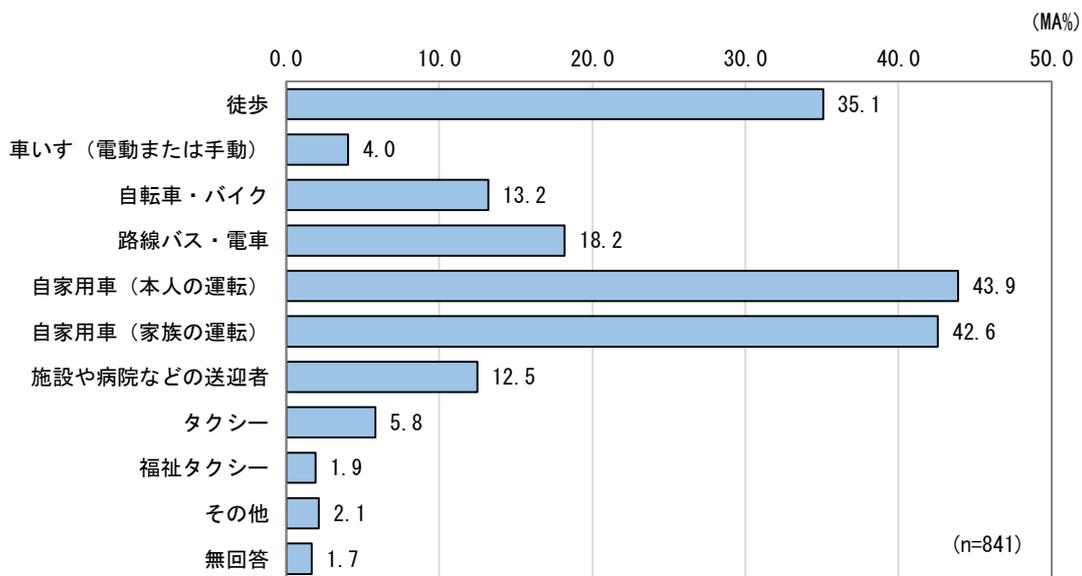
《問8で「外出する」と回答した方》

問8-2

あなたは、外出する際の主な交通手段は何ですか。

〇はいくつでも

外出する人に、外出する際の主な交通手段について聞いたところ、「自家用車（本人の運転）」が43.9%で最も多く、次いで「自家用車（家族の運転）」が42.6%、「徒歩」が35.1%となっています。

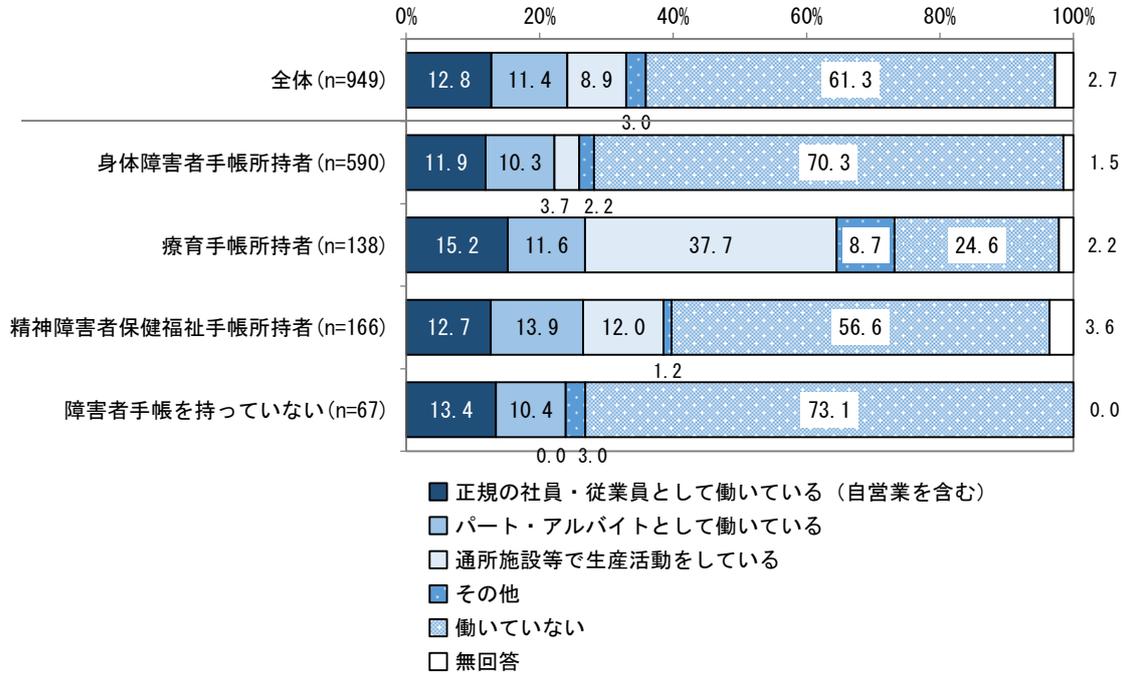


		徒歩	車いす（電動または手動）	自転車・バイク	路線バス・電車	自家用車（本人の運転）	自家用車（家族の運転）	施設や病院などの送迎者	タクシー	福祉タクシー	その他	無回答
	n											
全体	841	35.1	4.0	13.2	18.2	43.9	42.6	12.5	5.8	1.9	2.1	1.7
身体障害者手帳所持者	525	32.8	6.1	8.0	14.9	49.1	42.1	11.8	6.3	2.9	2.3	1.9
療育手帳所持者	128	44.5	4.7	28.1	28.1	10.2	49.2	30.5	2.3	1.6	2.3	1.6
精神障害者保健福祉手帳所持者	147	34.0	1.4	18.4	22.4	42.2	42.2	6.1	10.2	1.4	1.4	1.4
障害者手帳を持っていない	63	41.3	0.0	12.7	17.5	57.1	34.9	6.3	3.2	0.0	1.6	3.2

問9 あなたは、働いていますか。

○は1つだけ

就労状況について、「働いていない」が61.3%で最も多く、次いで「正規の社員・従業員として働いている（自営業を含む）」が12.8%、「パート・アルバイトとして働いている」が11.4%となっています。

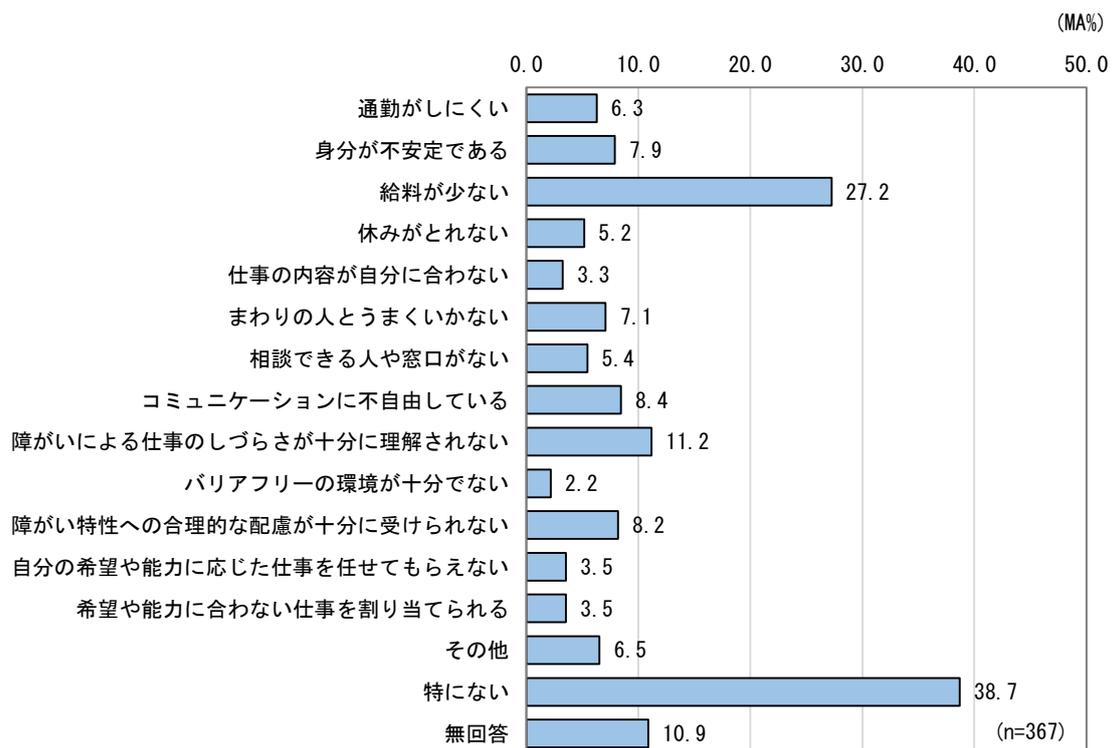


《問9で「働いている」と回答した方》

問9-1 働くなかで、困っていることは何ですか。

○はいくつでも

就労している人に、働くなかで困っていることについて聞いたところ、「特にない」が38.7%で最も多く、次いで「給料が少ない」が27.2%、「障がいによる仕事のしづらさが十分に理解されない」が11.2%となっています。

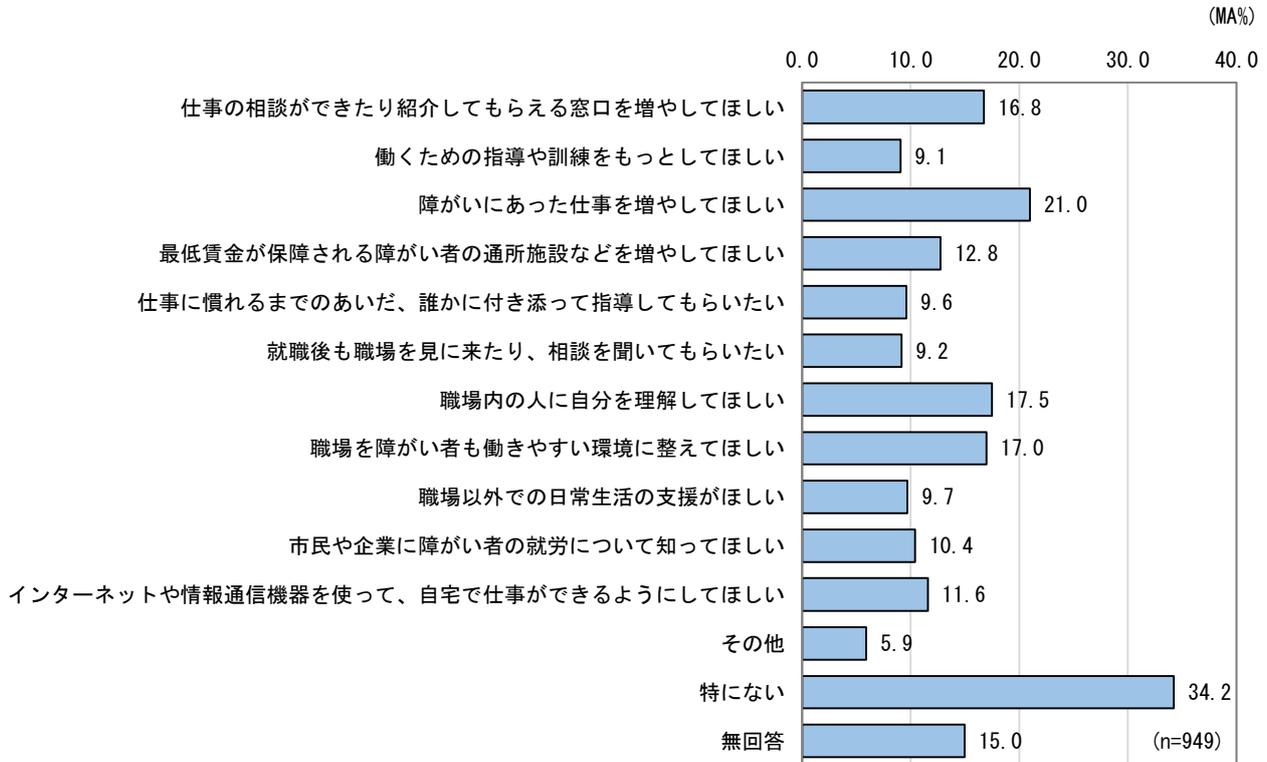


問 10

あなたが働くとするば（または働き続けるとすれば）どういうことを望みますか。

〇はいくつでも

働く（または働き続ける）場合の要望について、「特にない」が34.2%で最も多く、次いで「障がいにあった仕事を増やしてほしい」が21.0%、「職場内の人に自分を理解してほしい」が17.5%となっています。



	n	仕事の相談ができたり紹介してもらえる窓口を増やしてほしい	働くための指導や訓練をもっとしてほしい	障がいにあった仕事を増やしてほしい	最低賃金が保障される障がい者の通所施設などを増やしてほしい	仕事に慣れるまでのあいだ、誰かに付き添って指導してもらいたい	就職後も職場を見に来たり、相談を聞いてもらいたい	職場内の人に自分を理解してほしい	職場を障がい者も働きやすい環境に整えてほしい	職場以外での日常生活の支援がほしい	市民や企業に障がい者の就労について知ってほしい	インターネットや情報通信機器を使って、自宅で仕事ができるようにしてほしい	その他	特にない	無回答
全体	949	16.8	9.1	21.0	12.8	9.6	9.2	17.5	17.0	9.7	10.4	11.6	5.9	34.2	15.0
身体障害者手帳所持者	590	15.3	6.4	18.6	9.0	5.9	5.6	12.4	13.9	7.8	8.5	10.8	6.3	39.7	16.6
療育手帳所持者	138	15.2	21.7	31.9	30.4	19.6	20.3	26.1	23.2	14.5	18.8	11.6	6.5	23.9	5.8
精神障害者保健福祉手帳所持者	166	25.9	10.2	29.5	16.9	16.3	17.5	33.7	29.5	15.1	16.3	18.1	7.8	16.9	11.4
障害者手帳を持っていない	67	11.9	9.0	9.0	7.5	7.5	4.5	9.0	6.0	7.5	4.5	6.0	1.5	50.7	11.9

(MA%)

		仕事の相談ができたり紹介してもらえ る窓口を増やしてほしい	働くための指導や訓練をもっと してほしい	障がいにあった仕事を増やして ほしい	最低賃金が保障される障がい者 の通所施設などを増やしてほしい	仕事に慣れるまでのあいだ、誰か に付き添って指導してほしい	就職後も職場を見に来たり、相談 を聞いてもらいたい	職場内の人に自分を理解してほしい	職場を障がい者も働きやすい環 境に整えてほしい	職場以外での日常生活の支援が ほしい	市民や企業に障がい者の就労に ついて知ってほしい	インターネットや情報通信機器を 使って、自宅で仕事ができる ようにしてほしい	その他	特にな い	無回 答
	n														
全体	949	16.8	9.1	21.0	12.8	9.6	9.2	17.5	17.0	9.7	10.4	11.6	5.9	34.2	15.0
18～19歳	10	10.0	0.0	30.0	50.0	10.0	30.0	30.0	20.0	10.0	10.0	20.0	0.0	30.0	0.0
20～29歳	82	29.3	14.6	34.1	32.9	29.3	22.0	42.7	35.4	13.4	29.3	26.8	8.5	13.4	7.3
30～39歳	67	25.4	14.9	40.3	25.4	19.4	25.4	34.3	32.8	19.4	16.4	17.9	7.5	19.4	3.0
40～49歳	97	18.6	15.5	36.1	21.6	16.5	18.6	29.9	22.7	18.6	18.6	20.6	7.2	19.6	6.2
50～59歳	93	24.7	19.4	30.1	20.4	11.8	11.8	21.5	26.9	12.9	17.2	17.2	3.2	30.1	5.4
60～69歳	175	24.0	5.7	16.6	7.4	5.1	5.1	14.3	13.7	8.6	5.1	11.4	5.1	38.3	12.0
70～79歳	289	6.2	4.2	11.8	4.5	3.8	2.1	7.6	9.0	5.5	4.8	4.5	5.2	43.9	21.5
80歳以上	133	12.0	6.8	9.8	3.8	4.5	3.0	5.3	6.8	3.8	3.8	3.0	7.5	42.9	29.3

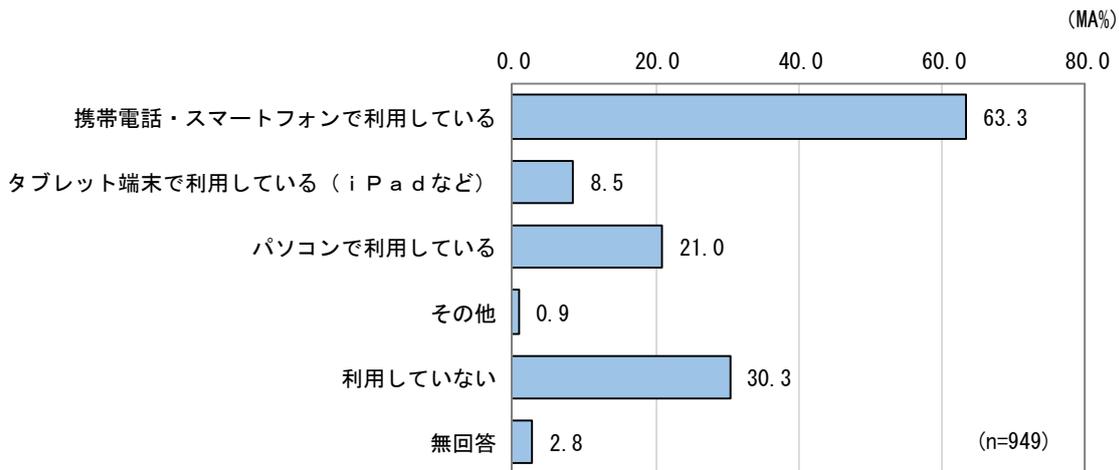
(4) 情報入手やコミュニケーションの状況について

問 11 あなたは、インターネットや情報通信機器を利用していますか。

〇はいくつでも

インターネットや情報通信機器の利用状況について、「携帯電話・スマートフォンで利用している」が63.3%で最も多く、次いで「利用していない」が30.3%、「パソコンで利用している」が21.0%となっています。

また、手帳所持者別でみると、「利用していない」では、「障害者手帳を持っていない」が43.3%で最も多く、次いで「身体障害者手帳所持者」が32.7%、「療育手帳所持者」が32.6%となっています。



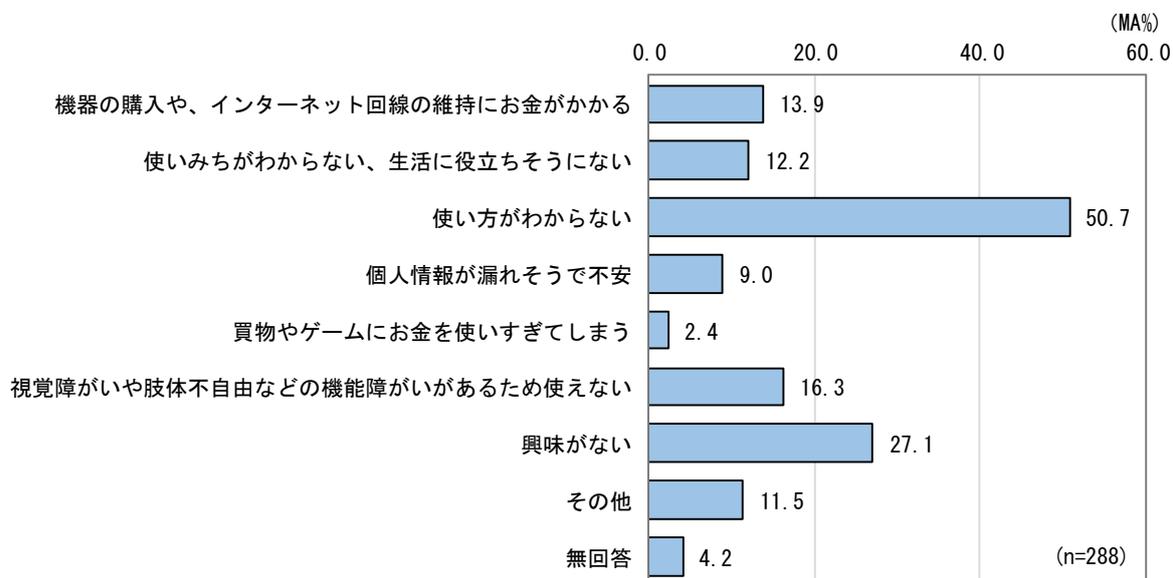
(MA%)

	n	携帯電話・スマートフォンで利用している	タブレット端末で利用している (iPadなど)	パソコンで利用している	その他	利用していない	無回答
全体	949	63.3	8.5	21.0	0.9	30.3	2.8
身体障害者手帳所持者	590	62.0	7.1	21.9	0.7	32.7	1.9
療育手帳所持者	138	60.9	9.4	10.9	2.2	32.6	1.4
精神障害者保健福祉手帳所持者	166	71.7	13.9	26.5	1.2	20.5	4.2
障害者手帳を持っていない	67	50.7	10.4	19.4	0.0	43.3	3.0

《問 11 で「利用していない」と回答した方》

問 11-1	インターネットや情報通信機器を利用していない理由は何ですか。	〇はいくつでも
--------	--------------------------------	---------

インターネットや情報通信機器を利用していない人に、その理由について聞いたところ、「使い方がわからない」が 50.7%で最も多く、次いで「興味がない」が 27.1%、「視覚障がいや肢体不自由などの機能障がいがあるため使えない」が 16.3%となっています。



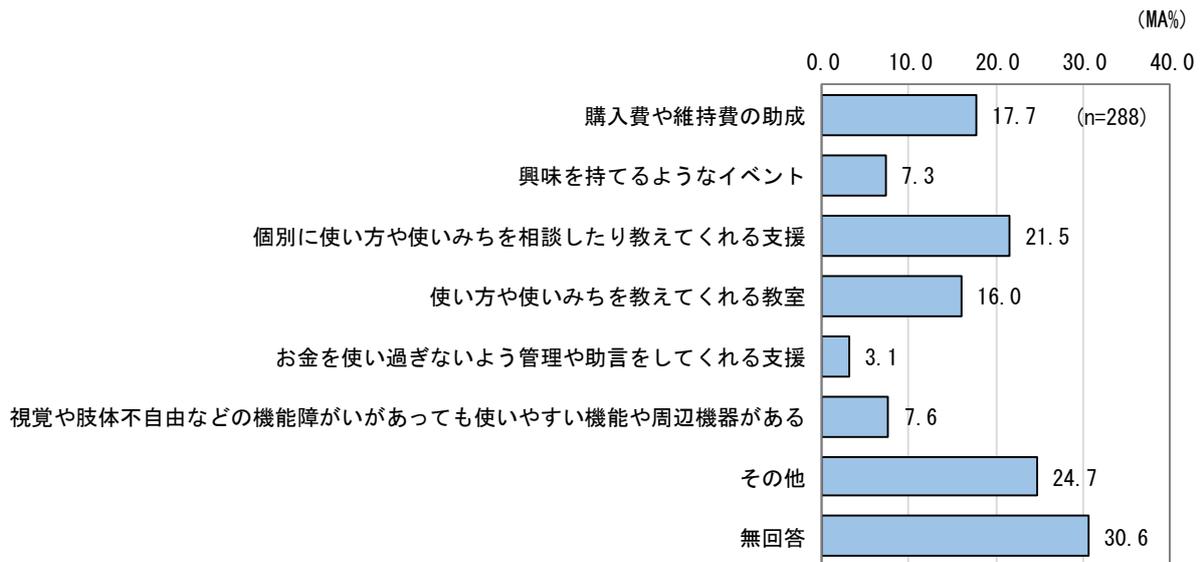
	n	機器の購入や、インターネット回線の維持にお金がかかる	使いみちがわからない、生活に役立ちそうにない	使い方がわからない	個人情報が漏れそうで不安	買物やゲームにお金を使いすぎてしまう	視覚障がいや肢体不自由などの機能障がいがあるため使えない	興味がない	その他	無回答
全体	288	13.9	12.2	50.7	9.0	2.4	16.3	27.1	11.5	4.2
身体障害者手帳所持者	193	14.5	13.0	47.2	8.8	2.6	20.7	28.0	11.4	4.1
療育手帳所持者	45	4.4	11.1	51.1	4.4	2.2	4.4	26.7	22.2	8.9
精神障害者保健福祉手帳所持者	34	11.8	8.8	55.9	5.9	2.9	14.7	20.6	17.6	2.9
障害者手帳を持っていない	29	20.7	10.3	55.2	17.2	3.4	6.9	24.1	3.4	0.0

《問 11 で「利用していない」と回答した方》

問 11-2	どんな支援があればインターネットや情報通信機器を利用したいですか。	〇はいくつでも
--------	-----------------------------------	---------

インターネットや情報通信機器を利用していない人に、どんな支援があればインターネットや情報通信機器を利用したいと思うかについて聞いたところ、「その他」が 24.7%で最も多く、次いで「個別に使い方や使いみちを相談したり教えてくれる支援」が 21.5%、「購入費や維持費の助成」が 17.7%となっています。

また、「その他」として、「職員の支援があれば利用できる」「できない」「わからない」などの意見がありました。



	n	(MA%)							
		購入費や維持費の助成	興味を持てるようなイベント	個別に使い方や使いみちを相談したり教えてくれる支援	使い方や使いみちを教えてくれる教室	お金を使い過ぎないよう管理や助言をしてくれる支援	視覚や肢体不自由などの機能障がいがあっても使いやすい機能や周辺機器がある	その他	無回答
全体	288	17.7	7.3	21.5	16.0	3.1	7.6	24.7	30.6
身体障害者手帳所持者	193	19.7	8.8	23.3	14.5	4.1	10.4	22.8	30.6
療育手帳所持者	45	8.9	4.4	13.3	11.1	2.2	4.4	44.4	33.3
精神障害者保健福祉手帳所持者	34	14.7	2.9	17.6	14.7	2.9	2.9	26.5	35.3
障害者手帳を持っていない	29	20.7	6.9	20.7	27.6	0.0	3.4	20.7	20.7

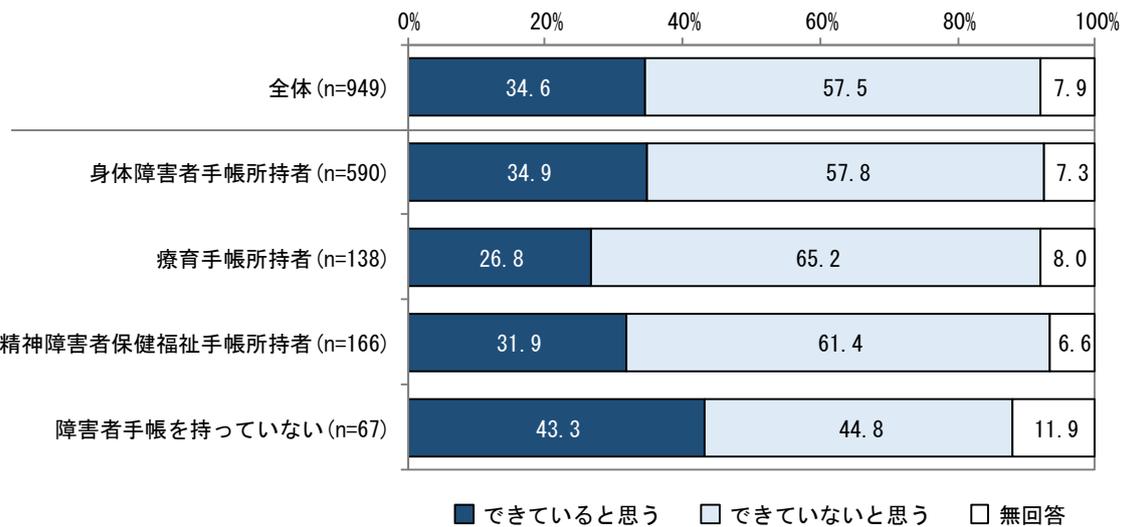
問 12

市が提供する情報について、十分な情報提供ができていますか。

○は1つだけ

市が情報を十分に提供できていると思うかについて、「できていると思う」が 34.6%、「できていないと思う」が 57.5%となっています。

また、手帳所持者別でみると、「できていると思う」では、「障害者手帳を持っていない」が 43.3%で最も多く、次いで「身体障害者手帳所持者」が 34.9%、「精神障害者保健福祉手帳所持者」が 31.9%となっています。



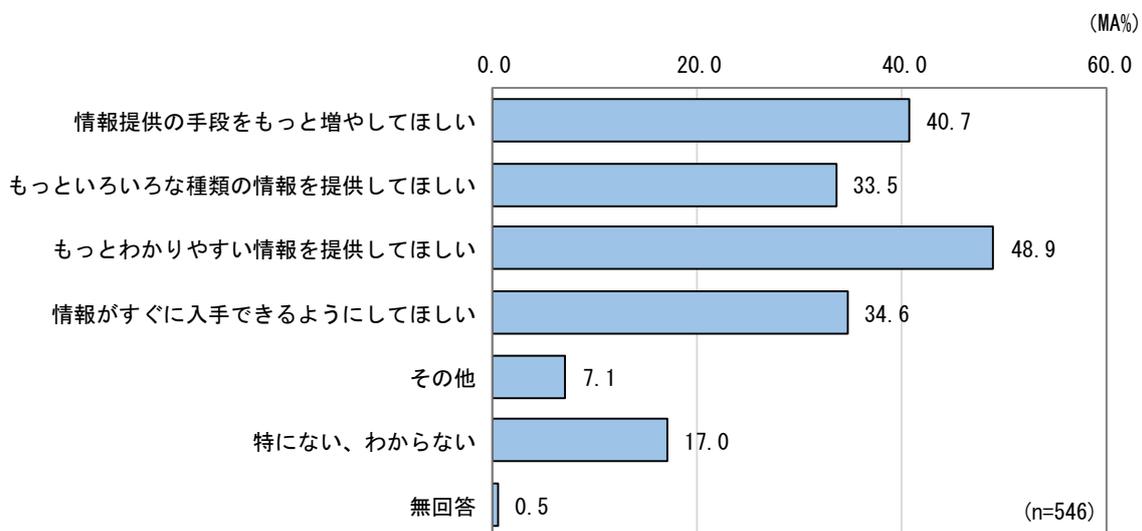
《問 12 で「できていないと思う」と回答した方》

問 12-1

どのように提供してもらいたいですか。

○はいくつでも

市が情報を十分に提供できていないと思う人に、どのように提供してもらいたいかについて聞いたところ、「もっとわかりやすい情報を提供してほしい」が 48.9%で最も多く、次いで「情報提供の手段をもっと増やしてほしい」が 40.7%、「情報がすぐに入手できるようにしてほしい」が 34.6%となっています。



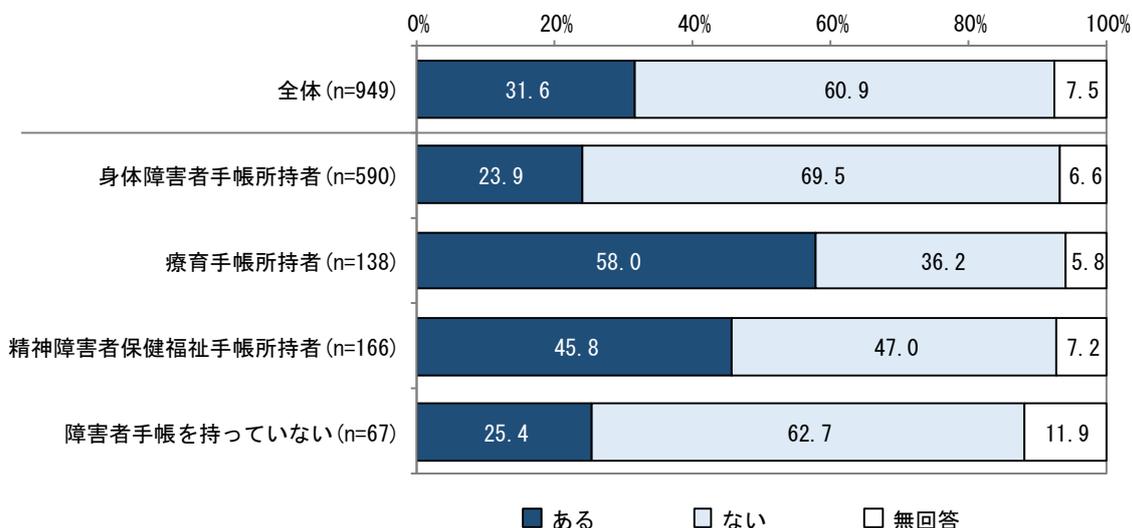
		(MA%)						
		情報提供の手段をもっと増やしてほしい	もっといろいろな種類の情報を提供してほしい	もっとわかりやすい情報を提供してほしい	情報がすぐに入手できるようにしてほしい	その他	特にない、わからない	無回答
	n							
全体	546	40.7	33.5	48.9	34.6	7.1	17.0	0.5
身体障害者手帳所持者	341	39.9	34.0	44.6	34.9	5.9	17.3	0.9
療育手帳所持者	90	37.8	33.3	64.4	34.4	11.1	17.8	0.0
精神障害者保健福祉手帳所持者	102	48.0	33.3	55.9	42.2	9.8	16.7	0.0
障害者手帳を持っていない	30	46.7	36.7	46.7	30.0	0.0	16.7	0.0

問 13 コミュニケーションで困っていることはありますか。

○は1つだけ

コミュニケーションで困っていることはあるかについて、「ある」が31.6%、「ない」が60.9%となっています。

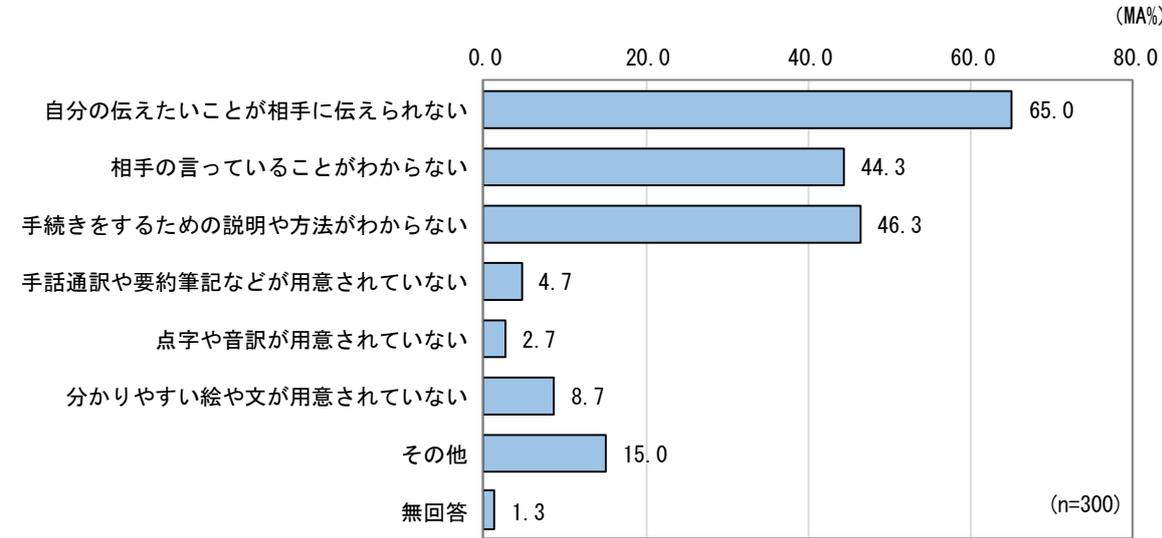
また、手帳所持者別でみると、「ある」では、「療育手帳所持者」が58.0%で最も多く、次いで「精神障害者保健福祉手帳所持者」が45.8%、「障害者手帳を持っていない」が25.4%となっています。



《問 13 で「ある」と回答した方》

問 13-1	あなたがコミュニケーションについて困っているのはどのようなことですか。	〇はいくつでも
--------	-------------------------------------	---------

コミュニケーションで困っていることはある人に、困っている内容について聞いたところ、「自分の伝えたいことが相手に伝えられない」が 65.0%、「手続きをするための説明や方法がわからない」が 46.3%、「相手の言っていることがわからない」が 44.3%となっています。



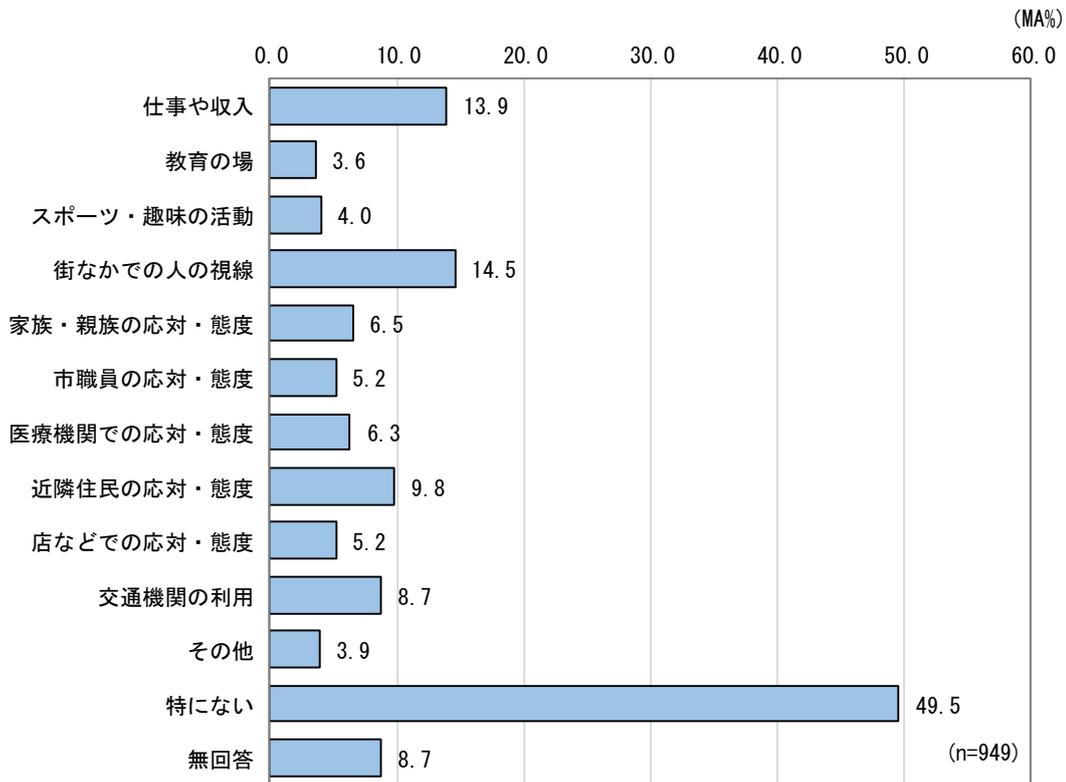
	n	(MA%)							
		自分の伝えたいことが相手に伝えられない	相手の言っていることがわからない	手続きをするための説明や方法がわからない	手話通訳や要約筆記などが用意されていない	点字や音訳が用意されていない	分かりやすい絵や文が用意されていない	その他	無回答
全体	300	65.0	44.3	46.3	4.7	2.7	8.7	15.0	1.3
身体障害者手帳所持者	141	54.6	42.6	39.7	9.2	5.0	8.5	17.0	0.7
療育手帳所持者	80	82.5	55.0	53.8	3.8	2.5	18.8	7.5	1.3
精神障害者保健福祉手帳所持者	76	76.3	36.8	50.0	1.3	2.6	5.3	17.1	0.0
障害者手帳を持っていない	17	41.2	47.1	58.8	0.0	0.0	5.9	11.8	5.9

(5) 人権擁護について

問 14 あなたが差別や偏見・疎外感を感じるのはどんなときですか。

〇はいくつでも

差別や偏見・疎外感を感じるときについて、「特にない」が49.5%で最も多く、次いで「街なかでの人の視線」が14.5%、「仕事や収入」が13.9%となっています。



(MA%)

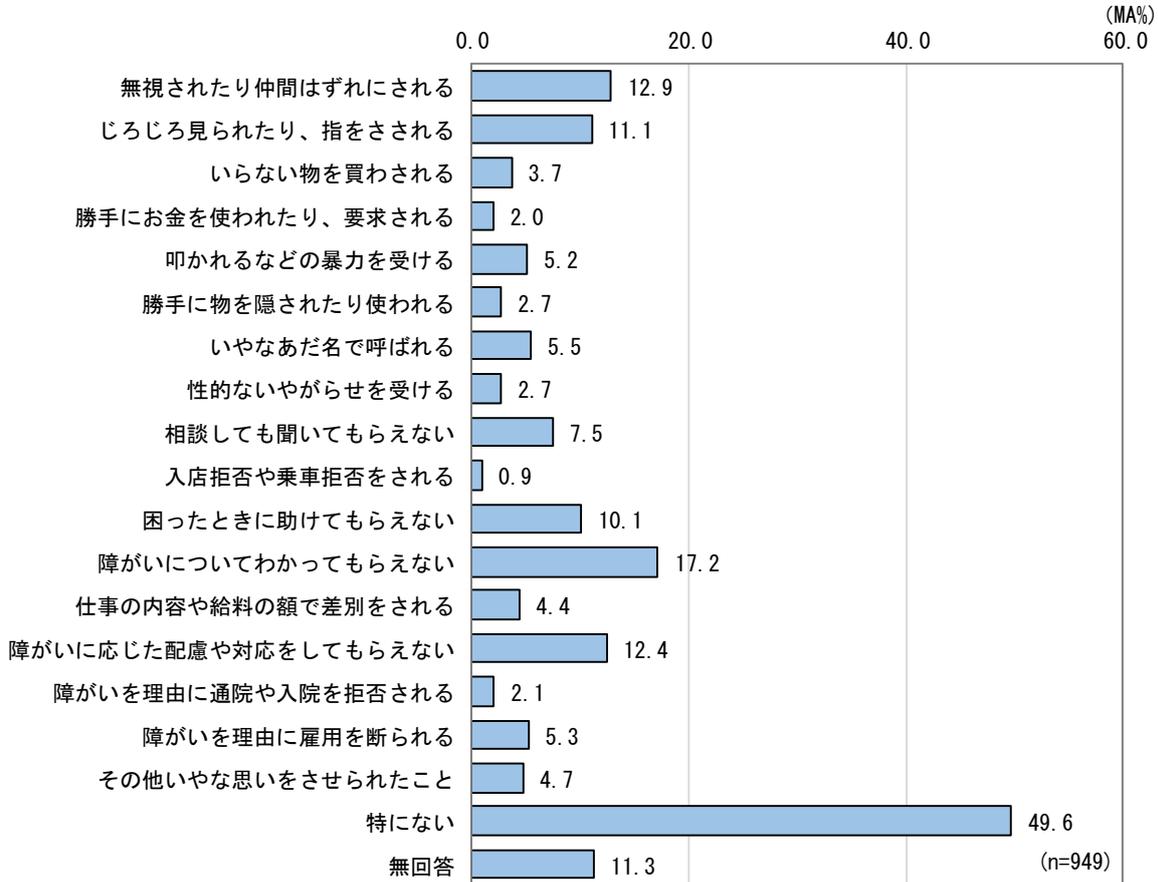
	n	仕事や収入	教育の場	スポーツ・趣味の活動	街なかでの人の視線	家族・親族の対応・態度	市職員の対応・態度	医療機関での対応・態度	近隣住民の対応・態度	店などでの対応・態度	交通機関の利用	その他	特にない	無回答
全体	949	13.9	3.6	4.0	14.5	6.5	5.2	6.3	9.8	5.2	8.7	3.9	49.5	8.7
身体障害者手帳所持者	590	8.1	2.2	4.9	12.4	3.6	4.7	5.6	8.8	4.2	10.8	2.5	55.9	7.5
療育手帳所持者	138	21.7	8.0	3.6	30.4	8.7	3.6	6.5	9.4	10.9	8.7	10.1	34.1	13.0
精神障害者保健福祉手帳所持者	166	33.1	6.6	3.0	17.5	15.7	9.6	9.6	13.9	6.0	6.6	6.0	29.5	9.0
障害者手帳を持っていない	67	6.0	0.0	1.5	1.5	6.0	3.0	4.5	10.4	4.5	3.0	1.5	67.2	4.5

問 15

あなたは、これまで次のような行為を受けた経験はありますか。

〇はいくつでも

いやな思いをさせられた経験はあるかについて、「特にない」が49.6%で最も多く、次いで「障がいについてわかってもらえない」が17.2%、「無視されたり仲間はずれにされる」が12.9%となっています。



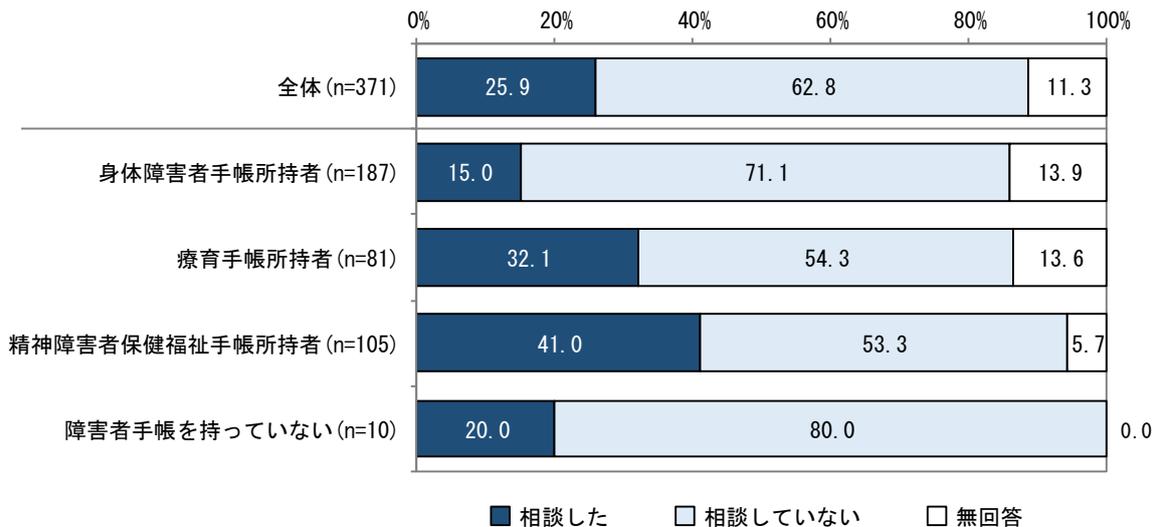
	n	無視されたり仲間はずれにされる	じろじろ見られたり、指をさされる	いらぬ物を買わされる	勝手にお金を使われたり、要求される	叩かれるなどの暴力を受ける	勝手に物を隠されたり使われる	いやなあだ名で呼ばれる	性的ないやがらせを受ける	相談しても聞いてもらえない	入店拒否や乗車拒否をされる	困ったときに助けてもらえない	障がいについてわかってもらえない	仕事の内容や給料の額で差別をされる	障がいに応じた配慮や対応をしてもらえない	障がいを理由に通院や入院を拒否される	障がいを理由に雇用を断られる	その他いやな思いをさせられたこと	特にない	無回答
全体	949	12.9	11.1	3.7	2.0	5.2	2.7	5.5	2.7	7.5	0.9	10.1	17.2	4.4	12.4	2.1	5.3	4.7	49.6	11.3
身体障害者手帳所持者	590	8.5	9.7	2.5	1.2	2.4	1.0	2.4	0.8	5.4	1.2	8.8	13.7	2.5	10.8	1.9	3.6	3.7	58.3	10.0
療育手帳所持者	138	23.2	21.0	4.3	2.2	11.6	5.8	11.6	5.8	11.6	0.0	12.3	23.9	11.6	15.9	2.9	10.9	6.5	29.7	11.6
精神障害者保健福祉手帳所持者	166	25.3	16.3	11.4	7.8	12.7	8.4	16.3	8.4	18.1	1.2	22.3	33.1	9.6	22.3	3.6	10.8	9.6	24.7	12.0
障害者手帳を持っていない	67	7.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	1.5	4.5	0.0	1.5	0.0	1.5	1.5	79.1	6.0

問 15-1	問 15 のような行為を受けたとき、誰かに相談しましたか。また、相談した場合は、具体的な相談先についてお答えください。	○は1つだけ
---------------	--	---------------

いやな思いをさせられた経験がある人に、誰かに相談したかについて聞いたところ、「相談した」が 25.9%、「相談していない」が 62.8%となっています。

また、手帳所持者別でみると、「相談した」では、「精神障害者保健福祉手帳所持者」が 41.0%で最も多く、次いで「療育手帳所持者」が 32.1%、「障害者手帳を持っていない」が 20.0%となっています。

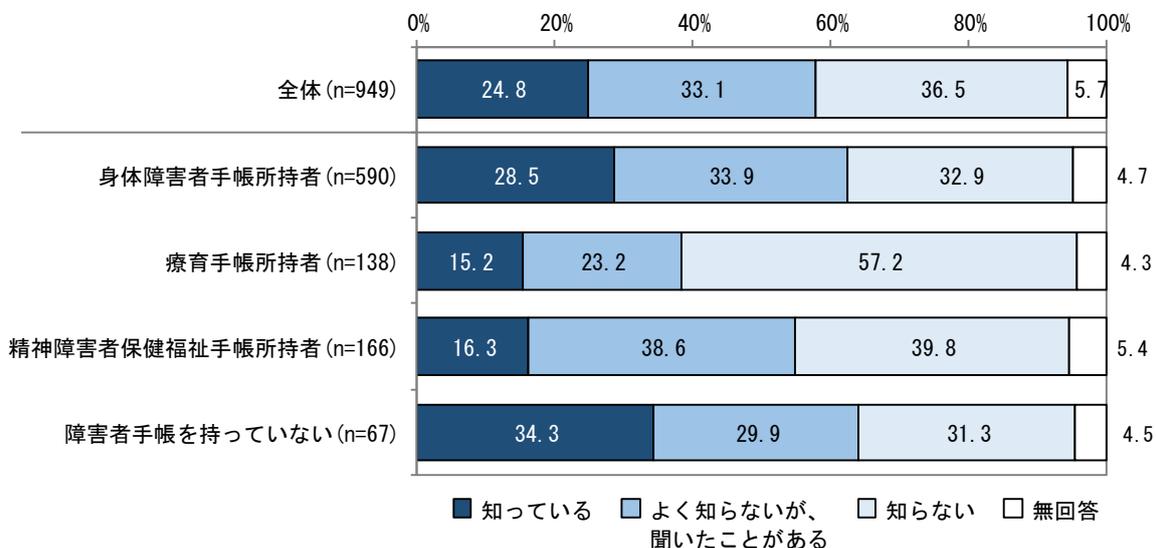
さらに、具体的な相談先については、「両親や家族」「医師」「学校の先生」などとなっています。



問 16	あなたは、成年後見制度を知っていますか。	○は1つだけ
-------------	-----------------------------	---------------

成年後見制度を知っているかについて、「知らない」が 36.5%で最も多く、次いで「よく知らないが、聞いたことがある」が 33.1%、「知っている」が 24.8%となっています。

また、手帳所持者別でみると、「知っている」では、「障害者手帳を持っていない」が 34.3%で最も多く、次いで「身体障害者手帳所持者」が 28.5%、「精神障害者保健福祉手帳所持者」が 16.3%となっています。

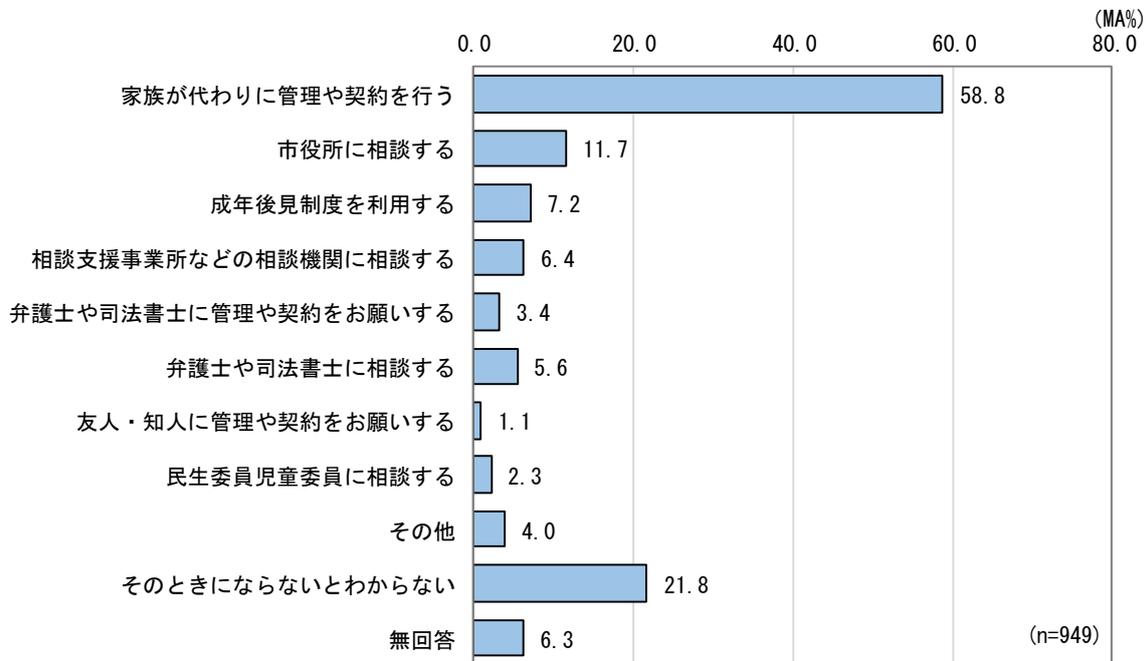


問 17

あなたは、お金の管理や契約が難しい場合、どのようにしたいとお考えですか。

〇はいくつでも

お金の管理や契約が難しい場合の考えについて、「家族が代わりに管理や契約を行う」が58.8%で最も多く、次いで「そのときにならないとわからない」が21.8%、「市役所に相談する」が11.7%となっています。



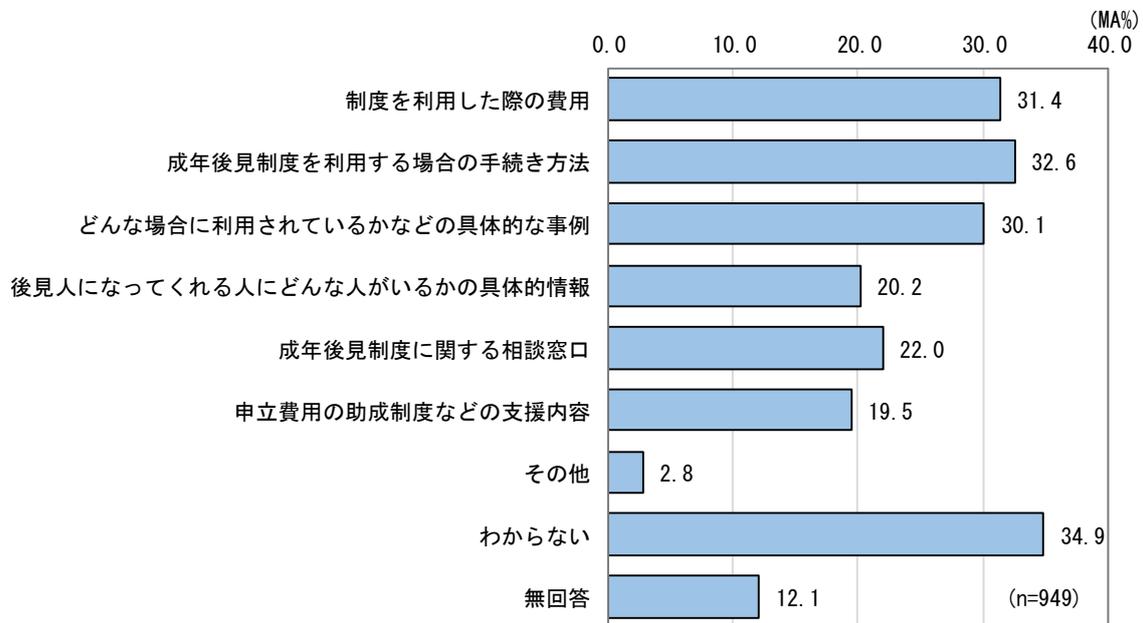
		(MA%)										
	n	家族が代わりに管理や契約を行う	市役所に相談する	成年後見制度を利用する	相談支援事業所などの相談機関に相談する	弁護士や司法書士に管理や契約をお願いする	弁護士や司法書士に相談する	友人・知人に管理や契約をお願いする	民生委員児童委員に相談する	その他	そのときにならないとわからない	無回答
全体	949	58.8	11.7	7.2	6.4	3.4	5.6	1.1	2.3	4.0	21.8	6.3
身体障害者手帳所持者	590	59.2	11.5	6.8	4.9	4.2	5.8	1.4	1.9	3.2	22.9	6.1
療育手帳所持者	138	60.1	11.6	13.8	11.6	0.7	1.4	0.7	1.4	6.5	19.6	6.5
精神障害者保健福祉手帳所持者	166	60.2	15.1	7.2	12.0	3.6	7.2	0.6	4.8	4.2	16.3	5.4
障害者手帳を持っていない	67	55.2	9.0	4.5	3.0	1.5	6.0	0.0	0.0	3.0	28.4	6.0

問 18

成年後見制度に関して、どのような情報が提供されればよいと思いますか。

〇はいくつでも

成年後見制度に関して、どのような情報が提供されればよいと思うかについて、「わからない」が34.9%で最も多く、次いで「成年後見制度を利用する場合の手続き方法」が32.6%、「制度を利用した際の費用」が31.4%となっています。



	n	制度を利用した際の費用	成年後見制度を利用する場合の手続き方法	どんな場合に利用されているかなどの具体的な事例	後見人になってくれる人にどんな人がいるかの具体的情報	成年後見制度に関する相談窓口	申立費用の助成制度などの支援内容	その他	わからない	無回答
全体	949	31.4	32.6	30.1	20.2	22.0	19.5	2.8	34.9	12.1
身体障害者手帳所持者	590	28.0	32.0	29.0	18.0	19.3	17.3	3.1	34.9	12.2
療育手帳所持者	138	29.0	27.5	29.0	19.6	23.9	20.3	5.8	41.3	10.9
精神障害者保健福祉手帳所持者	166	45.8	39.8	40.4	28.9	30.1	28.9	1.8	29.5	10.2
障害者手帳を持っていない	67	32.8	28.4	22.4	20.9	22.4	13.4	0.0	44.8	9.0

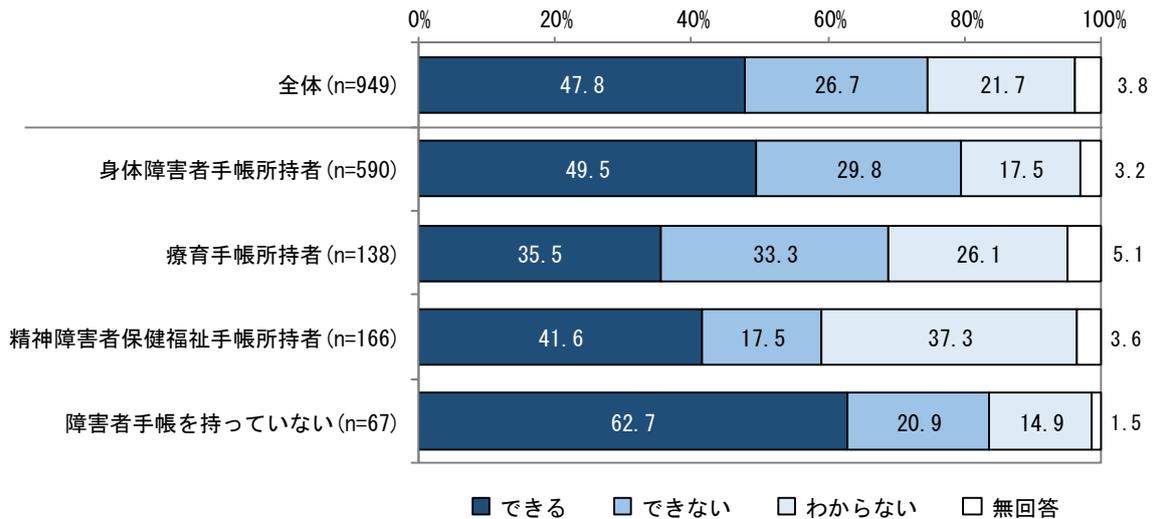
(6) 災害時の避難について

問 19 あなたは、火事や地震などの災害時に一人で避難できますか。

○は1つだけ

火事や地震などの災害時に一人で避難できるかについて、「できる」が47.8%で最も多く、次いで「できない」が26.7%、「わからない」が21.7%となっています。

また、手帳所持者別でみると、「できない」では、「療育手帳所持者」が33.3%で最も多く、次いで「身体障害者手帳所持者」が29.8%、「障害者手帳を持っていない」が20.9%となっています。

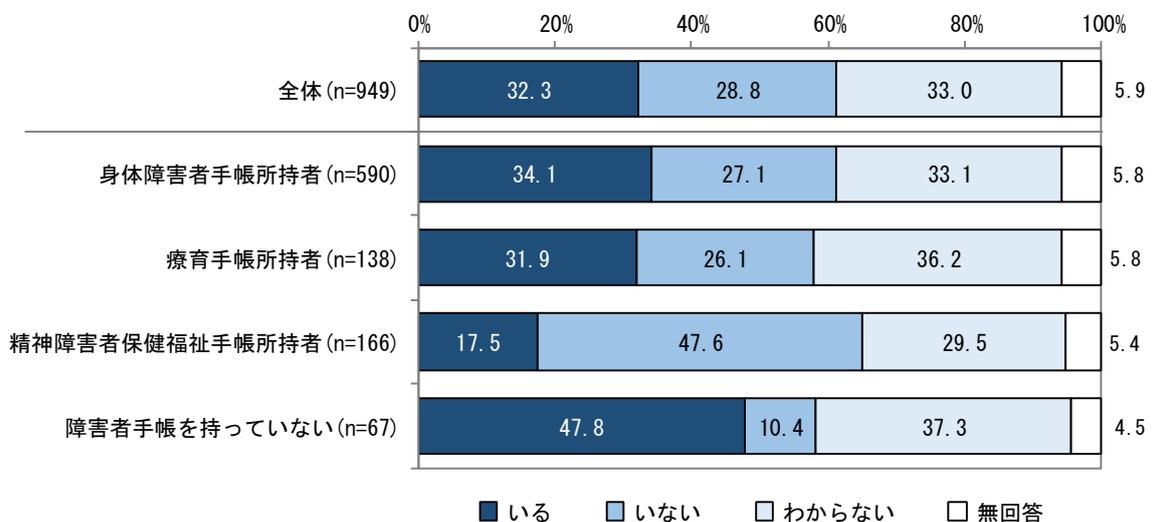


問 20 ご家族が不在の場合や一人暮らしの場合、近所にあなただけを助けてくれる人はいますか。

○は1つだけ

家族が不在の場合、近所に助けてくれる人がいるかについて、「わからない」が33.0%で最も多く、次いで「いる」が32.3%、「いない」が28.8%となっています。

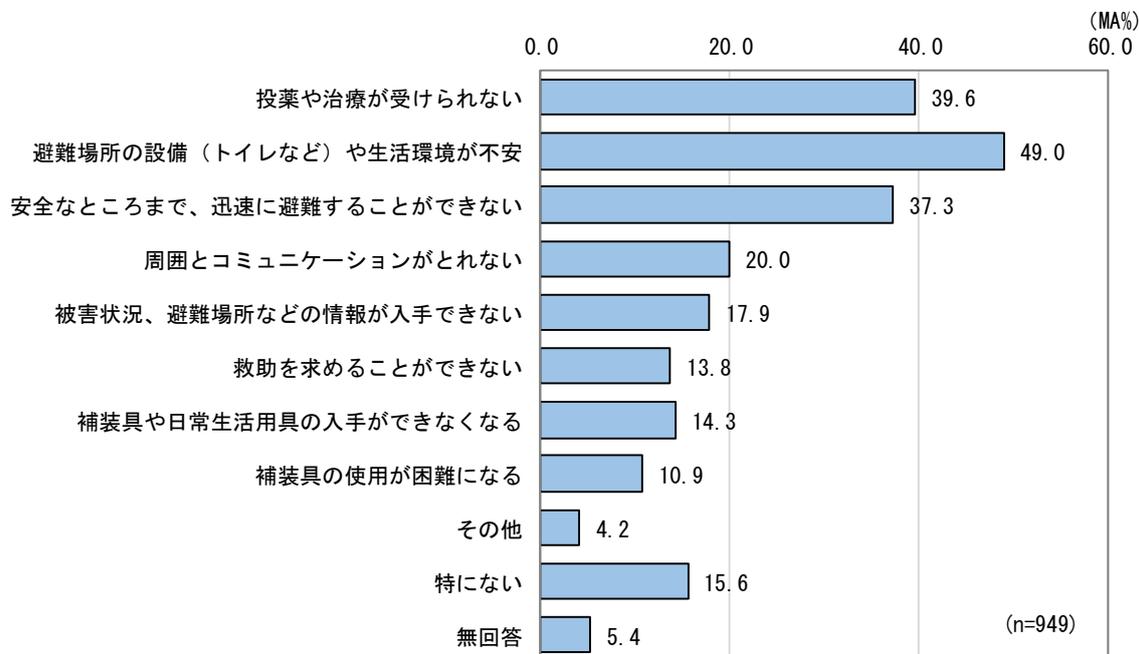
また、手帳所持者別でみると、「いない」では、「精神障害者保健福祉手帳所持者」が47.6%で最も多く、次いで「身体障害者手帳所持者」が27.1%、「療育手帳所持者」が26.1%となっています。



問 21 大雨や地震などの災害時に困ることは何ですか。

〇はいくつでも

大雨や地震などの災害時に困ることについて、「避難場所の設備（トイレなど）や生活環境が不安」が49.0%で最も多く、次いで「投薬や治療が受けられない」が39.6%、「安全なところまで、迅速に避難することができない」が37.3%となっています。



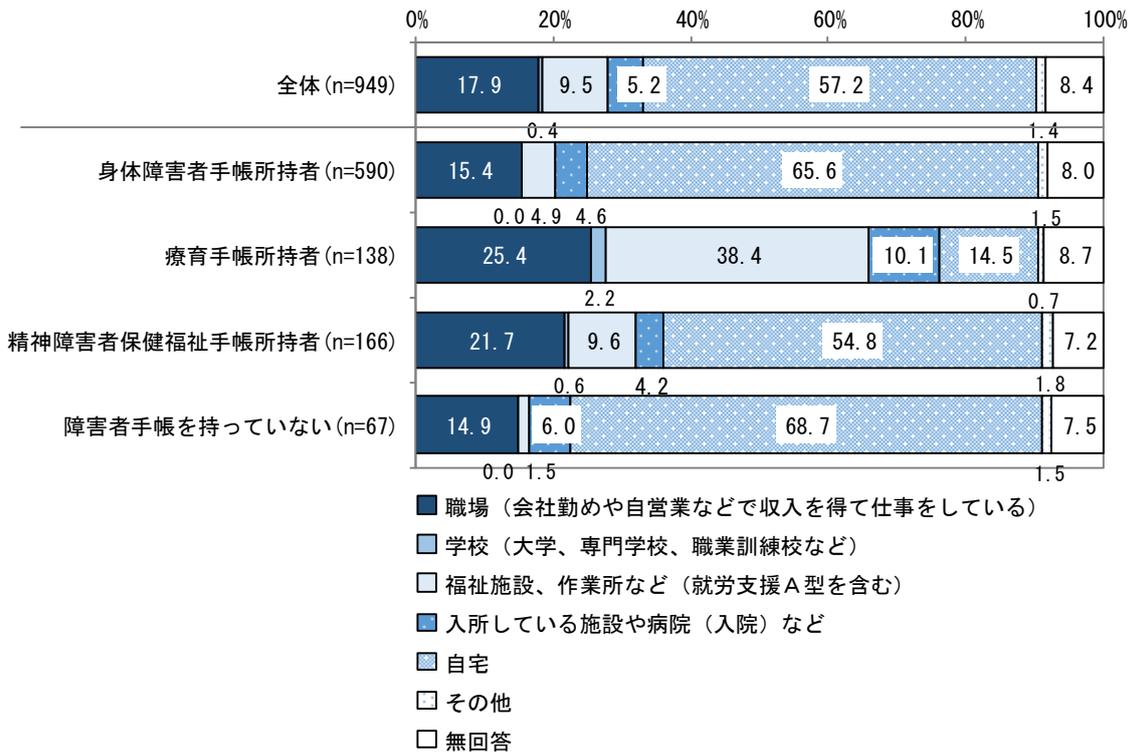
	n	投薬や治療が受けられない	避難場所の設備（トイレなど）や生活環境が不安	安全なところまで、迅速に避難することができない	周囲とコミュニケーションがとれない	被害状況、避難場所などの情報が入手できない	救助を求めることができない	補装具や日常生活用具の入手ができなくなる	補装具の使用が困難になる	その他	特にない	無回答
全体	949	39.6	49.0	37.3	20.0	17.9	13.8	14.3	10.9	4.2	15.6	5.4
身体障害者手帳所持者	590	39.8	48.8	42.5	13.4	16.6	11.2	17.5	14.9	4.6	15.4	4.4
療育手帳所持者	138	27.5	50.7	34.8	44.9	30.4	35.5	15.9	8.7	6.5	16.7	9.4
精神障害者保健福祉手帳所持者	166	54.8	58.4	28.3	33.7	21.1	15.1	9.0	3.0	4.2	7.2	5.4
障害者手帳を持っていない	67	25.4	38.8	32.8	4.5	7.5	1.5	7.5	1.5	0.0	31.3	3.0

(7) 日中の居場所について

問 22 あなたは、平日の日中、主にどのような場所で過ごしていますか。

○は1つだけ

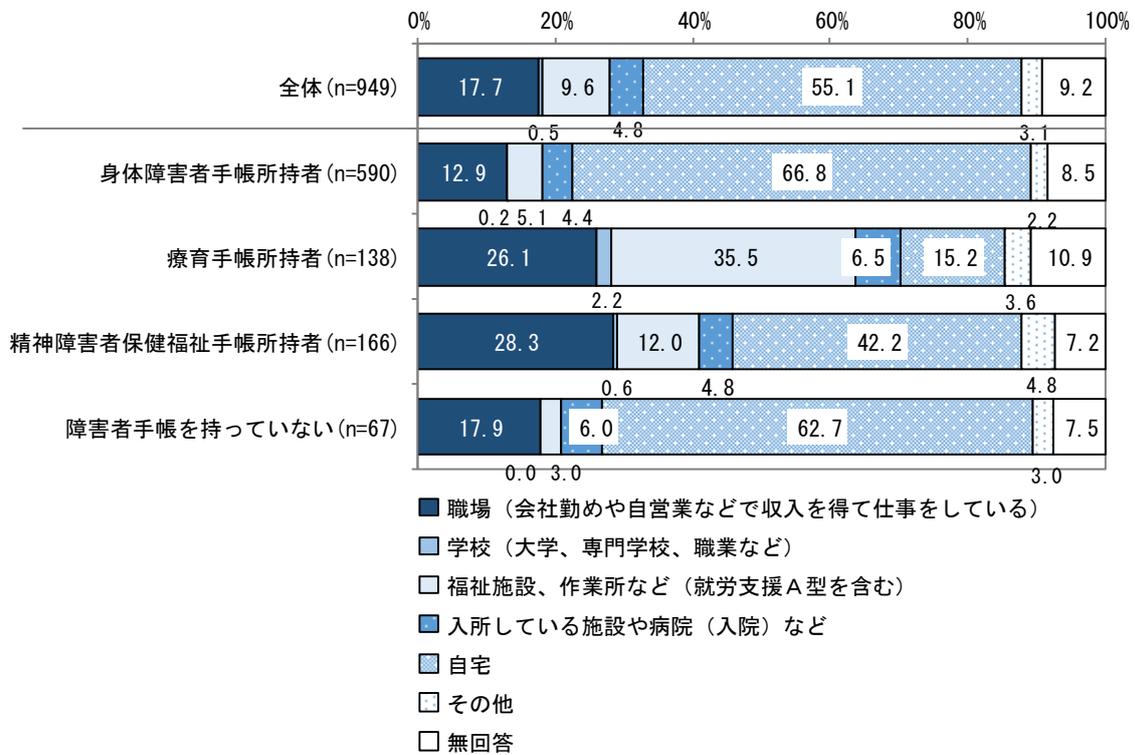
平日の日中に主に過ごしている場所について、「自宅」が57.2%で最も多く、次いで「職場（会社勤めや自営業などで収入を得て仕事をしている）」が17.9%、「福祉施設、作業所など（就労支援A型を含む）」が9.5%となっています。



問 23 今後、平日の日中をどのような場所で過ごしたいですか。

○は1つだけ

平日の日中にどのような場所に過ごしたいかについて、「自宅」が55.1%で最も多く、次いで「職場（会社勤めや自営業などで収入を得て仕事をしている）」が17.7%、「福祉施設、作業所など（就労支援A型を含む）」が9.6%となっています。



(8) 相談について

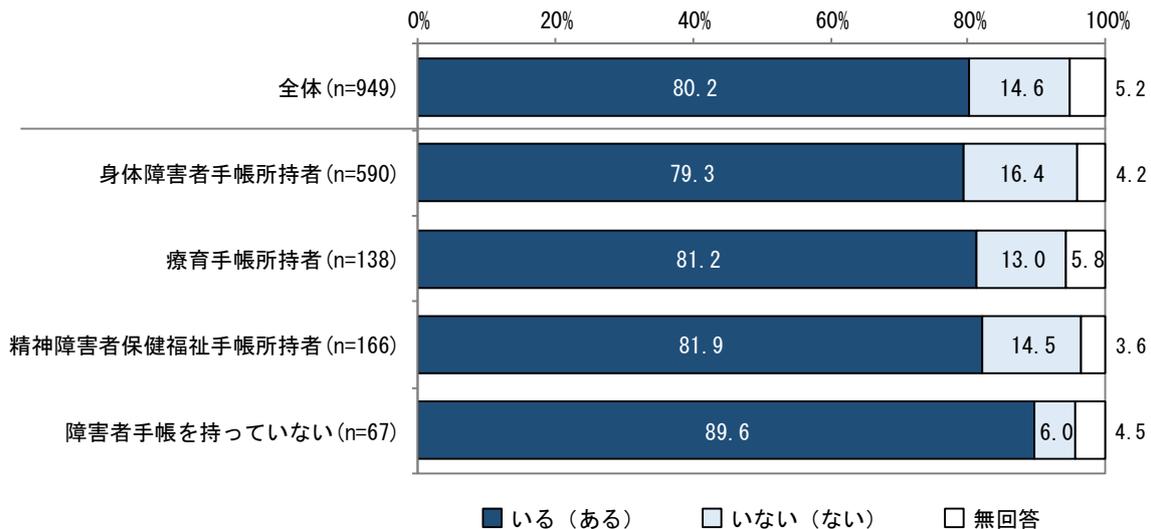
問 24

あなたは、困ったときや不安になったとき、気軽に相談できる人はいますか。または、相談できる場所がありますか。

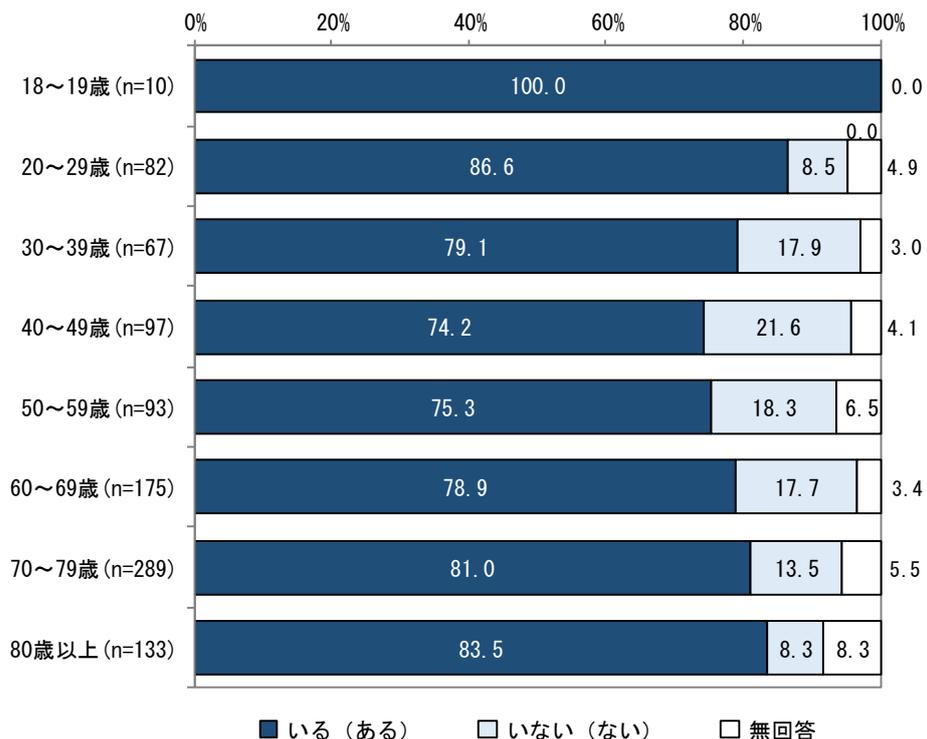
○は1つだけ

困ったときや不安になったとき、気軽に相談できる人はいるかについて、「いる（ある）」が 80.2%、「いない（ない）」が 14.6%となっています。

また、手帳所持者別でみると、「いない（ない）」では、「身体障害者手帳所持者」が 16.4%で最も多く、次いで「精神障害者保健福祉手帳所持者」が 14.5%、「療育手帳所持者」が 13.0%となっています。



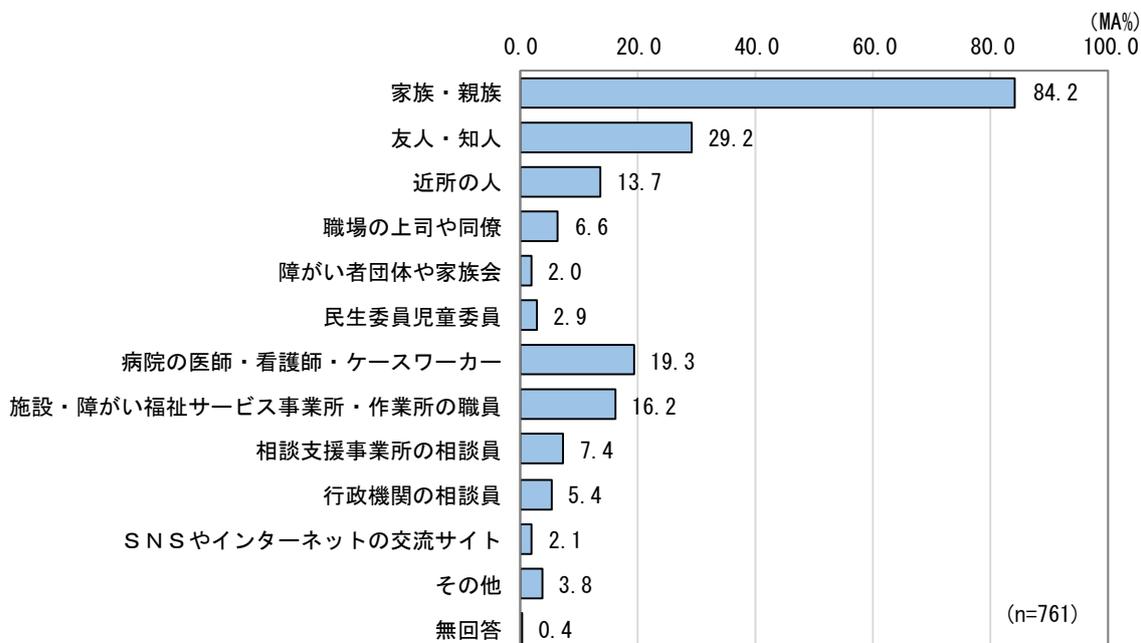
さらに、年齢別でみると、「いない（ない）」では、「40～49歳」が 21.6%で最も多く、次いで「50～59歳」が 18.3%、「30～39歳」が 17.9%となっています。



《問 24 で「いる（ある）」と回答した方》

問 24-1	どのような人（場所）ですか。	〇はいくつでも
--------	----------------	---------

困ったときや不安になったとき、気軽に相談できる人はいる（相談できる場所はある）人に、どのような人（場所）かについて聞いたところ、「家族・親族」が 84.2% で最も多く、次いで「友人・知人」が 29.2%、「病院の医師・看護師・ケースワーカー」が 19.3% となっています。

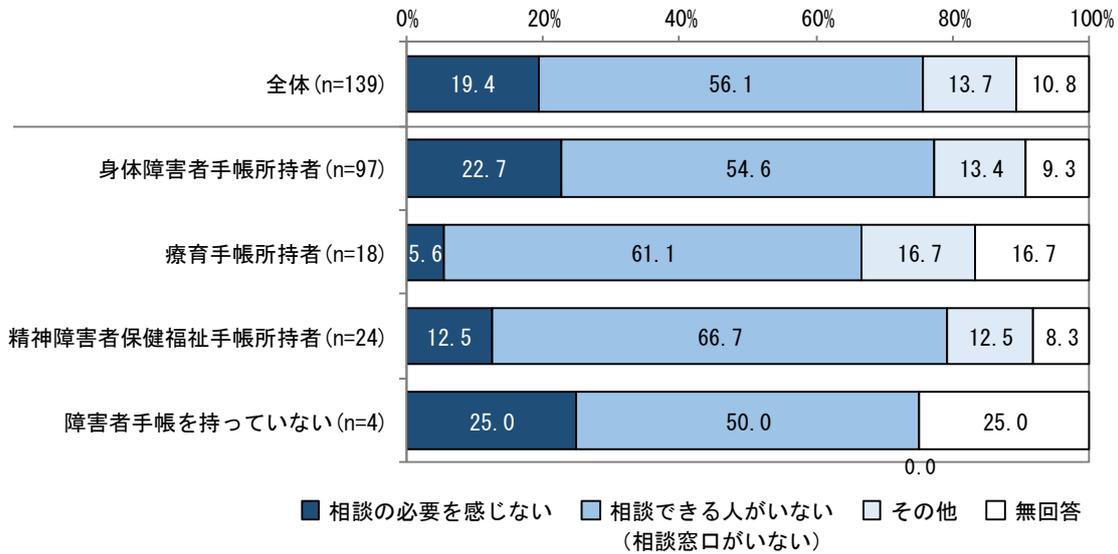


	n	家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の上司や同僚	障がい者団体や家族会	民生委員児童委員	病院の医師・看護師・ケースワーカー	施設・障がい福祉サービス事業所・作業所の職員	相談支援事業所の相談員	行政機関の相談員	SNSやインターネットの交流サイト	その他	無回答
全体	761	84.2	29.2	13.7	6.6	2.0	2.9	19.3	16.2	7.4	5.4	2.1	3.8	0.4
身体障害者手帳所持者	468	87.8	29.3	16.9	3.2	2.4	3.8	19.7	10.9	5.3	5.1	1.5	3.2	0.2
療育手帳所持者	112	71.4	22.3	7.1	16.1	3.6	1.8	9.8	50.0	16.1	6.3	1.8	6.3	0.0
精神障害者保健福祉手帳所持者	136	77.2	27.9	3.7	11.0	0.0	1.5	33.1	18.4	14.7	6.6	4.4	6.6	0.7
障害者手帳を持っていない	60	93.3	46.7	23.3	5.0	0.0	1.7	11.7	6.7	1.7	5.0	1.7	0.0	0.0

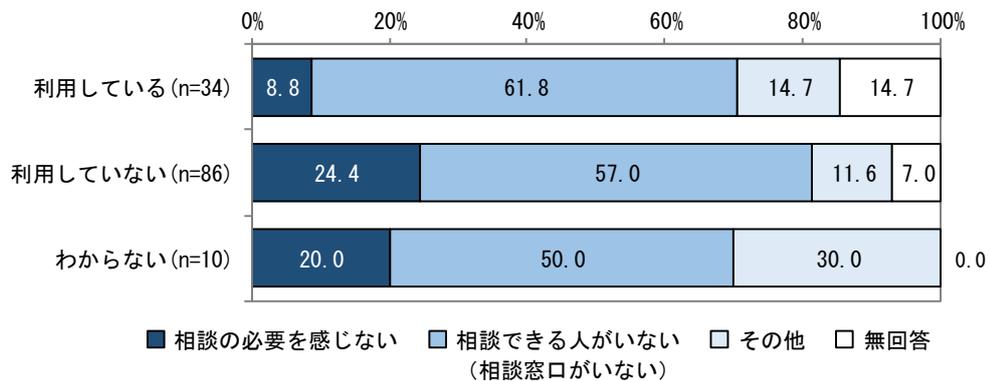
《問 24 で「いない（ない）」と回答した方》

問 24-2	その理由は何ですか。	○は1つだけ
--------	------------	--------

困ったときや不安になったとき、気軽に相談できる人はいない（相談できる場所はない）人に、その理由について聞いたところ、「相談できる人がいない（相談窓口がない）」が 56.1%で最も多く、次いで「相談の必要を感じない」が 19.4%、「その他」が 13.7%となっています。



また、サービス利用の有無別でみると、「利用している」では、「相談できる人がいない（相談窓口がない）」が 61.8%で最も多く、次いで「その他」が 14.7%、「相談の必要を感じない」が 8.8%、「利用していない」では、「相談できる人がいない（相談窓口がない）」が 57.0%で最も多く、次いで「相談の必要を感じない」が 24.4%、「その他」が 11.6%、「わからない」では、「相談できる人がいない（相談窓口がない）」が 50.0%で最も多く、次いで「その他」が 30.0%、「相談の必要を感じない」が 20.0%となっています。

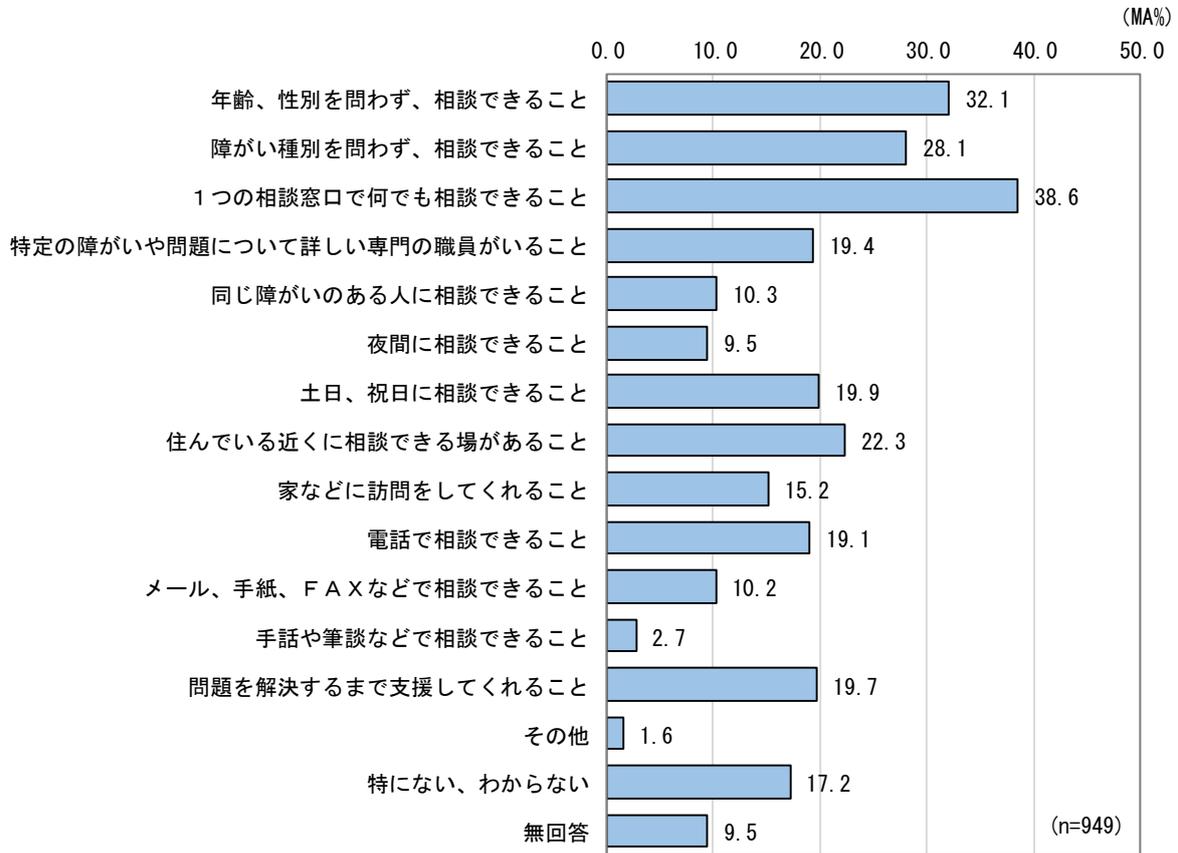


問 25

あなたにとって、利用しやすい相談機関はどのようなものですか。

○はいくつでも

利用しやすい相談機関について、「1つの相談窓口で何でも相談できること」が38.6%で最も多く、次いで「年齢、性別を問わず、相談できること」が32.1%、「障がい種別を問わず、相談できること」が28.1%となっています。



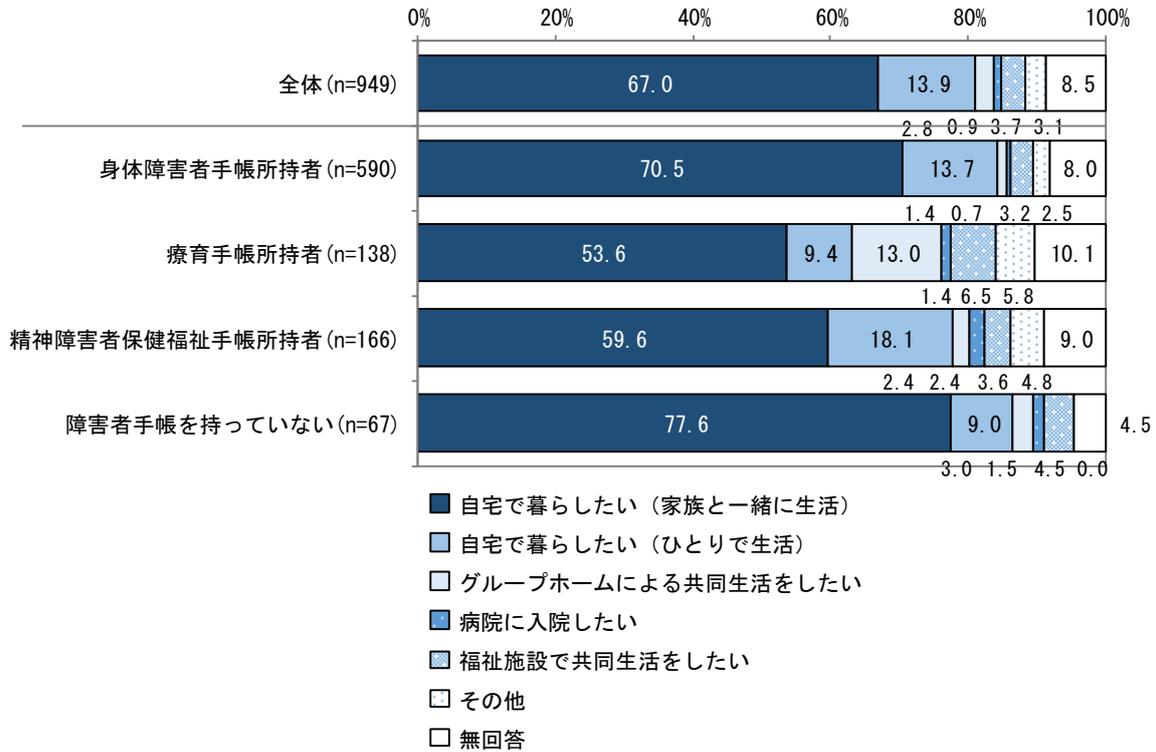
	n	年齢、性別を問わず、相談できること	障がい種別を問わず、相談できること	1つの相談窓口で何でも相談できること	特定の障がいや問題について詳しい専門の職員がいること	同じ障がいのある人に相談できること	夜間に相談できること	土日、祝日に相談できること	住んでいる近くに相談できる場があること	家などに訪問をしてもらえること	電話で相談できること	メール、手紙、FAXなどで相談できること	手話や筆談などで相談できること	問題を解決するまで支援してくれること	その他	特にない、わからない	無回答
全体	949	32.1	28.1	38.6	19.4	10.3	9.5	19.9	22.3	15.2	19.1	10.2	2.7	19.7	1.6	17.2	9.5
身体障害者手帳所持者	590	30.0	25.3	39.8	16.1	8.8	8.0	19.0	19.3	16.1	18.3	10.2	4.1	18.0	1.7	17.3	9.0
療育手帳所持者	138	30.4	31.9	36.2	22.5	10.9	10.1	21.0	27.5	14.5	15.2	7.2	2.2	24.6	2.9	20.3	8.7
精神障害者保健福祉手帳所持者	166	41.0	44.0	38.6	34.9	19.3	18.7	27.1	25.9	16.3	27.1	16.3	0.0	25.9	1.2	12.7	9.0
障害者手帳を持っていない	67	37.3	14.9	37.3	10.4	6.0	6.0	17.9	26.9	13.4	19.4	4.5	0.0	17.9	0.0	25.4	9.0

(9) 暮らしについて

問 26 あなたは3年後の生活をどこで送りたいとお考えですか。

○は1つだけ

3年後の生活について、「自宅で暮らしたい（家族と一緒に生活）」が67.0%で最も多く、次いで「自宅で暮らしたい（ひとりで生活）」が13.9%、「福祉施設で共同生活をしたい」が3.7%となっています。

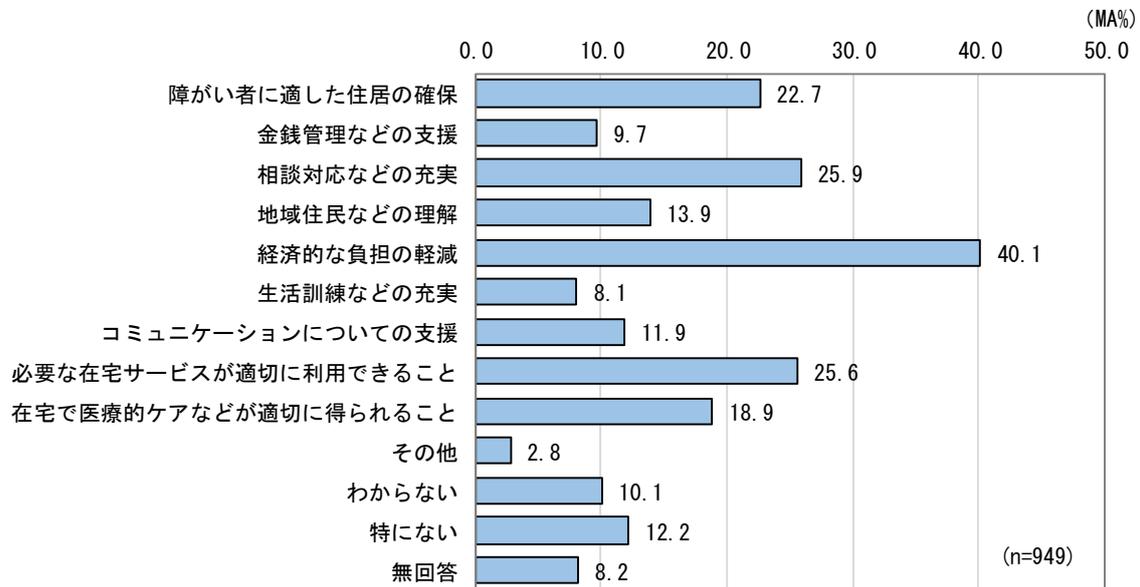


問 27

地域で生活するためには、どのような支援があればよいと思いますか。

〇はいくつでも

地域で生活するために必要な支援について、「経済的な負担の軽減」が40.1%で最も多く、次いで「相談対応などの充実」が25.9%、「必要な在宅サービスが適切に利用できること」が25.6%となっています。



	n	(MA%)												
		障がい者に適した住居の確保	金銭管理などの支援	相談対応などの充実	地域住民などの理解	経済的な負担の軽減	生活訓練などの充実	コミュニケーションについての支援	必要な在宅サービスが適切に利用できること	在宅で医療的ケアなどが適切に得られること	その他	わからない	特にない	無回答
全体	949	22.7	9.7	25.9	13.9	40.1	8.1	11.9	25.6	18.9	2.8	10.1	12.2	8.2
身体障害者手帳所持者	590	22.0	6.4	22.5	11.2	37.5	6.3	7.8	30.0	23.2	3.4	9.5	12.2	7.5
療育手帳所持者	138	29.7	19.6	34.1	24.6	32.6	12.3	24.6	19.6	12.3	4.3	10.1	12.3	10.1
精神障害者保健福祉手帳所持者	166	24.7	16.3	32.5	16.3	56.0	12.7	17.5	15.1	9.0	3.0	12.0	7.2	7.2
障害者手帳を持っていない	67	10.4	3.0	25.4	10.4	34.3	7.5	9.0	32.8	22.4	1.5	9.0	20.9	9.0

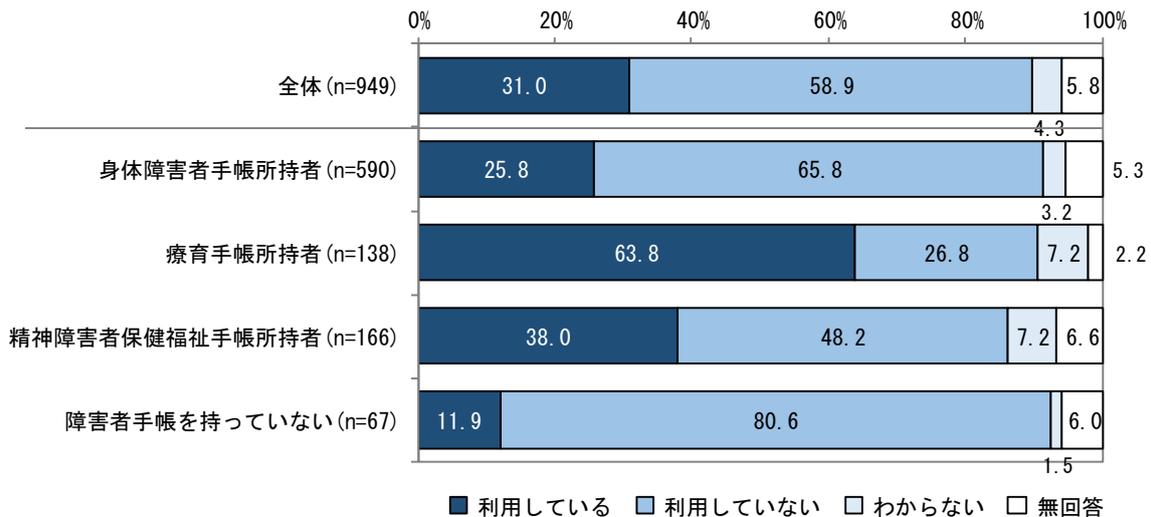
(10) 障がい福祉サービスなどの利用について

問 28 あなたは、障がい福祉サービスを利用していますか。

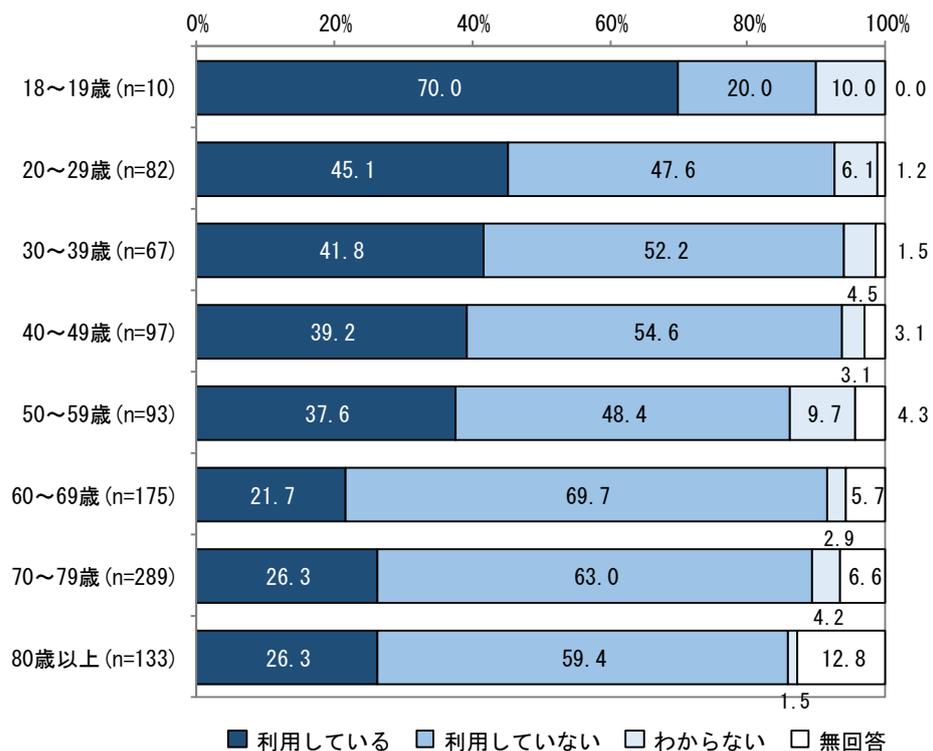
○は1つだけ

障がい福祉サービスの利用状況について、「利用していない」が58.9%で最も多く、次いで「利用している」が31.0%、「わからない」が4.3%となっています。

また、手帳所持者別でみると、「利用している」では、「療育手帳所持者」が63.8%で最も多く、次いで「精神障害者保健福祉手帳所持者」が38.0%、「身体障害者手帳所持者」が25.8%となっています。



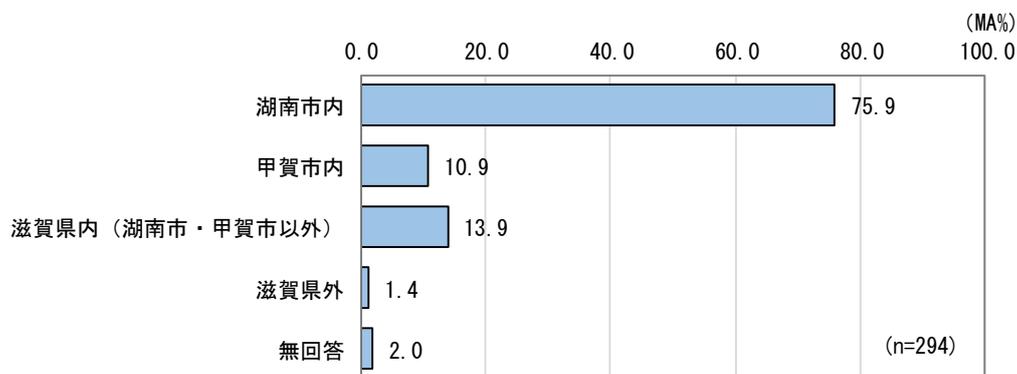
さらに、年齢別でみると、「利用している」では、「18～19歳」が70.0%で最も多く、次いで「20～29歳」が45.1%、「30～39歳」が41.8%となっています。



《問 28 で「利用している」と回答した方》

問 28- 1	利用している事業所の場所についてお答えください。	○はいくつでも
---------	--------------------------	---------

障がい福祉サービスを利用している人に、利用している事業所の場所について聞いたところ、「湖南市内」が 75.9%で最も多く、次いで「滋賀県内（湖南市・甲賀市以外）」が 13.9%、「甲賀市内」が 10.9%となっています。

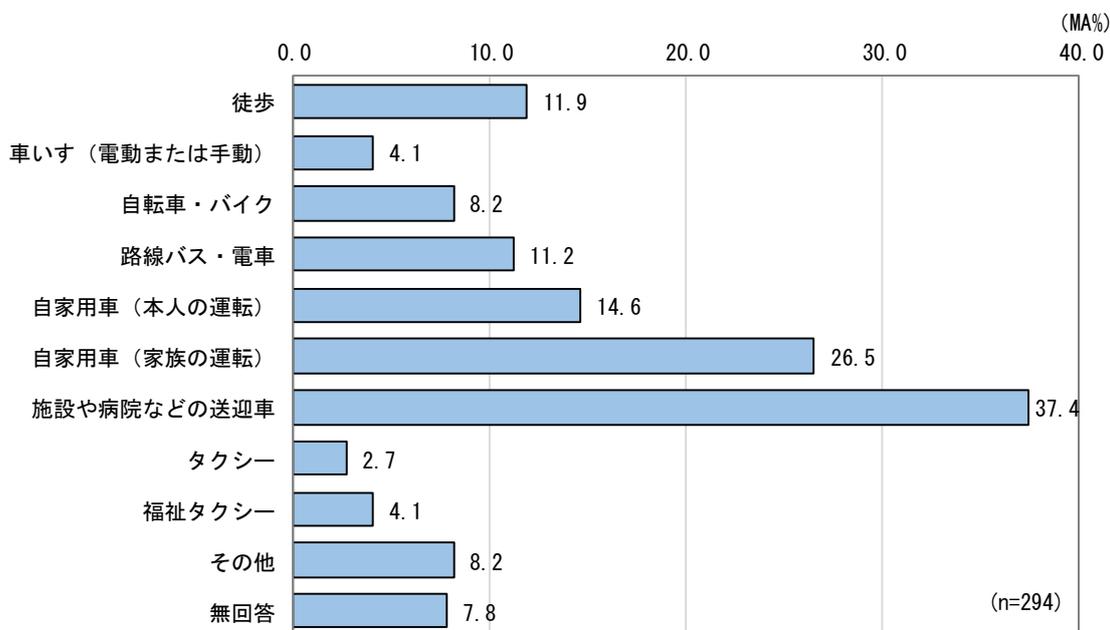


	n	(MA%)				
		湖南市内	甲賀市内	滋賀県内 (湖南市・甲賀市以外)	滋賀県外	無回答
全体	294	75.9	10.9	13.9	1.4	2.0
身体障害者手帳所持者	152	74.3	9.9	15.1	2.0	3.3
療育手帳所持者	88	78.4	12.5	12.5	1.1	0.0
精神障害者保健福祉手帳所持者	63	69.8	15.9	14.3	0.0	1.6
障害者手帳を持っていない	8	100.0	12.5	0.0	0.0	0.0

《問 28 で「利用している」と回答した方》

問 28-2	事業所を利用する際の主な交通手段は何ですか。	〇はいくつでも
--------	------------------------	---------

障がい福祉サービスを利用している人に、事業所を利用する際の主な交通手段について聞いたところ、「施設や病院などの送迎車」が 37.4%で最も多く、次いで「自家用車(家族の運転)」が 26.5%、「自家用車(本人の運転)」が 14.6%となっています。

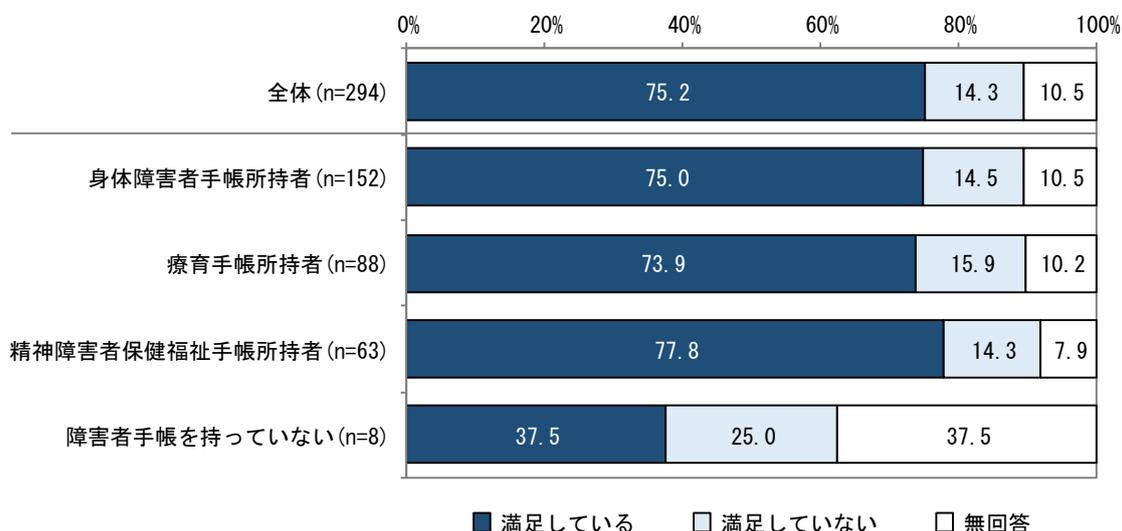


	n	(MA%)										
		徒歩	車いす (電動または手動)	自転車・バイク	路線バス・電車	自家用車 (本人の運転)	自家用車 (家族の運転)	施設や病院などの送迎車	タクシー	福祉タクシー	その他	無回答
全体	294	11.9	4.1	8.2	11.2	14.6	26.5	37.4	2.7	4.1	8.2	7.8
身体障害者手帳所持者	152	5.9	7.2	3.3	8.6	15.1	28.3	42.8	3.3	7.2	7.2	7.9
療育手帳所持者	88	26.1	3.4	10.2	18.2	2.3	30.7	45.5	0.0	2.3	6.8	4.5
精神障害者保健福祉手帳所持者	63	9.5	0.0	14.3	11.1	27.0	20.6	19.0	6.3	1.6	11.1	7.9
障害者手帳を持っていない	8	25.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	37.5	0.0	0.0	12.5	25.0

《問 28 で「利用している」と回答した方》

問 28-3	サービスについて満足していますか。	○は1つだけ
--------	-------------------	--------

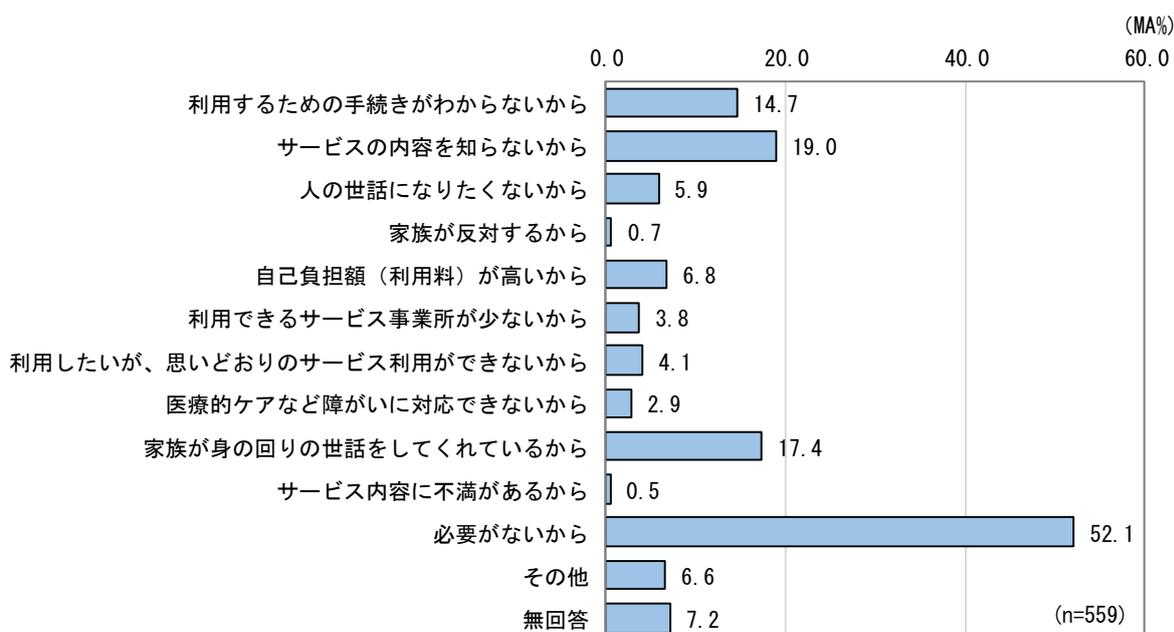
障がい福祉サービスを利用している人に、サービスに満足しているかについて聞いたところ、「満足している」が 75.2%、「満足していない」が 14.3%となっています。



《問 28 で「利用していない」と回答した方》

問 28-5	その理由は何ですか。	○はいくつでも
--------	------------	---------

障がい福祉サービスを利用していない人に、その理由について聞いたところ、「必要がないから」が 52.1%で最も多く、次いで「サービスの内容を知らないから」が 19.0%、「家族が身の回りの世話をしてくれているから」が 17.4%となっています。

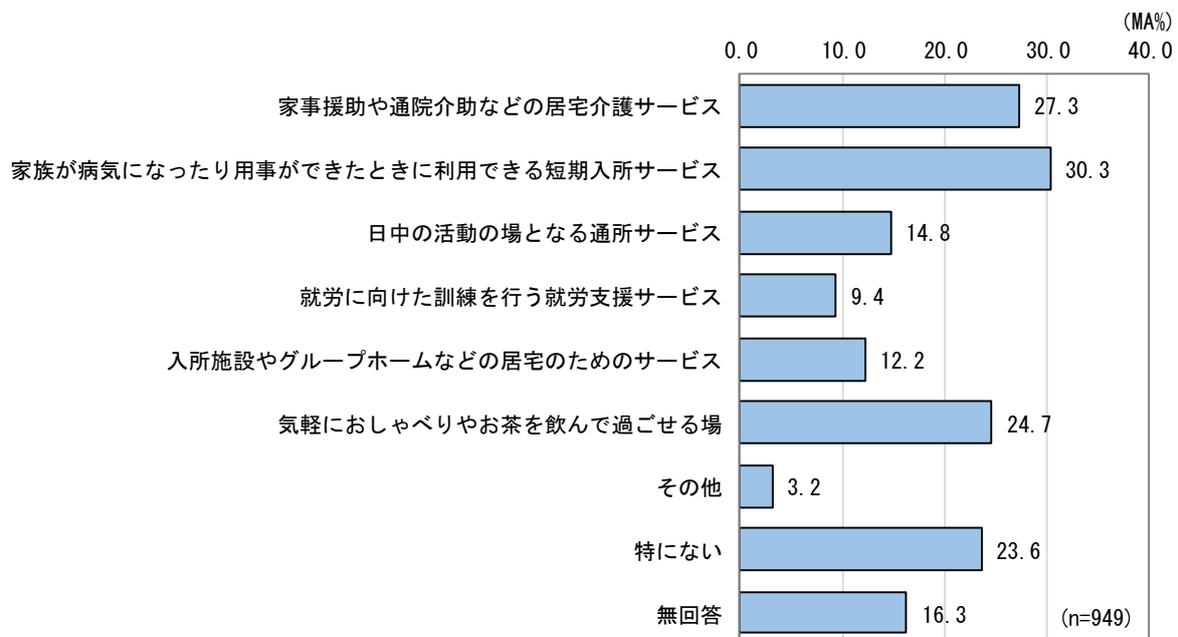


		利用するための手続きがわからないから	サービスの内容を知らないから	人の世話になりたくないから	家族が反対するから	自己負担額（利用料）が高いから	利用できるサービス事業所が少ないから	利用したいが、思いどおりのサービス利用ができないから	医療的ケアなど障がいに対応できないから	家族が身の回りの世話をしてくれているから	サービス内容に不満があるから	必要がないから	その他	無回答
	n													
全体	559	14.7	19.0	5.9	0.7	6.8	3.8	4.1	2.9	17.4	0.5	52.1	6.6	7.2
身体障害者手帳所持者	388	14.4	17.5	4.9	0.0	5.9	2.3	2.6	2.8	16.8	0.3	53.4	6.7	7.7
療育手帳所持者	37	10.8	18.9	2.7	0.0	8.1	5.4	8.1	2.7	21.6	2.7	43.2	8.1	8.1
精神障害者保健福祉手帳所持者	80	23.8	27.5	15.0	3.8	11.3	12.5	12.5	3.8	23.8	1.3	36.3	8.8	2.5
障害者手帳を持っていない	54	5.6	13.0	1.9	0.0	1.9	0.0	0.0	1.9	11.1	0.0	68.5	1.9	11.1

問 29 今後、どのようなサービスなどが増えるといいと思いますか。

〇はいくつでも

今後増えてほしいサービスについて、「家族が病気になったり用事ができたときに利用できる短期入所サービス」が30.3%で最も多く、次いで「家事援助や通院介助などの居宅介護サービス」が27.3%、「気軽にしゃべりやお茶を飲んで過ごせる場」が24.7%となっています。



(MA%)

	n	家事援助や通院介助などの居宅介護サービス	家族が病気になったり用事ができたときに利用できる短期入所サービス	日中の活動の場となる通所サービス	就労に向けた訓練を行う就労支援サービス	入所施設やグループホームなどの居宅のためのサービス	気軽におしゃべりやお茶を飲んで過ごせる場	その他	特になし	無回答
全体	949	27.3	30.3	14.8	9.4	12.2	24.7	3.2	23.6	16.3
身体障害者手帳所持者	590	30.2	30.0	12.2	5.1	10.3	22.2	1.9	26.4	15.8
療育手帳所持者	138	19.6	39.9	18.1	15.9	22.5	33.3	5.1	16.7	14.5
精神障害者保健福祉手帳所持者	166	22.3	25.3	21.1	23.5	14.5	25.3	6.6	18.1	15.1
障害者手帳を持っていない	67	34.3	32.8	16.4	7.5	9.0	34.3	1.5	22.4	16.4

4. 事業者アンケート調査の結果

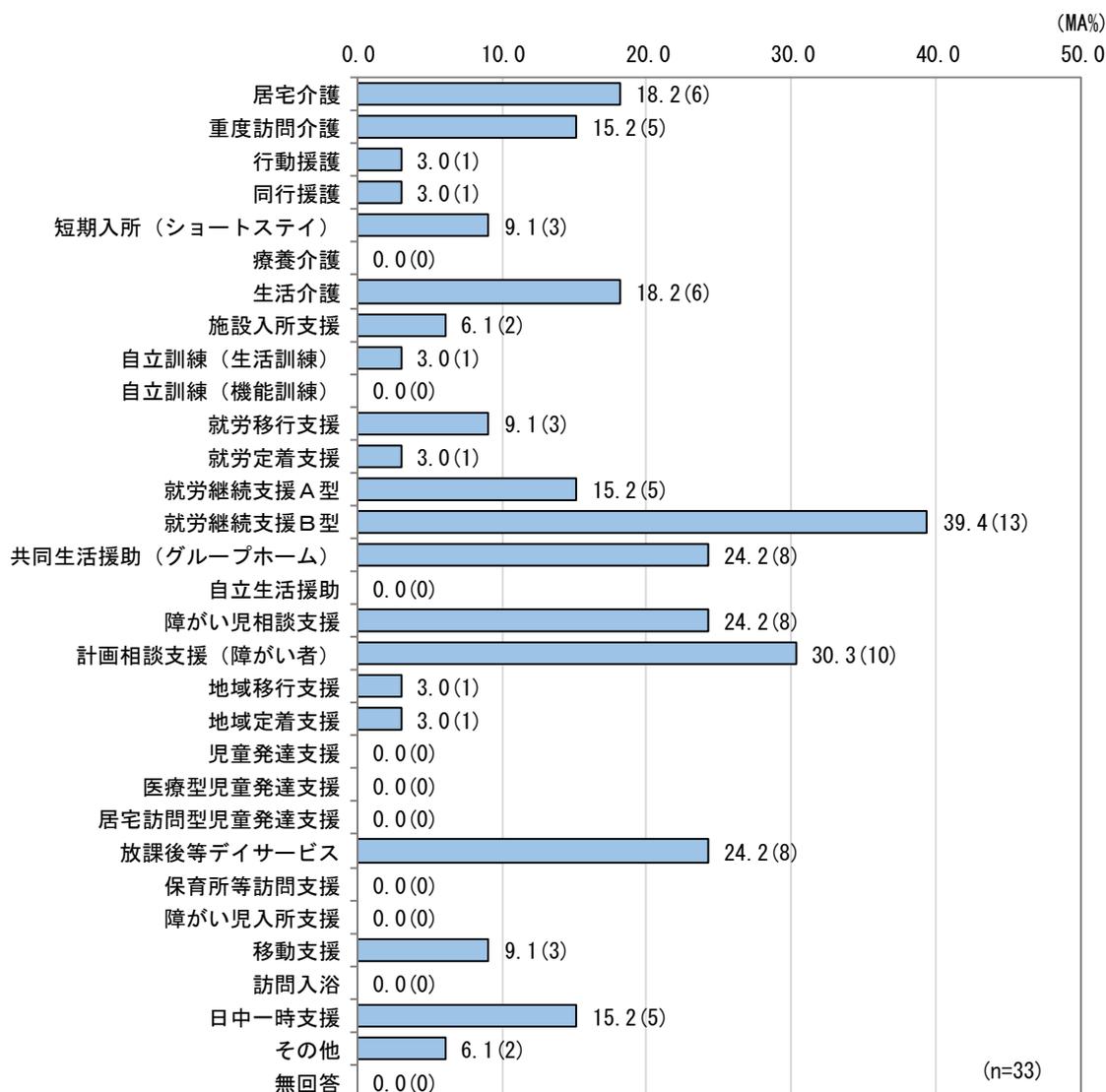
(1) 事業所の概要について

問2

貴事業所で提供している障がい福祉サービス、児童福祉法に基づく障がい児サービスはどれにあたりますか。

〇はいくつでも

提供している障がい福祉サービス及び障がい児サービスについて、「就労継続支援B型」が39.4%で最も多く、次いで「計画相談支援（障がい者）」が30.3%、「共同生活援助（グループホーム）」「障がい児相談支援」「放課後等デイサービス」が24.2%となっています。



問3 現在の提供状況として、貴事業所が提供している障がいのある人（障がい児）に対するサービス種類名、サービス種類ごと定員と利用者数（うち湖南市民人数）を実人数でご記入ください。

サービス種類ごとの利用者数については、以下のとおりです。

サービスの種類	事業所の利用者数（合計）	うち湖南市民の利用者（合計）
居宅介護	41人	18人
重度訪問介護	3人	1人
行動援護	0人	0人
同行援護	46人	9人
短期入所（ショートステイ）	34人	15人
療養介護	0人	0人
生活介護	246人	105人
施設入所支援	108人	51人
自立訓練（生活訓練）	0人	0人
自立訓練（機能訓練）	0人	0人
就労移行支援	17人	3人
就労定着支援	2人	0人
就労継続支援A型	141人	41人
就労継続支援B型	210人	80人
共同生活援助（グループホーム）	110人	34人
自立生活援助	0人	0人
障がい児相談支援	66人	27人
計画相談支援（障がい者）	558人	163人
地域移行支援	0人	0人
地域定着支援	0人	0人
児童発達支援	40人	30人
医療型児童発達支援	0人	0人
居宅訪問型児童発達支援	0人	0人
放課後等デイサービス	276人	124人
保育所等訪問支援	0人	0人
障がい児入所支援	0人	0人
移動支援	36人	7人
訪問入浴	18人	16人
日中一時支援	11人	2人
その他	2人	1人

問 4	今後の予定として、定員の増減、新規の参入予定がある場合は、サービス種類ごとの予定定員をご記入し、予定時期（年度）についてもお答えください。	○は1つだけ
-----	---	--------

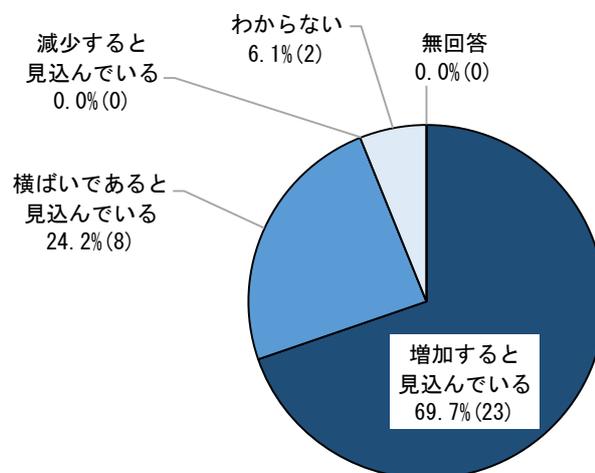
今後の予定については、以下のとおりです。

サービスの種類	予定定員	予定時期
生活介護	6人	令和5年度
就労継続支援A型	10人	令和5年度
就労継続支援B型	20人	未定
就労継続支援B型	20人	令和5年度
就労継続支援B型	1人	令和5年度
就労継続支援B型	1人	令和6年度
就労継続支援B型	20人	令和6年度
就労継続支援B型	20人	令和5年度
共同生活援助（グループホーム）	5人	令和5年度
共同生活援助（グループホーム）	9人	令和5年度
計画相談支援（障がい者）	5人	令和6年度
放課後等デイサービス	未定	未定
放課後等デイサービス	10人	令和5年度

（2）サービス提供について

問 5	貴事業所では、今後サービス利用を希望する人数がどのように変化すると見込んでいますか。	○は1つだけ
-----	--	--------

今後サービス利用を希望する人数の変化について、「増加すると見込んでいる」が69.7%で最も多く、次いで「横ばいであると見込んでいる」が24.2%、「わからない」が6.1%となっています。



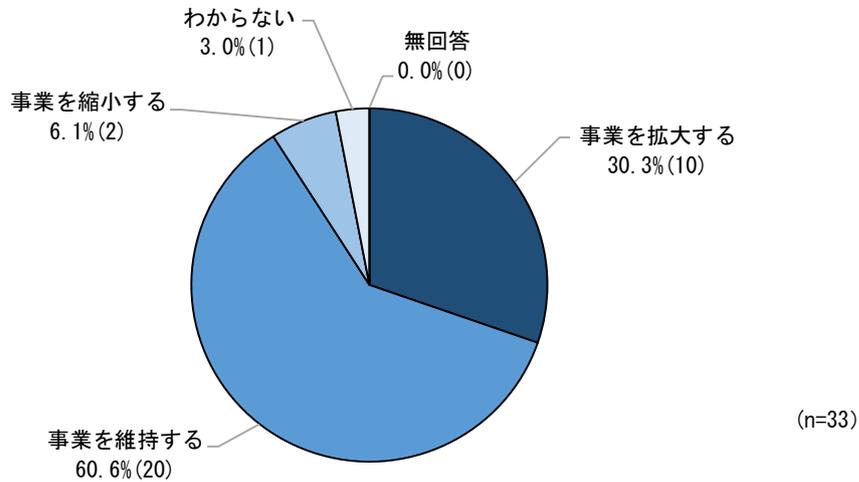
(n=33)

問6

貴事業所では、今後のサービス利用動向を受けて、どのように対応する方針を持っていますか。

○は1つだけ

今後のサービス利用動向を受けて、どのように対応する方針を持っているかについて、「事業を維持する」が60.6%で最も多く、次いで「事業を拡大する」が30.3%、「事業を縮小する」が6.1%となっています。

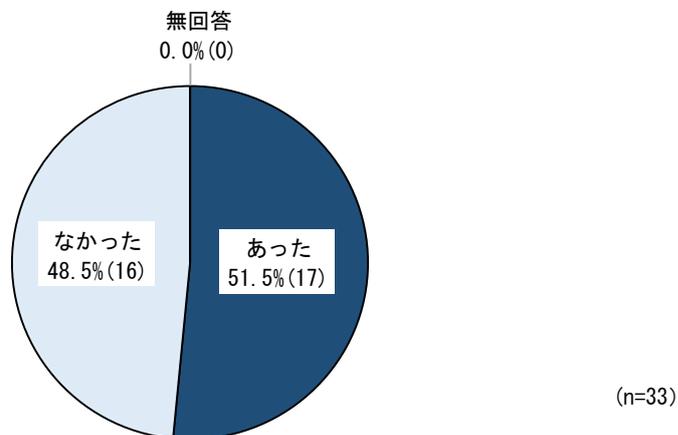


問7

過去1年間において、利用者からの依頼に対して、受け入れ（サービス提供）ができなかったことはありましたか。

○は1つだけ

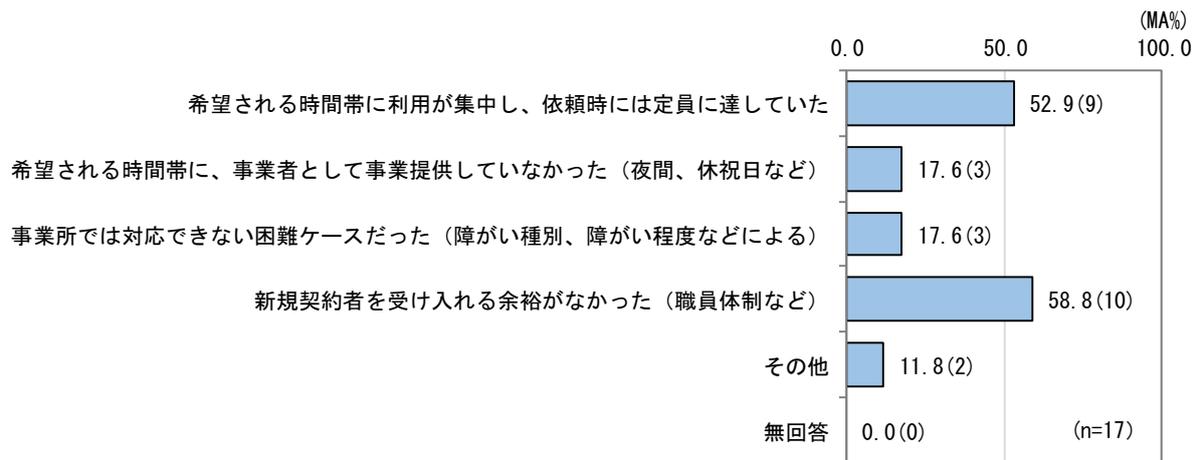
過去1年間において、利用者からの依頼に対して、受け入れ（サービス提供）ができなかったことがあったかについて、「あった」が51.5%、「なかった」が48.5%となっています。



《問7で「あった」と回答した方》

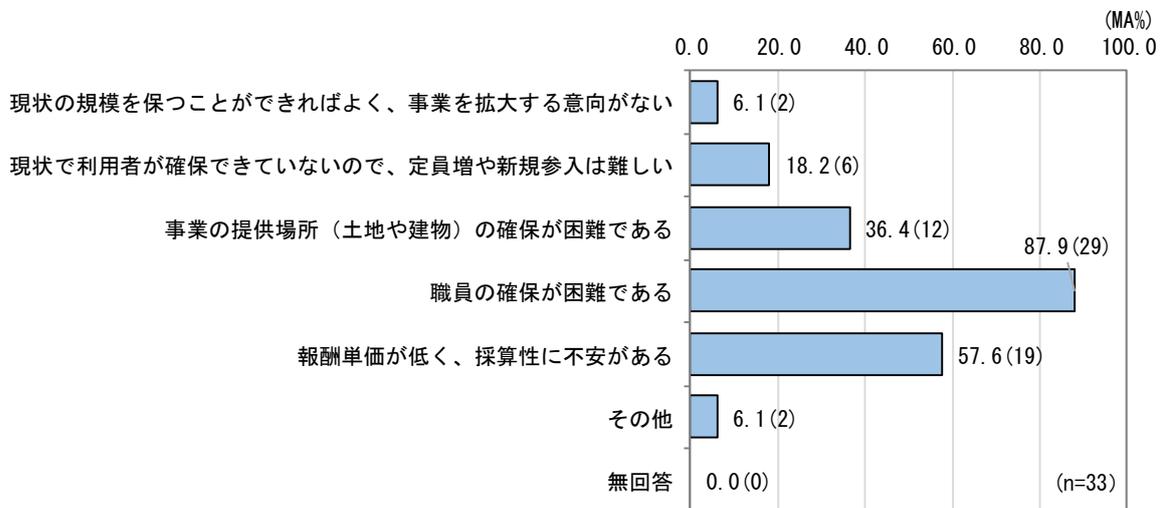
問7-1	受け入れ（サービス提供）ができなかった理由についてお答えください。	〇はいくつでも
------	-----------------------------------	---------

過去1年間において、利用者からの依頼に対して、受け入れ（サービス提供）ができなかったことがあった法人に、その理由について聞いたところ、「新規契約者を受け入れる余裕がなかった（職員体制など）」が58.8%で最も多く、次いで「希望される時間帯に利用が集中し、依頼時には定員に達していた」が52.9%、「希望される時間帯に、事業者として事業提供していなかった（夜間、休祝日など）」「事業所では対応できない困難ケースだった（障がい種別、障がい程度などによる）」が17.6%となっています。



問8	各サービスについて、今後の予定定員・新規参入予定についての意向をおうかがいしましたが、多くのサービスでは、あまり定員の増加が進んでいないのが現状です。それらの定員増員や新規参入が進まない理由は何だと思えますか。	〇はいくつでも
----	---	---------

定員増員や新規参入が進まない理由について、「職員の確保が困難である」が87.9%で最も多く、次いで「報酬単価が低く、採算性に不安がある」が57.6%、「事業の提供場所（土地や建物）の確保が困難である」が36.4%となっています。

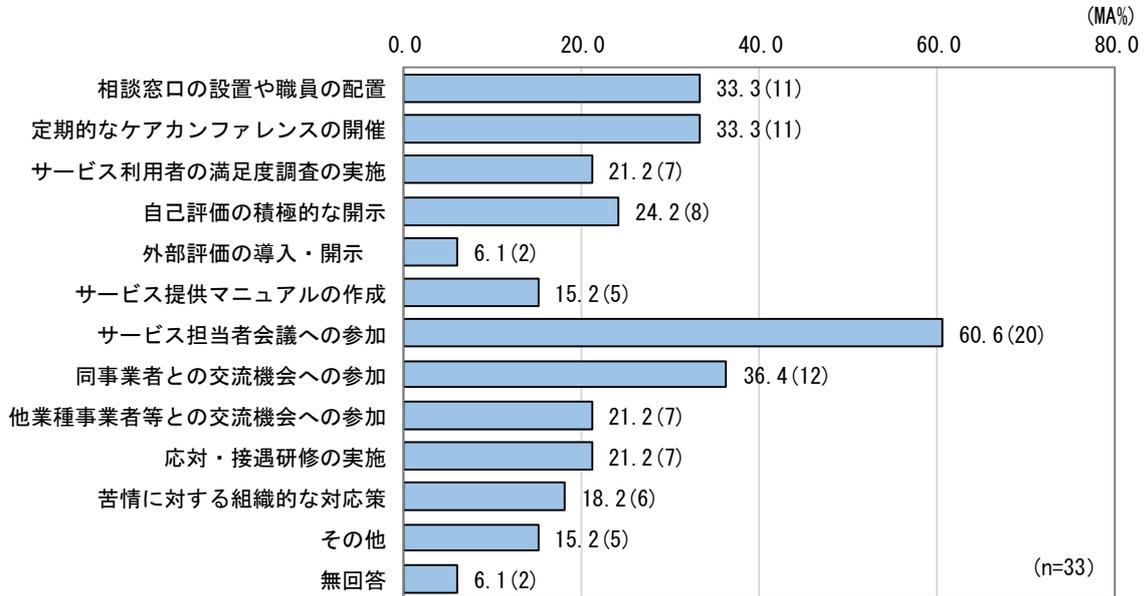


問9

貴事業所では、サービスの質の向上のため、現在重点的に取り組まれていることはありますか。

〇はいくつでも

サービスの質の向上のために重点的に取り組んでいることについて、「サービス担当者会議への参加」が60.6%で最も多く、次いで「同事業者との交流機会への参加」が36.4%、「相談窓口の設置や職員の配置」「定期的なケアカンファレンスの開催」が33.3%となっています。



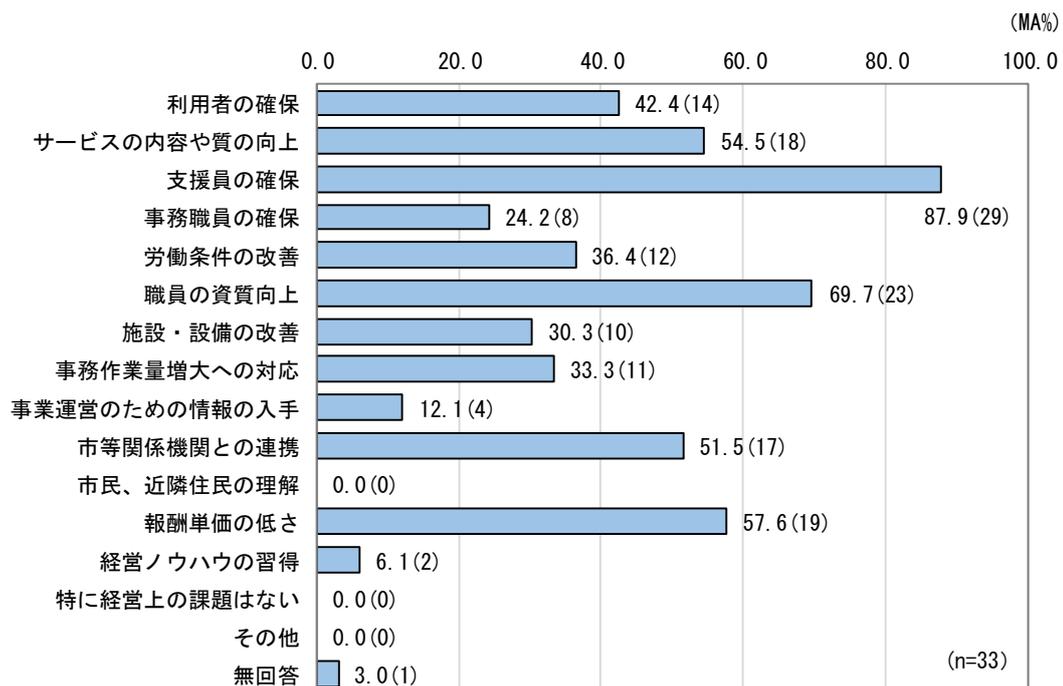
(3) 事業所の運営状況等について

問10

円滑な事業運営のために、改善したい経営上の課題は何ですか。

〇はいくつでも

円滑な事業運営のために、改善したい経営上の課題について、「支援員の確保」が87.9%で最も多く、次いで「職員の資質向上」が69.7%、「報酬単価の低さ」が57.6%となっています。

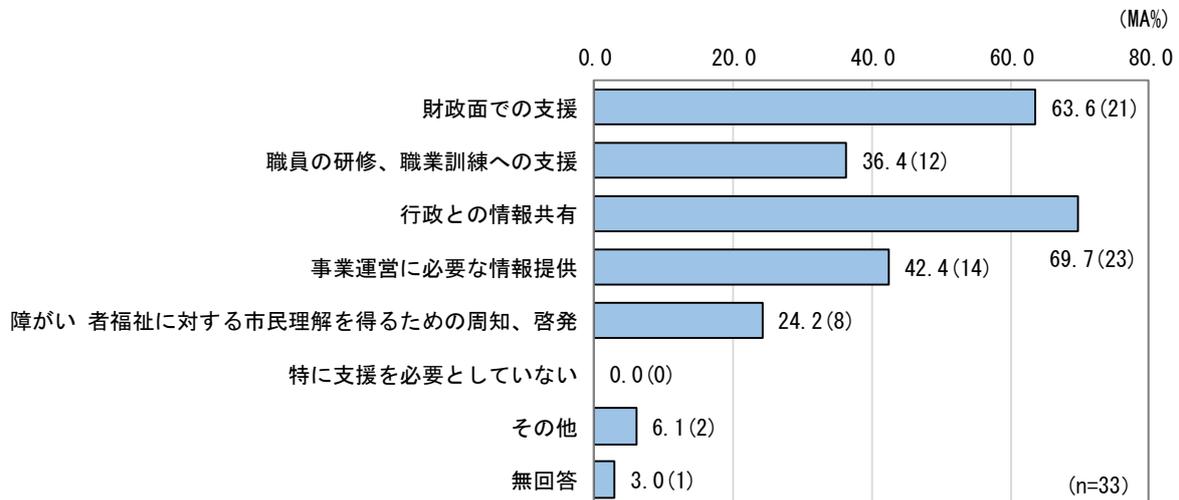


問 11

今後の事業運営にあたって、行政等の関係機関のどのような支援が必要だと思いますか。

〇はいくつでも

今後の事業運営にあたって、行政等の関係機関からの必要な支援について、「行政との情報共有」が69.7%で最も多く、次いで「財政面での支援」が63.6%、「事業運営に必要な情報提供」が42.4%となっています。

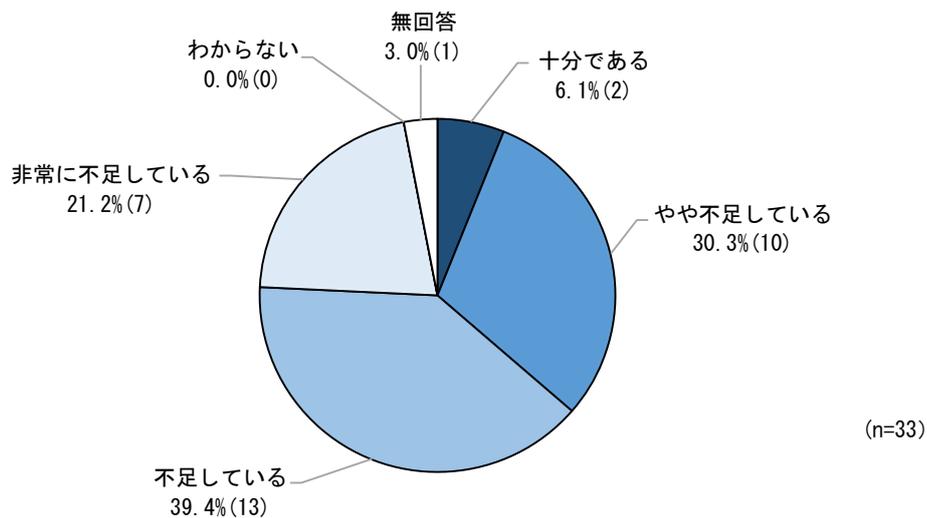


問 12

貴運営法人及び貴事業所では業務量に対する職員（人手）の充足具合はいかがですか。

〇は1つだけ

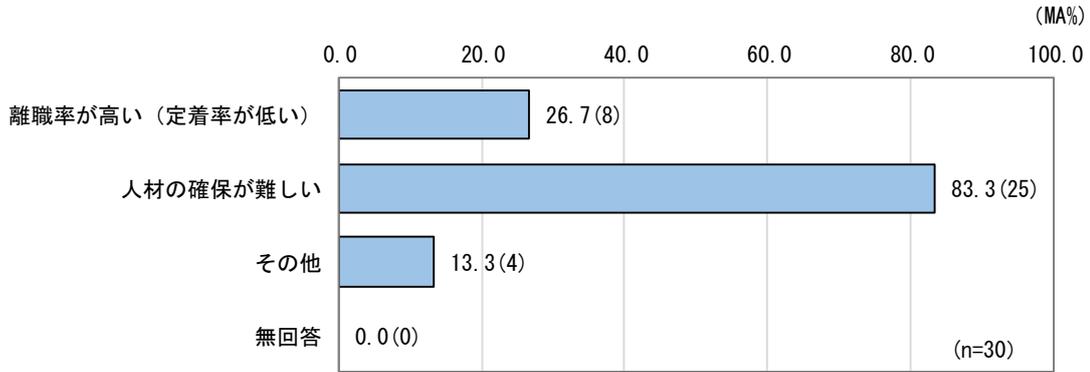
業務量に対する職員（人手）の充足具合について、「不足している」が39.4%で最も多く、次いで「やや不足している」が30.3%、「非常に不足している」が21.2%となっています。



《問 12 で「やや不足している」「不足している」「非常に不足している」と回答した方》

問 12-1	不足と感じる理由について教えてください。	〇はいくつでも
--------	----------------------	---------

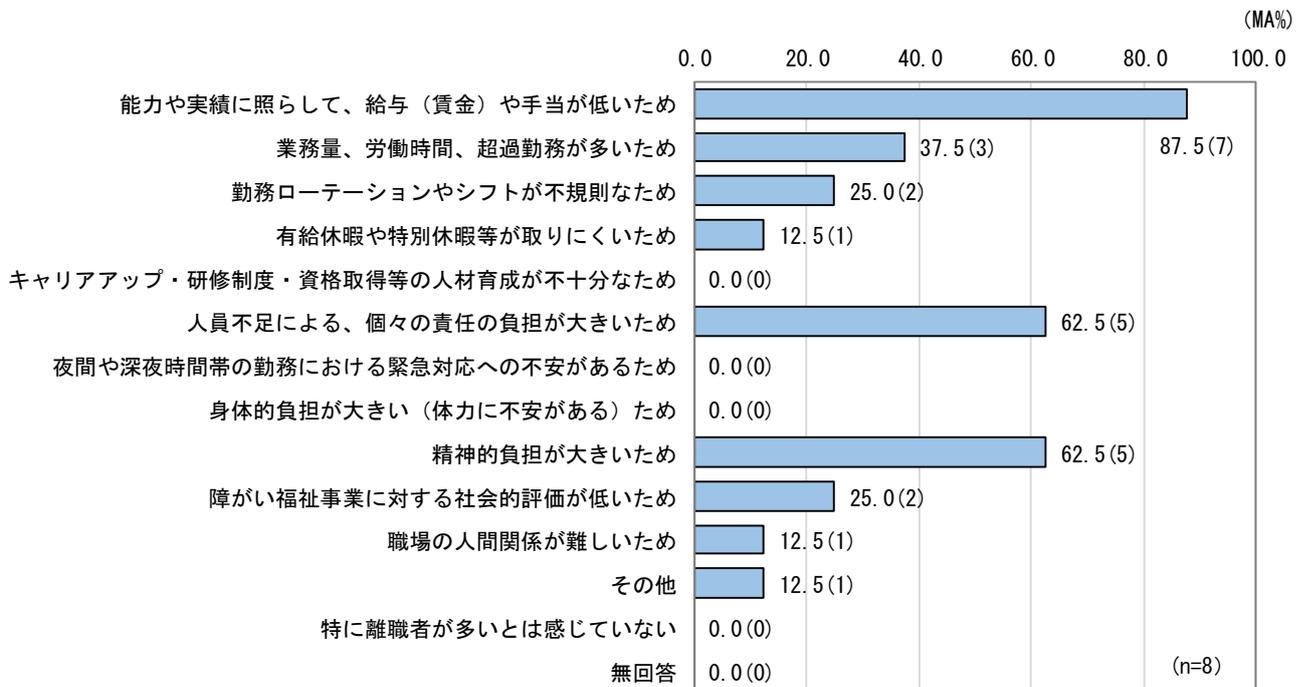
業務量に対する職員（人手）が不足していると感じている法人に、その理由について聞いたところ、「人材の確保が難しい」が 83.3%で最も多く、次いで「離職率が高い（定着率が低い）」が 26.7%、「その他」が 13.3%となっています。



《問 12-1 で「離職率が高い（定着率が低い）」と回答した方》

問 12-2	貴事業所から離職する理由のうち、主な理由はどのようなことだと思われますか。	〇はいくつでも
--------	---------------------------------------	---------

業務量に対する職員（人手）が不足している理由が「離職率が高い（定着率が低い）」と感じている法人に、その理由について聞いたところ、「能力や実績に照らして、給与（賃金）や手当が低いため」が 87.5%で最も多く、次いで「人員不足による、個々の責任の負担が大きいため」「精神的負担が大きいため」が 62.5%、「業務量、労働時間、超過勤務が多いため」が 37.5%となっています。

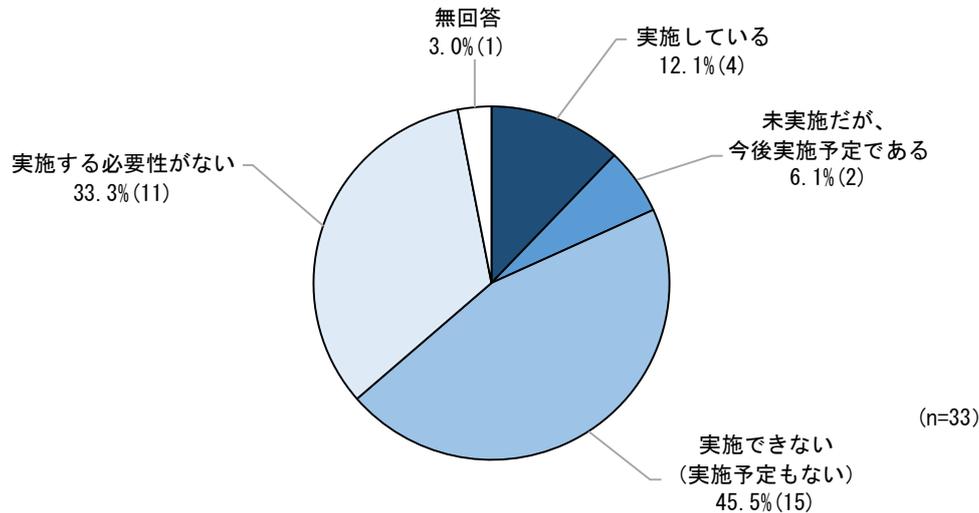


(4) 医療的ケアについて

問 13 医療的ケアを実施していますか。

○は1つだけ

医療的ケアを実施しているかについて、「実施できない（実施予定もない）」が 45.5%で最も多く、次いで「実施する必要性がない」が 33.3%、「実施している」が 12.1%となっています。



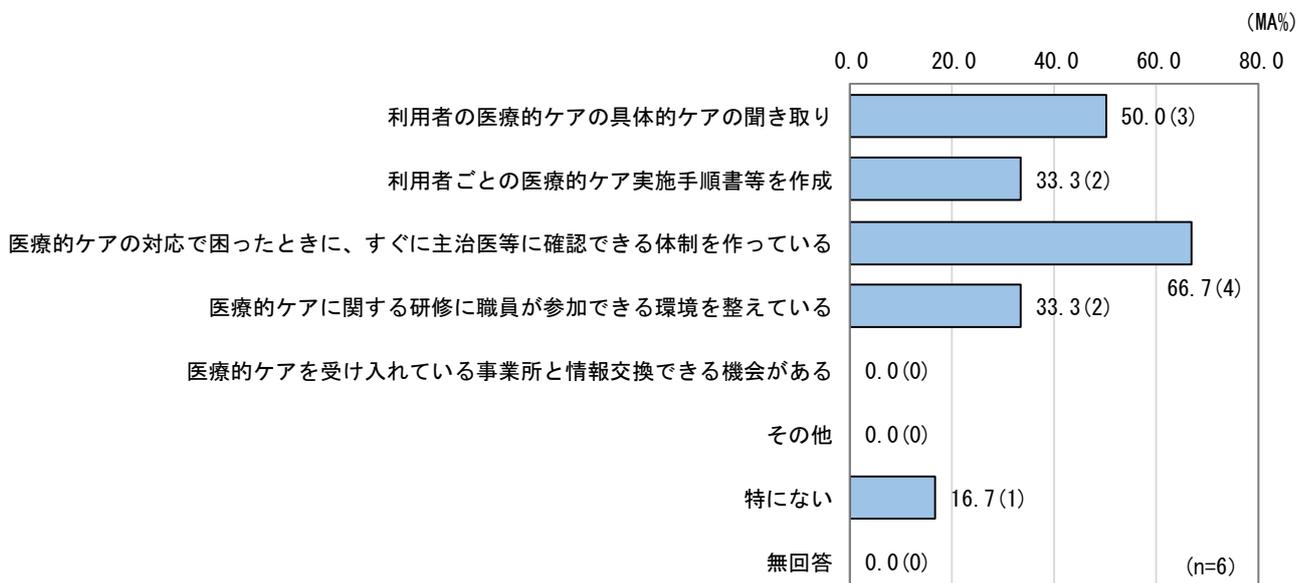
《問 13 で「実施している」または「未実施だが、今後実施予定である」と回答した方》

問 13-1

医療的ケアを実施する（又は実施予定とする）ために、貴事業所では、どのような工夫を行っていますか。事業運営上の工夫等について、ご記入ください。

○はいくつでも

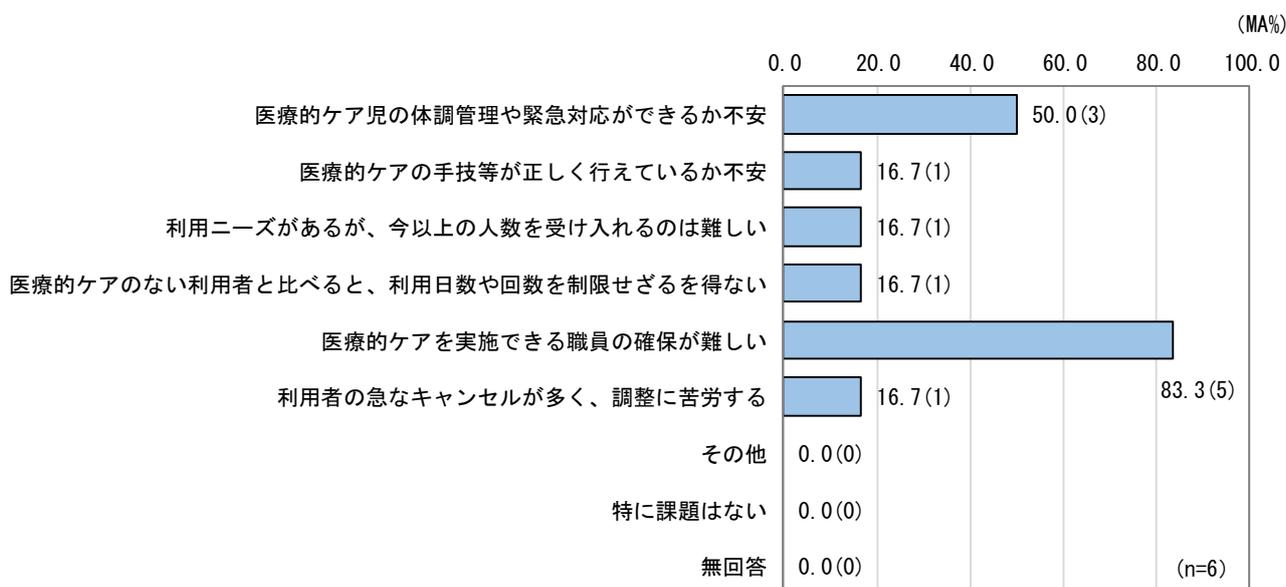
医療的ケアを実施している（未実施だが、今後実施予定である）法人に、どのような工夫を行っているかについて聞いたところ、「医療的ケアの対応で困ったときに、すぐに主治医等に確認できる体制を作っている」が 66.7%で最も多く、次いで「利用者の医療的ケアの具体的なケアの聞き取り」が 50.0%、「利用者ごとの医療的ケア実施手順書等を作成」「医療的ケアに関する研修に職員が参加できる環境を整えている」が 33.3%となっています。



《問 13 で「実施している」または「未実施だが、今後実施予定である」と回答した方》

問 13-2	医療的ケアの実施に当たって生じた事業運営への影響や、円滑な事業運営を図る上での課題などがあれば、ご記入ください。	〇はいくつでも
--------	--	---------

医療的ケアを実施している（未実施だが、今後実施予定である）法人に、医療的ケアの実施に当たって生じた事業運営への影響や、円滑な事業運営を図る上での課題について聞いたところ、「医療的ケアを実施できる職員の確保が難しい」が 83.3%で最も多く、次いで「医療的ケア児の体調管理や緊急対応ができるか不安」が 50.0%、「医療的ケアの手技等が正しく行えているか不安」「利用ニーズがあるが、今以上の人数を受け入れるのは難しい」「医療的ケアのない利用者比べると、利用日数や回数を制限せざるを得ない」「利用者の急なキャンセルが多く、調整に苦勞する」が 16.7%となっています。



《問 13 で「未実施だが、今後実施予定である」と回答した方》

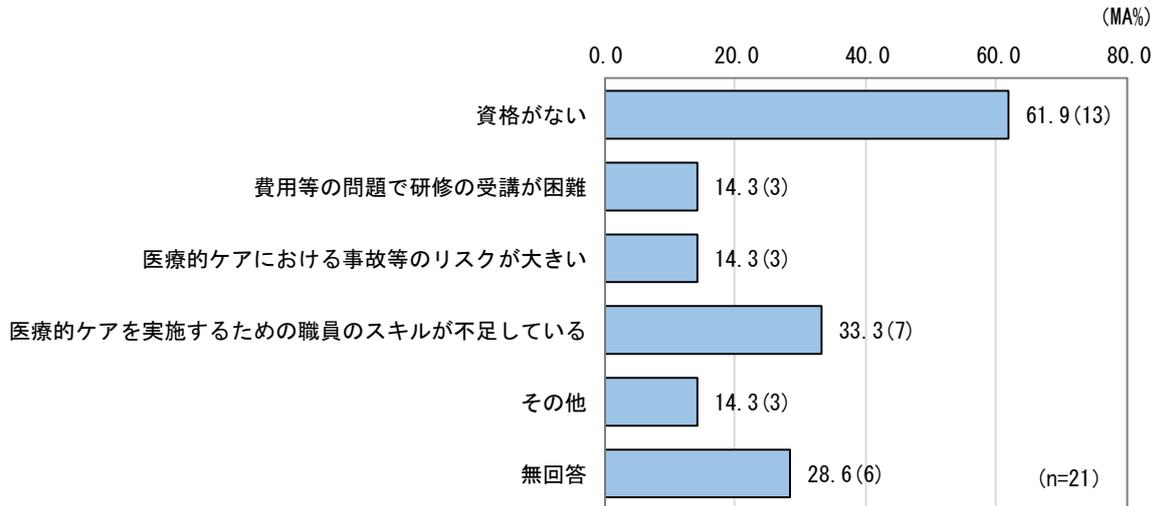
問 13-3	予定時期についてご記入ください。
--------	------------------

医療的ケアを未実施だが、今後実施予定である法人に、予定時期について聞いたところ、2法人とも未定でした。

《問 13 で「実施できない」と回答した方》

問 13-4	医療的ケアを実施できない理由は何ですか。	〇はいくつでも
--------	----------------------	---------

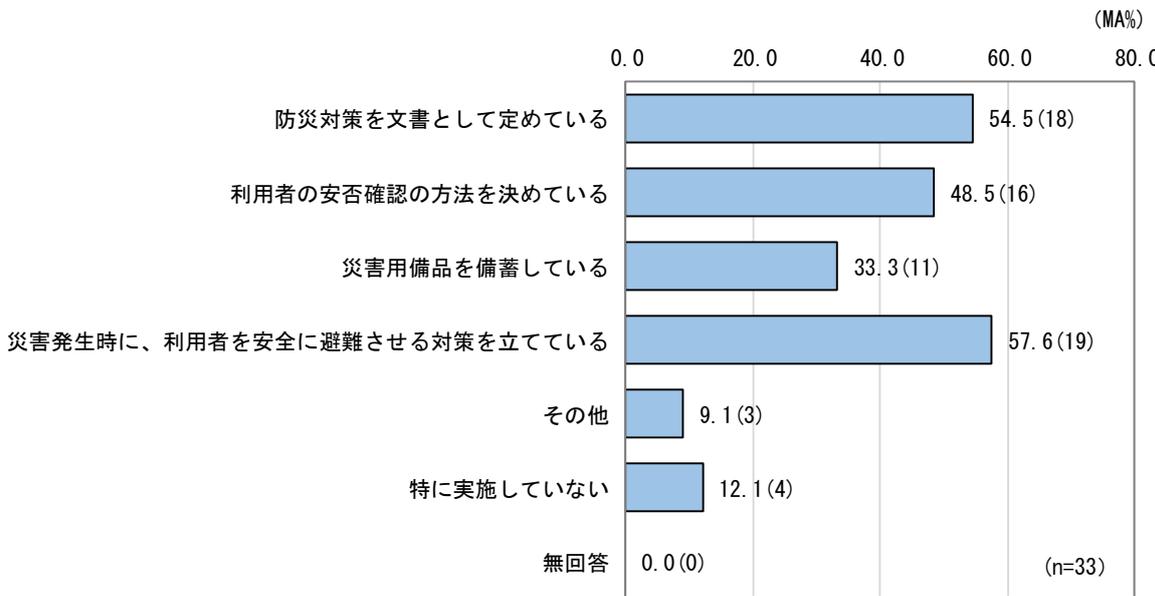
医療的ケアを実施できない法人に、その理由について聞いたところ、「資格がない」が 61.9%で最も多く、次いで「医療的ケアを実施するための職員のスキルが不足している」が 33.3%、「費用等の問題で研修の受講が困難」「医療的ケアにおける事故等のリスクが大きい」「その他」が 14.3%となっています。



(5) 災害時の対策について

問 14	事業所の防災対策を実施していますか。	〇はいくつでも
------	--------------------	---------

事業所の防災対策を実施しているかについて、「災害発生時に、利用者を安全に避難させる対策を立てている」が 57.6%で最も多く、次いで「防災対策を文書として定めている」が 54.5%、「利用者の安否確認の方法を決めている」が 48.5%となっています。

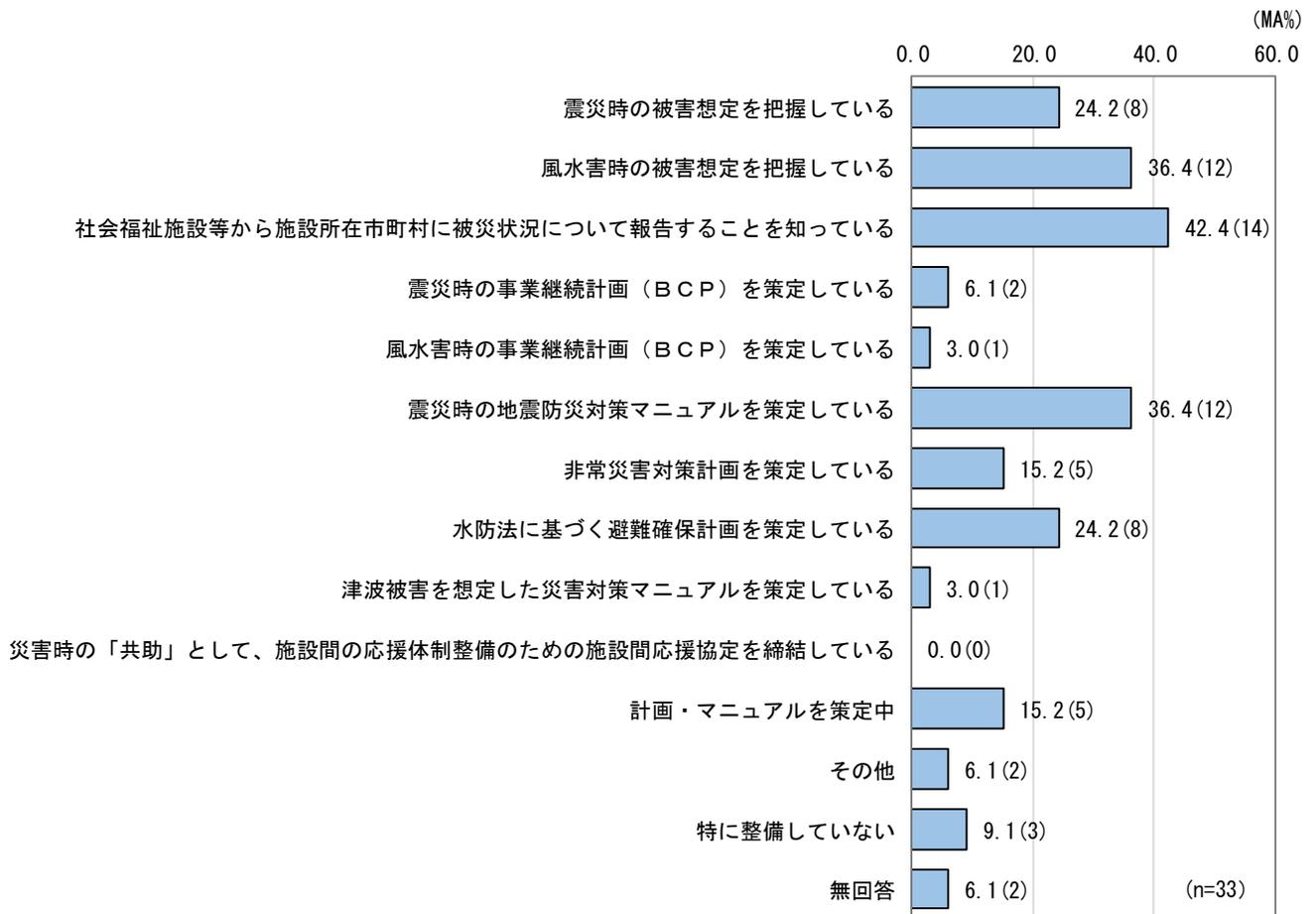


問 15

災害発生時から業務復旧までの計画等災害時の対策をされていますか。

○はいくつでも

災害発生時から業務復旧までの計画等災害時の対策について、「社会福祉施設等から施設所在市町村に被災状況について報告することを知っている」が 42.4%で最も多く、次いで「風水害時の被害想定を把握している」「震災時の地震防災対策マニュアルを策定している」が 36.4%、「震災時の被害想定を把握している」「水防法に基づく避難確保計画を策定している」が 24.2%となっています。



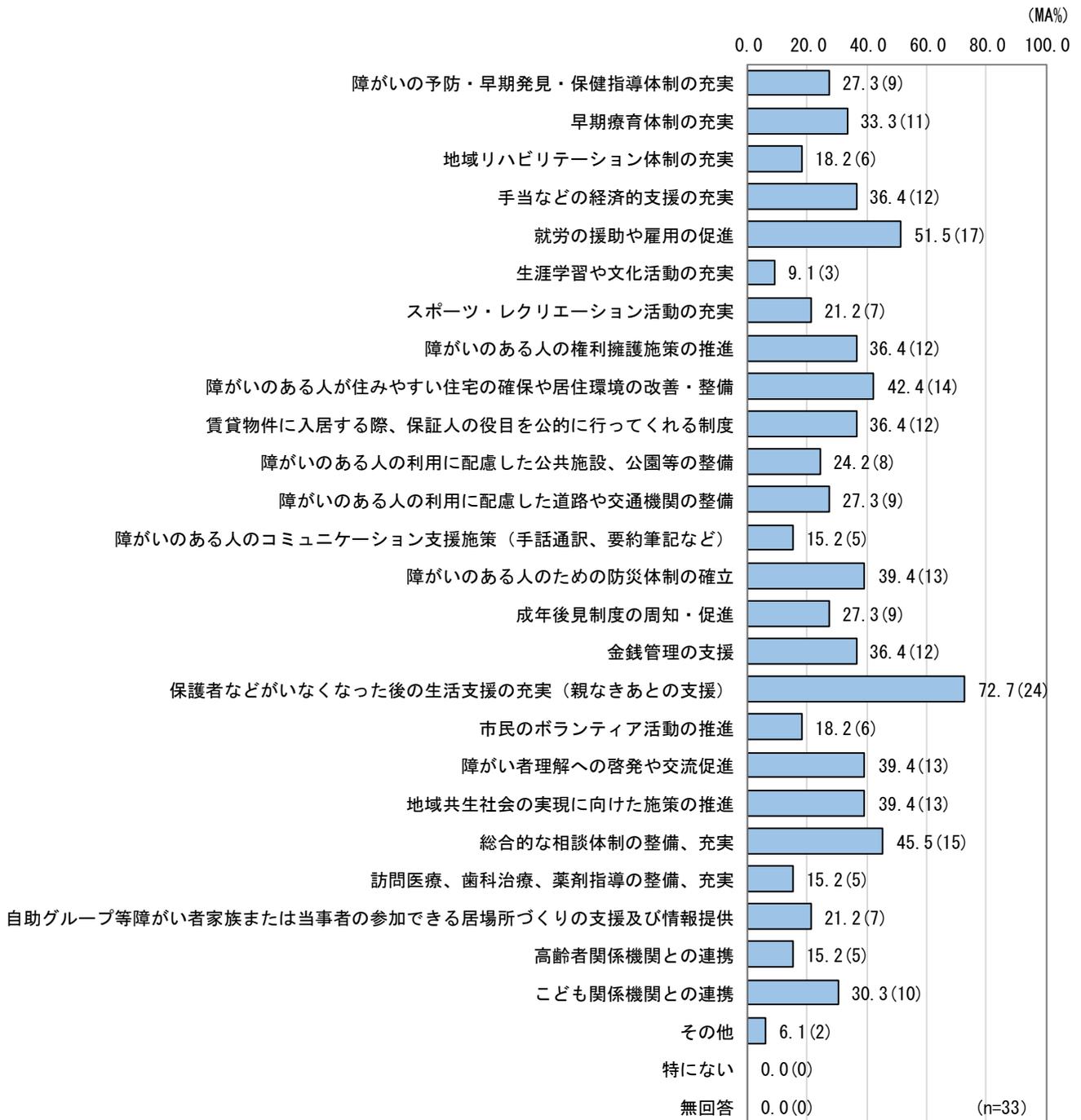
(6) 市への要望等について

問 16

今後の障がい福祉施策の充実に向けて、どのようなことが必要だと思いますか。

〇はいくつでも

今後の障がい福祉施策の充実に向けて必要なことについて、「保護者などがなくなった後の生活支援の充実（親なきあとの支援）」が72.7%で最も多く、次いで「就労の援助や雇用の促進」が51.5%、「総合的な相談体制の整備、充実」が45.5%となっています。

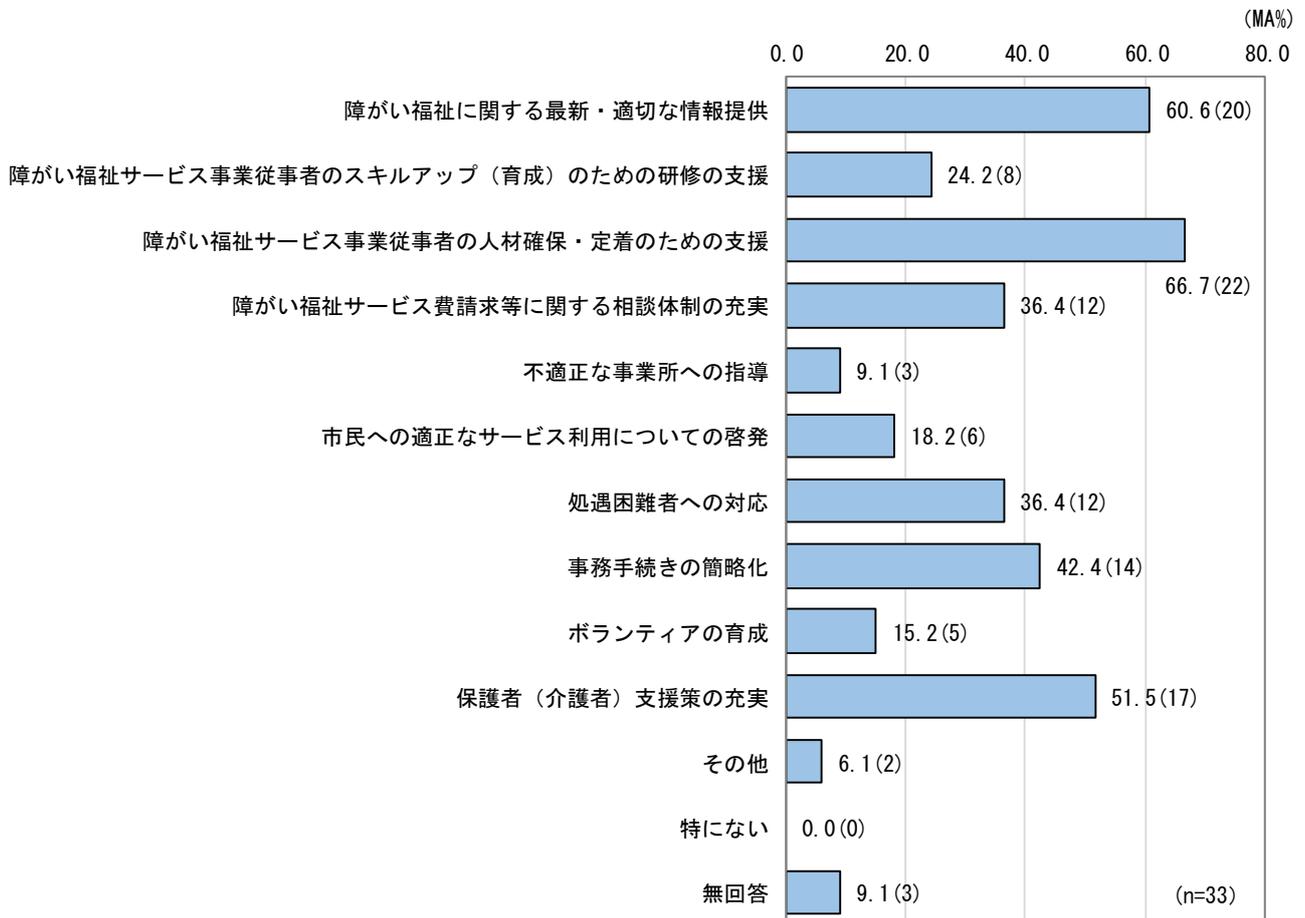


問 17

貴事業所として市に対して望むことはどのようなことですか。

〇はいくつでも

市に対して望むことについて、「障がい福祉サービス事業従事者の人材確保・定着のための支援」が66.7%で最も多く、次いで「障がい福祉に関する最新・適切な情報提供」が60.6%、「保護者（介護者）支援策の充実」が51.5%となっています。



5. 調査票

(1) 当事者（障がい児）アンケート調査

(2) 当事者（障がい者）アンケート調査

(3) 事業所アンケート調査